

附錄 日本外交文書 大正八年 第三冊 (上下卷) 日附索引

大正八年(西曆一九一九年)第三冊日附索引

一 月

事項番号 文書番号 電信番号

一五 八三六 一月一日 一 内田外務大臣ヨリ
在米国石井大使宛(電報) シベリア鐵道管理案ヲ修正セ
ル米国案ニ対シ日本政府修正 一一〇六

別 電 一 同日内田外務大臣ヨリ在米国石井大使宛電
報第二号 一一〇六
シベリア鐵道管理案ニ対スル米国修正案
二 同右電報第三号 一一〇八
右日本政府修正案

三 六六 一月二日 三 在中國小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 米国公使ガ中国ニ於ケル外国
ノ勢力範圍撤廢ヲ日本ヨリ提
議方示唆シタルニ付稟申ノ件 八八

一 一一 一月六日 公二 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛 一九一八年十一月十一日ノ対
独休戰条約締結ニ関スル件 一

三 六七 一月七日 六 附 属 書 右締結状況
内田外務大臣ヨリ 巴里講和會議参加ノ中国全權
在仏国松井大使宛(電報) 委員等ニ関スル件 八九

一 一二 一月八日 官房機密 加藤海軍大臣ヨリ 印度洋方面ニ派遣中ノ第一特務艦隊引揚ニ関シ英國政府ノ意向問合方ニ付照会ノ件……………一八

一 一三 一月八日 官房機密 加藤海軍大臣ヨリ 地中海方面ニ派遣中ノ第二特務艦隊引揚方ニ関シ英國政府ノ意向問合方ニ付照会ノ件……………一九

三 六八 一月八日 三 在上海有吉総領事ヨリ 我政府部内ニ中國ニ於ケル列強ノ特殊地位放棄ノ議高マリツツアル旨ノ報道ニ関シ中國側ノ反響報告ノ件……………九〇

三 六九 一月八日 一四 内田外務大臣ヨリ 中國出先官憲ノ日本反對運動ニ関シ中國政府ヨリ右出先ニ注意アリ度旨申入方訓令ノ件……………九〇

附記 大正七年十二月十六日内田外務大臣発在中國芳沢臨時代理公使宛電報第一一五八号……………九一

一四 八一〇 一月八日 一 内田外務大臣ヨリ 獨軍「リンブルグ」通過事件及前獨帝処分問題ニ関シ執ル……………一〇六二

三 七〇 一月九日 二〇 在米国外務大臣宛(電報) 講和會議ニ関シ日中兩國ノ協調成立ノ報道ヲ否定シタル旨ノ中國外交次長談ヲ紐育タイムス掲載ノ件……………九二

一五 八三七 一月九日 二三 在米国外務大臣宛(電報) シベリア鐵道管理問題ニ関シ國務長官代理ト会谈ノ件……………一一〇八

一 一四 一月十日 二二 内田外務大臣ヨリ 地中海派遣ノ第二特務艦隊ノ引揚ニ関シ英國政府ニ照会方訓令ノ件……………一九

一 一五 一月十日 二二 内田外務大臣ヨリ 印度洋方面派遣ノ第一特務艦隊ノ引揚ニ付英國政府ニ照会方訓令ノ件……………二〇

一四 八一 一月十一日 一〇 在蘭国松原臨時代理公使ヨリ 前獨帝処分問題及獨軍「リンブルグ」通過事件ニ関シ英國代理公使及米国外務大臣館員ノ談話報告ノ件……………一〇六二

一五 八三八 一月十一日 二〇 内田外務大臣ヨリ シベリア鐵道管理ニ関スル日本修正案ヲ國務省ニ提出方ニ付訓令ノ件……………一一〇九

別電 同日内田外務大臣発在米国外務大臣宛電報第二一号……………

一月九日シベリア鐵道管理問題ニ関シ米國大使内田外務大臣ニ手交ノ覚書……………一一〇九

一 二 一月十三日 講四 在仏国松井大使ヨリ 對獨休戰條約ノ期間延長ニ関スル討議ノ模様報告ノ件……………四

三 七一 一月十三日 一七 内田外務大臣ヨリ 在仏中國公使ノ誤想ヲ釈ク為我方針ヲ説明方訓令ノ件……………九二

三 七二 一月十四日 三 内田外務大臣ヨリ 講和全權委員被仰付タル旨通報ノ件……………九三

附記一 一月十三日附西園寺侯以下五名ニ講和全權委員被仰付度旨ノ上奏案……………九三

二 一月九日附内田外務大臣ヨリ原内閣總理大臣宛公信人送第七号……………九四

三 一月三十一日附全權委員隨員被仰付度旨ノ上奏案……………九五

四	二月五日全権委員附任命辞令案……………	九六
五	四月二十二日内田外務大臣発松井大使宛電報講第二七六号	
	四月二十二日發令ノ全権委員隨員及同委員 附通報ノ件……………	九七

三	七三	一月十四日	三五	在米國石井大使ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	中国側ハ勢力範圍ノ撤廢ヲ希望シ居ル旨クレイン談話ノ件……………	九七
五	三五五	一月十四日	二〇	在米國石井大使ヨリ 在英国永井臨時代理大使宛（電報）	米國大統領ノ所謂國際正義ノ解釈ニ關スル前年七月ハウス大佐トノ会谈要領通報ノ件……………	四三六
一	一六	一月十五日	二五	在仏國松井大使ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	日本海軍ノ地中海ニ於ケル協力ニ對シ仏國海軍大臣ノ謝意傳達ノ件……………	二〇
一四	八二二	一月十六日	一五	在蘭國松原臨時代理公使ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	前獨逸皇帝ノ引渡ヲ列國カ公式ニ要求セル場合ノ措置ニ付……蘭國司法大臣談話ノ件……………	一〇六三
一	三	一月十七日	講一	在仏國松井大使ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	大正七年十月二十六日在奧國本多公使發内田外務大臣宛電報第一一五号 カール皇帝閉ニ關スル件……………	一〇六三
三	七四	一月十七日	七九	在中国小幡公使ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	對獨休戰ノ一個月延長ニ關スルコンミニケ報告ノ件……………	七
八	四五二	一月十七日	官房秘 丙二	神野大藏次官ヨリ 幣原外務次官宛	シ中央政府ヨリ反日行動ニ關旨徐總統ニ傳達方曹汝霖氏ニ依頼ノ件……………	九七
				獨逸國人ノ所有ニ屬スル本邦公債其他財産等ノ価額照会ニ對シ回答ノ件……………		五七四

附記一

二	大正七年十一月十八日附幣原外務次官ヨリ 神野大藏次官宛機密送第二一〇号 獨逸國政府又ハ人民若クハ日本國政府人民 又ハ會社ノ所有ニ屬スル本邦公債其他財産 等ノ価額照会ノ件……………	五七五
三	大正七年十一月十八日附幣原外務次官ヨリ 大塚農商務次官宛機密送第三五二号 本邦領土内ニ於ケル獨逸國人及敵國会社ノ 財産額等照会ノ件……………	五七六
	大正七年十二月十二日附大塚農商務次官ヨリ 幣原外務次官宛商第二二四〇四号 本邦領土内ニ於ケル獨逸國人及敵國会社ノ 財産額等ニ付回答ノ件……………	五七六

一	四	一月十八日	四	内田外務大臣ヨリ 西園寺全權委員宛（電報、 在上海有吉總領事氣付）	對獨休戰期間延長ニ關スル巴黎聯合國協議會ノ決議事項通報ノ件……………	七
一	五	一月十八日	講一四	在仏國松井大使ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	對獨休戰期間延長ノ新規約要領報告ノ件……………	八
三	七五	一月十八日	五三	内田外務大臣ヨリ 在中国小幡公使宛（電報）	講和會議ニ關スル五國代表者相談會ノ決定事項通報ノ件……………	九八
三	七六	一月十八日	八五	在中国小幡公使ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	在仏中國公使ノ反日行動ニ關シ外交總長代理ニ對シ我方態度懇説ノ件……………	九九
三	七七	一月十八日	四七	在米國石井大使ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	中国人ハ鐵道租借地等ノ回收ヲ欲スル旨徐總統統紐育タイム通信員ニ談話ノ件……………	九九
三	七八	一月十八日	二七	在広東太田總領事ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	歐洲平和會議代表ヲ軍政府ヨリ派遣ニ付伍朝樞米内山ニ談話ノ件……………	一〇〇

一五	八三九	一月十九日	二五	内田外務大臣ヨリ 在浦潮松平政務部長宛（電報）	シベリア鉄道管理案ノ運用ニ 関シモリス大使シベリア出張 ニ際シ同大使ト協議方訓電ノ 件	一一一
----	-----	-------	----	----------------------------	--	-----

一五	八四〇	一月十九日	五三	在米国石井大使ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	シベリア鉄道管理ノ日本修正 案ニ米国政府同意ノ件	一一二
----	-----	-------	----	--------------------------	-----------------------------	-----

三	七九	一月二十日	公一三	在広東太田総領事ヨリ 内田外務大臣宛	中華民國国会第五次宣言書送 付ノ件	一〇〇
---	----	-------	-----	-----------------------	----------------------	-----

附屬書 右宣言書……………一〇一

四	三〇四	一月二十日	五八	在米国石井大使ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	濠洲首相紐育ワールド通信員 ニ対シ日本ノ南太平洋諸島領 有ニ反対ナル旨談話ノ件	三六三
---	-----	-------	----	--------------------------	---	-----

三	八〇	一月二十一日	六三	在米国石井大使ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	独逸植民地、青島、二十一個 条、輸入関税ノ現実五分増等 ノ諸問題ニ付米国各紙報道ノ 件	一〇二
---	----	--------	----	--------------------------	--	-----

附記 一月十七日吉田海軍少将ノ小村政務局第一
課長ニ対スル談話要旨……………一〇三

一五	八四一	一月二十一日		在本邦英国大使ヨリ 内田外務大臣宛	シベリア鉄道ヘノ財政援助ニ 関シ申入ノ件	一一二
----	-----	--------	--	----------------------	-------------------------	-----

三	八一	一月二十二日	公五六	在米国石井大使ヨリ 内田外務大臣宛	紐育タイムス通信員ノ大總統 会见談記事切抜送付ノ件	一〇三
---	----	--------	-----	----------------------	------------------------------	-----

附屬書 一月十七日付紐育タイムス所載右記事切抜……………一〇三

四	三〇五	一月二十二日	四	在シドニー清水総領事ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	独領太平洋諸島処分問題等ニ 関シ濠洲首相ノ某米国記者ニ 対スル会见談濠洲新聞ニ掲載 ノ件	三六三
---	-----	--------	---	-----------------------------	---	-----

二	一八	一月二十三日	講二三	在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	一月二十二日五大国会議ニ於 テ国際聯盟創設ノ決議案ヲ決 定シ且其組織及任務ヲ考究ス ベキ委員会設置ヲ決定ノ件	一一一
---	----	--------	-----	--------------------------	---	-----

別電 同日松井大使 発内田外務大臣宛講第二五号
国際聯盟創設ニ関スル決議案……………一一一

二	一九	一月二十三日	講二八	在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	一月二十二日五大国会議ノ国 際聯盟創設問題討論ノ際牧野 全權我方ノ態度表明ノ件	一一二
---	----	--------	-----	--------------------------	---	-----

四	三〇六	一月二十三日	五	在シドニー清水総領事ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	濠洲首相ノ米国記者ニ対スル 会见談ニ関スル濠洲新聞ノ論 評報告ノ件	三六四
---	-----	--------	---	-----------------------------	---	-----

三	八二	一月二十四日	講一〇	内田外務大臣ヨリ 在仏国松井全權委員宛（電 報）	加藤憲政会總裁及国民党犬養 總理ノ演説要旨通報ノ件	一〇八
---	----	--------	-----	--------------------------------	------------------------------	-----

四	三〇七	一月二十四日	六	在シドニー清水総領事ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	濠洲首相ノ米国記者ニ対スル 会见談ニ関スル首相代理ワッ ト氏ノ談話及右談話ニ対スル シドニー新聞ノ批評報告ノ件	三六四
---	-----	--------	---	-----------------------------	--	-----

一五	八四二	一月二十四日	支極秘 三三	齋藤中将ヨリ 上原參謀總長宛（電報）	東支鐵道ノ管理ニ関スル中国 政府ノ申入ニ付請訓ノ件	一一四
----	-----	--------	-----------	-----------------------	------------------------------	-----

二	二〇	一月二十五日	講三二	在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	第二回講和予備本会議ニ於テ 国際聯盟ノ創設及其研究ノ為 ノ委員会委員選定ノ件	一二三
---	----	--------	-----	--------------------------	--	-----

三	八三	一月二十五日	一二	在中國小幡公使ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	独逸植民地ノ戦後処理ニ関ス ル英字諸新聞ノ記事報告ノ件	一〇九
---	----	--------	----	--------------------------	--------------------------------	-----

三 八四 一月二十五日 七五 在米國石井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 戰時取極ナルニ付講和會議ニ依リ訂正ヲ要スル旨チャイナ、エーゼンシー公表ノ件 一一〇

別電 同日石井大使發内田外務大臣宛電報第七六号 右公表書要領 一一〇

一六 九二九 一月二十五日 西比利亞經濟援助委員會 臨時西比利亞經濟援助委員會 第一回會議事録(一) 一一〇七

附屬書一 米國へ印刷ヲ註文セル露國紙幣七十億留ヲ「オムスク」政府へ引渡問題ニ對スル帝國 一二〇九
政府ノ態度ニ關スル方針案

附記一 右方針案ニ對スル修正案 一二〇九
二 米國へ註文ノ露國新紙幣引渡問題ノ經過 一二一一
二 西比利亞ニ於ケル金融通貨問題 一二一二

一七 九四五 一月二十五日 四五 在浦潮松平政務部長ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 日本ヨリ更ニ武器供給ヲ仰グベキ旨オムスク政府ヨリ電報アリタル件等ホルワット將軍談話ノ件 一二八〇

三 八五 一月二十六日 九 内田外務大臣ヨリ
在シンガポール山崎領事宛(電報) 連合國總會議及五國會議ノ模様ヲ西園寺全權委員ニ通報方ノ件 一一一

三 八六 一月二十七日 八九 在米國石井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) チャイナ、エーゼンシーノ設立ハ南方派ノ計畫ト認メラル旨報告ノ件 一二二

四 三〇八 一月二十七日 講二三 内田外務大臣ヨリ
在仏國松井大使宛(電報) 南洋諸島問題ニ關スル濠洲首相ノ新聞記者トノ會見記事ノ真否調査ノ上其措置珍田大使宛訓令ノ件 三六五

四 三〇九 一月二十七日 講四一 在仏國松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 一月二十七日午前ノ五大國會議ニ於テ獨逸植民地問題討論ノ手續審議ノ件 三六五

九 四九九 一月二十七日 三三三 在瑞西國本多公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 聯合側ノ對獨逸經濟政策ニ對スル獨逸國ノ抗議書大要報告ノ件 六三一

一五 八四三 一月二十七日 支極秘 三三五 在北京東少將ヨリ
上原參謀總長宛(電報) 東支鐵道ノ中國管理ニ關シ國務院決議ノ件 一一一四

三 八七 一月二十八日 講四六 在仏國松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 大正七年九月二十四日附日中取極ノ五大國會議提示ニ關シ請訓ノ件 一一三

三 八八 一月二十八日 講一 在仏國松井大使ヨリ
在中國小幡公使宛(電報) 五國會議ニ於テ顧維鈞ハ獨中間山東條約ノ無効及二十一個條ノ發表ニ付述べタル旨通報並右一方の發表ヲ為サル様電訓方中國政府ニ要請セラレ度件 一一三

三 八九 一月二十八日 講四七 在仏國松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 大正七年九月二十四日附日中取極ノ五大國會議提示ニ關シ再請訓ノ件 一一四

三 九〇 一月二十八日 一二一 在紐育矢田總領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 山東問題ニ關スルサン紙記事ニ付報告ノ件 一一四

四 三一〇 一月二十八日 講四二 在仏國松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 一月二十七日午後ノ五大國會議ニ於テ國際聯盟委任統治問題ニ關シ討論ノ件 三六七

別電一 一月二十八日在仏國松井大使發内田外務大臣宛電報講第四三号 臣宛電報講第四三号 山東及赤道以北ノ南太平洋諸島ニ關スル牧野全權ノ声明 三六八

二 同右電報講第四四号
委任統治ニ関スルウイルソン大統領演説大……三七一
意

四 三一 一月二十八日 講四五 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

一月二十八日午前ノ五大国会
議ニ於テ国際聯盟委任統治問
題及山東省ニ於ケル独逸權利
ノ処分問題審議ノ件

一五 八四四 一月二十八日 一三三 在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

東支鐵道列国共同管理案ニ関
シ施履本中国政府ノ対案ヲ持
参シ意見ヲ求メタル件

別電

同日在中国小幡公使發内田外務大臣宛電報
第一三四号
右中国政府対案

一六 九三〇 一月二十八日 臨時西比利亞經濟援助委員會
第八回會議議事録(二)……一二四

西比利亞經濟議事録
援助委員會

附屬書一

既設對露金融機關擴張必要ノ件……一二八

二

オムスク政府ニ新紙幣發行局設置案ノ修正……一二八

附記一

大正七年九月ノ臨時西比利亞經濟援助委員
会第五回會議議事録……一二八

二 大正七年十一月第六回會議議事録(一)(二)
(三)……一二二

三 大正七年十二月第七回會議議事録(一)(二)……一二三

三 九一 一月二十九日 欠 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

膠州灣問題ニ関スル我方主張
ニ付クレマンソー及ピション
ニ説明ノ件

四 三一二 一月二十九日 九 在シドニー清水總領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

独逸領太平洋諸島ノ処分問題
ニ関シ濠洲首相代理ヨリ在
巴里同国首相宛建言ニ付報告
ノ件

一五 八四五 一月二十九日 一四一 在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

東支鐵道管理問題ニ関シ中国
側カ參謀本部側ト交渉スルコ
ト無キ様配慮方稟請ノ件

一五 八四六 一月二十九日 一四四 在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

中国側ノ東支鐵道回收希望ニ
関シ曹汝霖ト会谈ニ付報告請
訓ノ件

附記

一月三十日附陸軍省覚書
東支及シベリア兩鐵道監督案実行ニ関スル……一二七
件

二 二二 一月三十日 講五六 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

国際聯盟ニ関スル英國側草案
中聯盟ノ構成及戦争予防策ノ
要領報告ノ件

三 九二 一月三十日 講五五 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

連合諸国会議ニ於テ各種委員
会ニ対スル委員割當ヲ決定ノ
件

四 三二三 一月三十日 講五三 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

一月二十八日午後五大国会議
ニ於テ独逸領殖民地ノ委任統治
問題ヲ討議セルモ何等決定ニ
至ラザリシ旨報告ノ件

四 三一四 一月三十日 在巴里竹下海軍中将ヨリ
加藤海軍大臣、島村軍令部
長宛(電報)

五大国会議ノ独逸領殖民地委任
統治問題審議ノ経過及日本占
領中ノ南洋諸島ニ関スル意見
電報ノ件

一八 九六八 一月三十日 通機公
三 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛

国際常設經濟委員會第三十九
回會議報告轉達ノ件

三 九三 一月三十一日 一一 内田外務大臣ヨリ 西園寺全権委員宛(電報) 国内政情ニ関シ西園寺全権ニ通報ノ件……………一一八

三 九四 一月三十一日 一二三 内田外務大臣ヨリ 在中国小幡公使宛(電報) 独逸植民地問題ニ関シ五大国会議ニ於ケル牧野全権及顧維鈞陳述ニ付通報及訓令ノ件……………一一九

別電 同日内田外務大臣発小幡公使宛電報第一二四号 右陳述要領……………一二〇

三 九五 一月三十一日 講五八 在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報) 日中取極公文発表ニ関シ回訓方稟請ノ件……………一二一

三 九六 一月三十一日 二〇 内田外務大臣ヨリ 在仏国松井大使宛(電報) 大正七年九月二十四日附日中取極ノ五大国会議提示差支ナキ旨回訓ノ件……………一二二

四 三一五 一月三十一日 二六 在紐育矢田総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報) 濠洲クキンスランド首相ライアン日本ノ「カロリン」マ「マ」イシャル「群島獲得ニ反対ナ」ル旨ヘラルド紙記者ニ談話ノ件……………三七八

五 三五六 一月三十一日 二二 内田外務大臣ヨリ 在仏国松井大使宛(電報) 頭山滿等國際聯盟ニ関シ人種差別撤廃ノ國民的運動ヲ計画ノ件……………四三七

一五 八四七 一月三十一日 六一 在浦潮松平政務部長ヨリ 内田外務大臣宛(電報) モーリス米國大使ヨリ鉄道協定ノ細目交渉ニ入り度旨申出……………一一一九

二 月

三 九七 二月一日 一 在中國小幡公使ヨリ 在仏国松井大使宛(電報) 日中間公文書ノ一方の発表差控方中国政府ニ申入ニ関シ回答ノ件……………一二一

三 九八 二月一日 講六四 在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報) 中国委員ノ反日的行動ニ関シ反省ヲ求ムル為北京政府及在中國公使ニ交渉方稟請ノ件……………一二二

四 三一六 二月一日 講六三 在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報) 一月三十日ノ五大国会議ニ於テ独逸植民地ノ委任統治ニ関シ英國首相ノ提案審議ノ件……………三七九

一五 八四八 二月一日 一二七 内田外務大臣ヨリ 在中國小幡公使宛(電報) 東支鐵道管理問題ニ付章中国公使ヨリ覚書提出ノ件……………一一一九

別電 同日内田外務大臣発在中国小幡公使宛電報第一二七号 右覚書要領和訳文……………一二〇

一八 九六九 二月一日 四三 在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報) 度量衡統一ノ為ノ特別會議開催ニ付各國ノ意向問合ヲ經濟委員會第三十九回會議ニテ決定ノ件……………一二九九

附記

大正七年十一月十八日在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛通機公第三十三号 國際常設經濟委員會第三十七回會議報告……………一三〇〇

一	一七	二月二日	五九	在英国永井臨時代理大使ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	艦隊引揚異議ナキ旨英国政府 ヨリ回答越ノ件……………二〇
三	九九	二月二日	一三六	内田外務大臣ヨリ 在中国小幡公使宛（電報）	王正廷ハチャイナ、エーゼン シーニ關係アル趣ニ付中国当 局ノ注意喚起方訓令ノ件……………一二二
三	一〇〇	二月二日	七	内田外務大臣ヨリ 在広東太田総領事宛（電報）	米國ニ於ケルチャイナ、エー ゼンシーノ反日活動ニ関シ軍 政府当局ノ注意喚起方訓令ノ 件……………一二三
五	三五七	二月二日	一四	在シドニー清水総領事ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	日本ハ人種的差別待遇廢止ヲ 國際聯盟ニ要求セントストノ 報道ニ関シ意見上申ノ件……………四三七
三	一〇一	二月三日	一六一	在中国小幡公使ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	日中間公文書ノ一方的發表差 控方外交総長代理ニ申入レタ ル件……………一二三
三	一〇二	二月三日	一六三	在中国小幡公使ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	大正七年九月二十四日附日中 取極ヲ五大國會議ニ提出ニ付 外交総長代理ニ通告ノ件……………一二四
三	一〇三	二月三日	一六六	在中国小幡公使ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	日本ハ中國委員ノ行動ヲ掣肘 スル為中國政府ヲ圧迫シツツ アリトノ北京通信ニ関シ中國 側ニ嚴重注意ノ件……………一二四
四	三二七	二月三日	講二五	内田外務大臣ヨリ 在仏國松井大使宛（電報）	赤道以北独領南洋諸島ノ処分 ニ関シ日本政府ノ意向ヲ五國 會議ニ於テ宣明方訓令ノ件……………三八一
七	四三二	二月三日	軍務機 密五五	山梨海軍省軍務局第一課長 ヨリ 武者小路外務省政務局第二 課長宛	軍備制限問題ニ関シ在外日本 大使館附武官報告拔萃送付ノ 件……………五四八
二	二二	二月四日	講七三	在仏國松井大使ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	ウィルソン大統領ノ招請ニ依 リ國際聯盟組織審議ノ為非公 式第一回會合開催ノ件……………二二五
三	一〇四	二月四日	講二六	内田外務大臣ヨリ 在仏國松井大使宛（電報）	各種議案審議ノ際ノ心得事項 訓達ノ件……………一二五
三	一〇五	二月四日	一六七	在中国小幡公使ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	中國委員ノ行動ニ関シ我陸軍 側ヨリ在日中國公使館ニ何等 申入ヲ為シタルコトナキヤ取 調方稟請ノ件……………一二五
三	一〇六	二月四日	一六九	在中國小幡公使ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	講和會議ニ於ケル中國代表ノ 言動ニ関シ曹汝霖談話ノ件……………一二五
三	一〇七	二月四日	一七〇	在中國小幡公使ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	講和會議ニ於ケル日中關係ニ 付或種ノ申出ヲ為ス様在奉天 日本總領事ガ張作霖ニ圧力ヲ 加ヘタル旨ノ報道ニ關スル件……………一二六
三	一〇八	二月四日	一七一	在中國小幡公使ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	京津タイムズ社説ハ日本ガ講 和會議ニ於テ其意ノ儘ニ中國 ヲ屈從セシメントスルノ非ヲ 論シタル件……………一二六
三	一〇九	二月四日	一七二	在中國小幡公使ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	日中取極ノ五國會議提出差支 ナキ旨外交総長代理ニ通告並 在仏中國委員ノ態度ニ付注意 ヲ喚起シタル件……………一二七
三	一一〇	二月四日	講八一	在仏國松井大使ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	山東諸問題ニ關スル大正七年 九月二十四日附日中取極ニ付 問合ノ件……………一二八
四	三二八	二月四日	講八三	在仏國松井大使ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	赤道以北独領南洋諸島処分ニ 關スル取扱方ニ付稟申ノ件……………三二二

五 三五八 二月 四日 機密公

在紐育矢田總領事ヨリ
内田外務大臣宛

紐育在留日本人ヨリ國際聯盟規約中ニ人種的又ハ宗教的差別待遇禁止ノ条項ヲ設クル様日本講和全權ニ電請ノ件……………四三七

附屬書

右電文……………

四三八

一四 八一三 二月 四日 講七七

在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

開戦責任及制裁委員會第一回會議ニ於テ該委員會ノ構成及分科會設置等ヲ決定ノ件……………一〇六四

一五 八四九 二月 四日 四〇

内田外務大臣ヨリ
在浦潮松平政務部長宛(電報)

モリス大使ト鐵道管理細目協定交渉開始ニ異存ナキ旨回答ノ件……………一一二〇

二〇 九九九 二月 四日 講七九

在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

労働者保護ニ関スル條約案ニ対処スル方針ニ付請訓ノ件……………一三四〇

別電

同日松井大使發内田外務大臣宛講第八〇号英國ヨリ國際労働法制委員會ニ提出セル労働條件ノ國際的規制ノ為常設機關創設ニ関スル條約案……………一三四一

三 一一一 二月 五日 一七六

在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

大正七年九月二十四日附日中間交換公文ヲ五大國會議ニ提出方ニ關スル件……………一二九

三 一二二 二月 五日 一七八

在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

中国委員ノ行動掣肘說ニ關シ英米兩國公使ニ委細説明ノ件……………一二九

三 一一三 二月 五日 一五三

内田外務大臣ヨリ
在中国小幡公使宛(電報)

中国委員ノ反日の態度等ニ關シ徐總統ニ申入方訓令ノ件……………一二九

三 一一四 二月 五日 講三二

内田外務大臣ヨリ
在仏国松井大使宛(電報)

中国委員ノ反日の態度ニ關シ中国政府ニ申入方措置セルニ付四國委員ニ内話シ置カレ度ノ件……………一三一

四 三一九 二月 五日 講三一

内田外務大臣ヨリ
在仏国松井大使宛(電報)

赤道以北独領諸島領有問題普通選舉制実施問題ニ關スル國會方面ノ動キ通報ノ件……………三八二

五 三五九 二月 五日 講三一

内田外務大臣ヨリ
在仏国松井大使宛(電報)

日本ノ南洋占領地領有問題人種的差別待遇ノ撤廢問題労働ノ國際的自由ノ問題其他ノ關スル議會及議員ノ論議通報ノ件……………四三八

八 四五三 二月 五日 講八六

在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

損害補償委員會第二回會議ニ於テ書記局及分科會設置等ヲ決定ノ件……………五七七

一〇 五三三 二月 五日 講八七

在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

財政委員會第一回會議開催ノ件……………六五四

三 一一五 二月 六日 一八一

在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

在仏中国委員ノ行動掣肘說ニ關シ路透通信及外字各紙ノ取扱振報告並本邦外字紙ノ筆法如何ニ付問合ノ件……………一三一

三 一一六 二月 六日 一八二

在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

中国委員ノ反日の態度ニ付大國委員ヘ内話方ニ關スル件……………一三二

三 一一七 二月 六日 三八

内田外務大臣ヨリ
在仏国松井大使宛(電報)

中国委員ノ反日態度ニ付大國委員ヘ内話方ニ關スル件……………一三二

三 一一八 二月 六日 三三

在上海有吉總領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

日本ガ中国ノ外交主權ニ干涉シ居ル旨ノ路透電報ニ關シ唐紹儀ヨリ徐世昌ニ通電ノ件……………一三二

三 一一九 二月 六日 四二

在広東太田總領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

歐洲平和會議代表トシテ軍政府ヨリ伍朝枢ヲ派遣ノ件……………一三三

五 三六〇 二月 六日 六〇

内田外務大臣ヨリ
在仏国松井大使宛(電報)

人種的差別撤廢期成大会ニ於テ宣言及決議満場一致可決ノ旨通報ノ件……………四三九

七 四三三 二月六日 七番 在巴里竹下海軍中将ヨリ
海軍省宛(電報)……………五四九

八 四五四 二月六日 講九〇 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)……………五七八

八 四五五 二月六日 講九一 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)……………五七八

二 二三 二月七日 十番電 在巴里竹下海軍中将ヨリ
島村軍令部長、加藤海軍大
臣宛(電報)……………二六

三 一二〇 二月七日 四三 在広東太田総領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)……………一三三

三 一二一 二月七日 講四一 内田外務大臣ヨリ
在仏国松井大使宛(電報)……………一三四

三 一二二 二月七日 一九〇 在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)……………一三四

三 一二三 二月七日 一六六 内田外務大臣ヨリ
在中国小幡公使宛(電報)……………一三六

一五 八五〇 二月七日 一五六 内田外務大臣ヨリ
在中国小幡公使宛(電報)……………一二二

一五 八五一 二月七日 星二 星野少将ヨリ
福田参謀次長宛(電報)……………一二二

二〇 一〇〇〇 二月七日 講九四 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)……………一三四四

二 二四 二月八日 二十 在巴里奈良中将ヨリ
田中陸軍大臣宛(電報)……………二八

三 一二四 二月八日 三八 在上海有吉総領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)……………一三六

別電 二月八日在上海有吉総領事宛内田外務大臣
宛電報第三九号……………一三七
右ニ関スル北支日報社説要旨……………一三七

三 一二五 二月八日 一六八 内田外務大臣ヨリ
在中国小幡公使宛(電報)……………一三七

三 一二六 二月八日 一二二 在米石井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)……………一三八

四 三二〇 二月八日 四四 内田外務大臣ヨリ
在仏国松井大使宛(電報)……………三八三

五 三六一 二月八日 一二 内田外務大臣ヨリ
西園寺全権宛(電報)(註)……………四三九

二〇 一〇〇一 二月八日 講四九 内田外務大臣ヨリ
在仏国松井大使宛(電報)……………一三四七

一 六 二月 九 日 講一〇二 在仏国松井大使ヨリ 最新軍事會議ニ於テ対独休戦更新ノ条件ニ付審議ノ件……………九

三 一二七 二月 九 日 講一〇三 在仏国松井大使ヨリ 中国講和使節ノ対日態度等ニ関スル情報ノ件……………一三九

別 電 一

二月九日在仏国松井大使宛内田外務大臣宛 電報講第一〇四号……………一三九
右ニ関スル米國聯合通信社宛北京電報

二

二月九日在仏国松井大使宛内田外務大臣宛 電報講第一〇五号……………一四〇
日本ノ中国庄迫ニ関スル中国各紙論評

三 一二八 二月 九 日 一二三 在米國石井大使ヨリ 石井ランシング協約ニ関スル中国全權ノ意見ヲ紐育タイム……………一四〇
内田外務大臣宛(電報)

三 一二九 二月 九 日 一二四 内田外務大臣ヨリ 講和會議提出案件干涉問題ニ関シ北京政府ヘノ我方申入ノ趣旨ヲ唐紹儀ニ説明方訓令ノ件……………一四一

九 五〇〇 二月 九 日 講一〇八 在仏国松井大使ヨリ 巴里講和會議經濟問題調査委員第二回會議ニ於テ委員會ノ議題ト為スベキ事項ニ付協議ノ件……………六三一

一 七 二月 十 日 講一一〇 在仏国松井大使ヨリ 対独休戰條約更新審議及最高經濟會議設置ニ関スル二月八日ノ最高軍事會議コミュニケ報告ノ件……………九

三 一三〇 二月 十 日 二〇六 在中国小幡公使ヨリ 外交總長代理トノ二月二日会谈ニ関スル八日ノ新聞記事訂正ノ件……………一四二

附 記

二月十一日東京朝日新聞記事 小幡公使警告事件ニ関スル中国政府ノ声明……………一四二

三 一三一 二月 十 日 講五一 内田外務大臣ヨリ 小幡公使ノ对中国政府警告事件ニ関シ幣原次官ヨリ聯合通信員ニ真相説明ノ件……………一四三

七 四三四 二月 十 日 一五三 在仏国松井大使ヨリ 独国艦艇処分問題ニ関スル件……………五五〇
幣原外務次官宛

一 八 二月 十一 日 講一三 在仏国松井大使ヨリ 最高軍事會議ニ於テ対独休戰條約更新ニ関シ独逸ノ休戰條約及仏獨間財政協定ノ不履行ニ対スル措置等ヲ審議ノ件……………一〇

二 二五 二月 十一 日 講一二 在仏国松井大使ヨリ 國際聯盟規約原案審議ノ際各國委員ノ表示セル意見中參考トナルベキモノニ付報告ノ件……………二八

附 記 國際聯盟問題ガ平和會議ノ議ニ上ルニ至リタル沿革及事情……………三〇

三 一二二 二月 十一 日 六八 内田外務大臣ヨリ 中国政府庄迫ニ関スル路透電報ハ誤報ナル旨唐紹儀ニ説明方有吉總領事ニ電訓シタル件……………一四四

三 一三三 二月 十一 日 二〇九 在中国小幡公使ヨリ 中国委員ノ反日行動ニ関シ徐總統ニ申入執行方ノ再訓令ニ対シ右申入見合方再稟申ノ件……………一四四

三 一三四 二月 十一 日 四四 在上海有吉總領事ヨリ 中国使節顧、王、陳ノ三氏ニ関シ唐紹儀談話ノ件……………一四六

八 四五六 二月 十一 日 講一五 在仏国松井大使ヨリ 仏國側ノ損害補償原則草案ニ関スル各國提出ノ対案ニ付討議ノ件……………五七九

一五 八五二 二月 十一日 一二六 在米國石井大使ヨリ
案ニ対シ米國政府同意ノ旨回……………一二二
答ノ件

二〇 一〇〇二 二月 十一日 一六 在仏國松井大使ヨリ
労働國際機關ノ構成ニ関スル ……一三四七
英國案疑義ニ付回電ノ件

三 一三五 二月 十二日 講五六 在仏國松井大使ヨリ
中国側ノ対日態度ニ関スル報 ……一四六
道ニ対シ反駁材料回電ノ件

三 一三六 二月 十二日 四五 在広東太田總領事ヨリ
巴里會議ニ於ケル日中問題ニ ……一四七
関シ広東新聞界公会、国会等ノ動キ報告ノ件

三 一三七 二月 十二日 講一二三 在仏國松井大使ヨリ
講和會議ニ於ケル日中問題ニ ……一四七
関シ日本ノ中国圧迫ヲ路透報道ノ件

三 一三八 二月 十二日 二二〇 在中国小幡公使ヨリ
中国講和委員ハ石井・ランシ ……一四八
北支スター紙報道ノ件

三 一三九 二月 十二日 三六 在紐育矢田總領事ヨリ
紐育在留中国人集会ニ於テ二 ……一四八
十一個条ノ根本的改訂希望ノ決議ヲ米國大統領ニ電報シタル旨並其他ニ関スル新聞報道ニ付報告ノ件

三 一四〇 二月 十二日 一七 在桑港太田總領事ヨリ
日本ガ中国全權ノ言動ヲ抑止 ……一四九
スルガ為中国政府ヲ圧迫セリトノ北京電報ニ依リ米國ノ対日感情悪化ノ件

五 三六二 二月 十二日 七二 在内田外務大臣ヨリ
人種的差別撤廢期成大会ヨリ ……四四〇
宣言決議ヲ日本全權ニ打電方依頼アリタル旨通報ノ件

附記 二月六日附東京日日新聞記事……………四四〇

九 五〇一 二月 十二日 講一二〇 在仏國松井大使ヨリ
經濟委員會第三回會議ニ於テ ……六三二
委員會ノ議題決議ノ件

別電 同日在仏國松井大使發内田外務大臣宛講第一二二一號
右議題ニ関スル決議 ……六三二

一五 八五三 二月 十二日 一二八 在米國石井大使ヨリ
シベリア鐵道管理案ノ協定成 ……一二三
立セルニ付米國側至急發表希望及發表事項ニ関スル件

一 九 二月 十三日 講一二六 在仏國松井大使ヨリ
二月十二日午後ノ最高軍事會議ニ於テ休戰條約更新方法、 ……一二二
議ニ對スル軍事上ノ要求事項ノ取扱方等決定ノ件

一 一〇 二月 十三日 講一二七 在仏國松井大使ヨリ
二月十二日午前ノ最高軍事會議ニ於テ休戰條約不履行 ……一四
行ニ對スル措置及休戰ノ期間更新問題審議ノ件

別電 二月十三日松井大使發内田外務大臣宛電報
講第一二二八號
獨逸ノ休戰條約不履行問題對策委員會報告……………一六
要領

二 二六 二月 十三日 天電二三 石光天津軍司令官ヨリ
北京国会及國際聯盟同士會ノ ……三二
國際聯盟促進運動報告ノ件

三 一四一 二月 十三日 二二二 在中国小幡公使ヨリ
中国委員ノ反日行動ニ関シ餘 ……一五〇
方稟申セルモ右見合不可能トセララル場合ニ對スル措置方ニ付意見呈示ノ件

三 一四二 二月 十三日 機密 在中國小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛

講和中国委員ノ行動ニ付日本
ガ中国政府ニ圧迫ヲ加ヘタリ
トノ報道ニ関シ中国側弁明ノ
件 一五一

附屬書一

二月八日付北京リダー所載陳外交總長代
理ト同紙記者トノ会見録 一五一

二 二月九日付同紙所載ノ右会見録ニ対スル中
国側ノ訂正 一五四

三 二月十日付新民報所載中国政府ヨリ各漢字
紙ニ發表セル声明 一五六

三 一四三 二月 十三日 講 一四三
在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 一五七

二〇 一〇〇三 二月 十三日 講 五八
在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 一三四八

二〇 一〇〇四 二月 十三日 講 五九
在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 一三四八

二 二七 二月 十四日 講 一四〇
在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 三三

二 二八 二月 十四日 一四九
在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 四三

二 二九 二月 十四日 三五
在巴里奈良陸軍中將ヨリ
田中陸軍大臣宛(電報) 四四

三 一四四 二月 十四日 二〇一
内田外務大臣ヨリ
在中國小幡公使宛(電報) 一五七

三 一四五 二月 十四日 講 六二
内田外務大臣ヨリ
在仏国松井大使宛(電報) 一五八

三 一四六 二月 十四日 公六二
在中國小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛 一五八

附屬書 二月十四日附北京リダー記事及同日附北
支スター記事切抜 一五八

三 一四七 二月 十四日 一二九
在米國石井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 一六一

三 一四八 二月 十四日 七六
在英国永井臨時代理大使ヨ
リ
内田外務大臣宛(電報) 一六一

三 一四九 二月 十四日 七八
在英国永井臨時代理大使ヨ
リ
内田外務大臣宛(電報) 一六二

三 一五〇 二月 十四日 一三二
在米國石井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 一六二

別電

同日石井大使發内田外務大臣宛電報第一三
三號 右華府連合通信ノ報道 一六三

七 四三五 二月 十四日 奈良中將 在巴里奈良陸軍中將ヨリ
電三十二 陸軍省宛(電報) 最高軍事會議及連合國軍人会
ニ引続キ參列シ差支ナキヤ請
訓ノ件 五五一

三 一五一 二月 十五日 公四七 在香港鈴木總領事ヨリ
内田外務大臣宛 対日論調訳報ノ件 一六四

三 一五二 二月 十五日 講六五 内田外務大臣ヨリ
在仏国松井大使宛（電報）
中国委員ノ態度ニ付小幡公使
及陳外交總長間會談ニ関スル
外交部聲明ノ要領北京ヨリ直
接電報方取計置キタルニ付右
利用アリ度件 一六六

三 一五三 二月 十五日 五 在中国小幡公使ヨリ
在仏国松井大使宛（電報）
中国委員ノ態度ニ付陳外交總
長代理トノ會見状況ニ関スル
外交部聲明ノ和訳文電報ノ件 一六七

別電 同日小幡公使
右外交部發表ノ和訳文
發松井大使宛電報第六号 一六七

五 三六三 二月 十五日 講一四八 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）
聯盟規約中ニ人種差別撤廃規
定挿入方ノ我方提案ヲ委員會
ニ於テ審議ノ件 四四三

別電一 二月十四日松井大使
講第一三三号
二月十三日國際聯盟委員會ニ於ケル牧野委
員ノ演說 四四六

二 二月十五日松井大使
講第一四九号
二月十四日午後總會議ニ於ケル牧野委員ノ
演說 四四八

七 四三六 二月 十五日 二十七番 在巴里竹下海軍中將ヨリ
柄内海軍次官宛（電報）
独逸水上艦艇ノ処分ニ関スル
海軍會議ノ模様報告及請訓ノ 五五一

一五 八五四 二月 十五日 八八 在浦潮松平政務部長ヨリ
内田外務大臣宛（電報）
シベリア鐵道管理ノ細目協定
ニ関シモリス米國大使ト談
話ノ件 一二三

二〇 一〇〇五 二月 十五日 講一四六 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）
労働國際機關ノ構成ニ関スル
英國案ニ対スル疑義ニ付回電 一三四九

二 三〇 二月 十六日 講一五七 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）
國際聯盟規約案ノ附議セラレ
タル第三回總會議ニ於ケル五
國代表等ノ演說等議事ノ状況
報告ノ件 四五

三 一五四 二月 十六日 二三一 在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）
日本講和委員ハ日中間密約公
表方訓令ヲ受ケタル旨及右ハ
中国ノ勝利ナル旨北京リ1ダ
1報道ノ件 一六八

三 一五五 二月 十六日 二三四 在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）
日本ハ在日中国公使ヲ圧迫セ
ルヤノ新聞記事ニ関シ問合ノ 一六九

三 一五六 二月 十六日 二三六 在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）
中国委員ノ行動掣肘問題ニ関
シ中国外交部聲明ノ和訳文ヲ
松井大使ニ電報セル旨報告ノ 一六九

三 一五七 二月 十六日 一三五 在米國石井大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）
中国政府ニ圧迫ヲ加ヘタル事
實ナシ等ノ当館弁明ニ基キ紐
育タイムスハ好意的社説掲載
ノ件 一七〇

別電 同日石井大使
六号
右紐育タイムス社説ノ大要 一七〇

三 一五八 二月 十六日 講一五一 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）
膠州灣問題討議ハ米大統領再
渡航後トナルベキ旨報告ノ件 一七一

別電 二月十六日在仏国松井大使
宛電報講第一五六号
人種の差別待遇撤廃ニ関スル
条項ノ甲案 四五一

五 三六四 二月 十六日 講一五五 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）
人種の差別撤廃条項ヲ國際聯
盟規約ニ加フルコトニ関スル
英米トノ交渉経緯報告ノ件 四四九

八 四五七 二月 十六日 講 一五二 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 損害補償委員会ニ於テ要償範圍等ニ関スル主義原則ニ付討……五七九議ノ件

八 四五八 二月 十六日 講 一六〇 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 本邦ニ於ケル敵国人ノ財産ノ……五八〇明細等ニ関シ照会ノ件

一五 八五五 二月 十六日 二二五 内田外務大臣ヨリ
在中国小幡公使宛(電報) シベリア鉄道管理協定ヘノ中国参加ヲ求ムル様措置方訓電……一二二五ノ件

別電

同日内田外務大臣宛小幡公使宛電報第二一六号
シベリア鉄道管理案ニ対スル米国政府ノ回答ニ関シ石井大使ニ回訓ノ件 ……一二二六

三 一五九 二月 十七日 講七一 内田外務大臣ヨリ
在仏国松井大使宛(電報) 中国委員ノ行動掣肘ニ関スル風説ハ事実無根ナル旨原首相……一七一議會答弁ノ件

別電

二月十七日内田外務大臣宛在仏国松井大使宛電報講第七二号
右答弁ノ要領 ……一七二

三 一六〇 二月 十七日 二二三 内田外務大臣ヨリ
在中国小幡公使宛(電報) 中国委員ノ行動掣肘ニ関スル風説ハ事実無根ナル旨原首相……一七二議會答弁ノ件

三 一六一 二月 十七日 四七 在広東太田総領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 巴里會議ニ於ケル日中問題ニ関シ国会ノ動キ活潑トナリ来……一七三レル状況報告ノ件

二〇 一〇〇六 二月 十七日 講 一五八 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 国際労働法制委員会ニ於ケル英国提出ノ条約案ノ逐条審議……一三五二状況報告ノ件

一 一一 二月 十八日 講 一六三 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 独逸ハ休戦条約延長ノ条件ヲ受諾セル旨ノ公式発表報告ノ……一七件

附記 一九一九年二月十六日ノ対独休戦延長ニ関スル追加条約 ……一七

三 一六二 二月 十八日 八六 在英國永井臨時代理大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 中国ニ於ケル勢力範圍撤廃問題ハ講和會議ニ上提セラルベ……一七四キ旨極東課長内話ノ件

三 一六三 二月 十八日 講七三 内田外務大臣ヨリ
在仏国松井大使宛(電報) 山東鐵道ニ関スル日中協定ハ何等秘密事項ヲ有セザル旨幣原次官ヨリ米国代理大使ニ説明ノ件 ……一七四

三 一六四 二月 十八日 七六 内田外務大臣ヨリ
在仏国松井大使宛(電報) 日中密約説ニ關連シ關係文書ノ積極的公表ハ此際見合セラ……一七五レ度件

三 一六五 二月 十八日 八八 在英國永井臨時代理大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 我方態度ニ関スル牧野全權ノ聲明等ヲタイムス紙掲載ノ件 ……一七六

八 四五九 二月 十八日 講 一六七 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 我國カ賠償ヲ要求スヘキ損害ノ種類ニ関シ照会ノ件 ……五八〇

八 四六〇 二月 十八日 講 一六八 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 損害補償委員会第一分科会ニ於テ損害ノ種類及評価ノ方法等ニ付調査ヲ進ム可キ旨決定……五八一ノ件

三 一六六 二月 十九日 二二三 内田外務大臣ヨリ
在中国小幡公使宛(電報) 在日中国公使庄迫ハ事実無根ナル旨回報ノ件 ……一七六

八 四六一 二月 十九日 講 一七七 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 損害補償委員会第二分科会ニ於テ敵国ノ支払能力及方法ニ……五八一付討議ノ件

八	四六二	二月十九日	講	一七八	在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	損害補償委員会第八及九回会 議ニ於テ引続キ補償範圍等ニ 関スル主義原則ニ付討議ノ件	……五八二
三	一六七	二月二十日	八三		内田外務大臣ヨリ 在仏国松井大使宛(電報)	中国外交部声明ニ関シ中国新 聞論調通報ノ件	……一七六
四	三二一	二月二十日	講八〇		内田外務大臣ヨリ 在仏国松井大使宛(電報)	独領南洋諸島ニ関スル我方意 向宣明方ニ付問合ノ件	……三八三
八	四六三	二月二十日	講	一八四	在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	損害補償委員会第一分科会ニ 対シ損害ノ種類ニ関スル我方 覚書ヲ提出並右覚書討議ノ際 採ルヘキ措置ニ付請訓ノ件	……五八三
一五	八五六	二月二十日	一〇五		在浦潮松平政務部長ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	鉄道管理聯合國特別委員会ノ 日本側委員任命方ニ関シ稟申 ノ件	……一二六
三	一六八	二月二十一日	公二四		在吉林森田領事ヨリ 内田外務大臣宛	日中密約ニ対スル中国新聞論 説訳報ノ件	……一七六
三	一六九	二月二十二日	講	一九一	在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	中国委員ノ日中間秘密文書公 表ニ関シ原首相ハ北京政府ニ 抗議セル旨アイヴァス通信報 道ノ件	……一七八
三	一七〇	二月二十二日	公七一		在中国小幡公使ヨリ 内田外務大臣宛	牧野男ノ声明ニ関スル英文北 京日報論説報告ノ件	……一七九
一五	八五七	二月二十二日	二六二		在中国小幡公使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	シベリア及東支鉄道管理協定 ニ対シ中国政府回答ノ件	……一二七
一五	八五八	二月二十二日	浦参 三二四		浦潮派遣軍参謀長ヨリ 福田参謀次長宛(電報)	鉄道沿線ノ軍隊再配備ニ関ス ル米国側ノ申出ニ対スル我派 遣軍ノ見解及方針具申ノ件	……一二八
一七	九四六	二月二十二日	浦参 三三二		浦潮派遣軍参謀長ヨリ 福田参謀次長宛(電報)	露国軍火砲用真鍮藥莖等ヲ日 本ヨリ露国政府ヘ供給方ニ関 シ英国ノックス少将ヨリ申出 アリタル件	……一二八〇
二〇	一〇〇七	二月二十二日	講	一八八	在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	国際労働法制委員会更ニ四回 會議開催英國提出ノ条約案第 十六條以下ヲ審議ノ件	……一三五六
二〇	一〇〇八	二月二十二日	講	一八九	在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	労働国際機関設置ニ関スル英 国案第十八條ニ対スル日本政 府ノ賛否決定ニ際シ意見具申 並請訓ノ件	……一三五八
八	四六四	二月二十三日	講	一九九	在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	敵国ニ要求スヘキ原料品製造 品及敵国ノ支払能力方法等ニ 関シ賠償委員会第二分科会ニ 於テ討議ノ件	……五八三
一一	五九一	二月二十三日	一五九		在米国石井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	米国上院共和黨議員ノ國際聯 盟案攻撃演説報告ノ件	……七四五
一五	八五九	二月二十三日	二四五		内田外務大臣ヨリ 在中国小幡公使宛(電報)	シベリア及東支鉄道管理案中 東支鉄道ニ関シ章公使來省幣 原次官ト交渉ノ件	……一二九
一五	八六〇	二月二十三日	一一五		在浦潮松平政務部長ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	鉄道沿線ニ於ケル軍隊配置ニ 関シ米国側ヨリ提議アリタル ニ付請訓ノ件	……一一三一

二〇	一〇〇九	二月二十三日	講一九五	在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	国際労働法制ニ関スル英国案 第三四条乃至第三六条報告ノ……一三六〇 件
三	一七一	二月二十四日	講二〇一	在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	五大国會議ニ提出スベキ日中 公文書ニ付中国全權ト協議ノ……一八〇 上右手続ヲ了シタル件
四	三二二	二月二十四日	講二〇四	在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	赤道以北独領南洋諸島問題ニ 関スル訓令ノ執行振ニ付回報……三八四 ノ件
八	四六五	二月二十四日	講二〇三	在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	同日松井大使發内田外務大臣宛電報講第二 〇五号 二月八日ノ会合ニ於テ聯盟規約委任統治規 定案中ノ字句變更ニ牧野全權反對ノ件……三八四
五	三六五	二月二十五日	一九	在シドニー清水總領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	損害補償委員會第一分科会及 第三分科會議事報告ノ件……五八六
一五	八六一	二月二十五日	一二二	在浦潮松平政務部長ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	日本人ノ世界各國ヘノ自由入 国要求問題ニ関スル一雜誌ノ……四五 論評報告ノ件
一八	九七〇	二月二十五日	三条機密送	内田外務大臣ヨリ 在仏国松井大使宛	鐵道沿線ニ於ケル日米兩軍ノ 配置問題ニ付モリス米國大使……一三 トノ談話ニ関シ請訓ノ件
一八	九七一	二月二十五日	通機公 四	在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛	附記 大正七年九月二十六日附松井大使發後藤外 務大臣宛通機公第三〇号 國際常設經濟委員會第三十六回會議報告 達ノ件……一三〇二
二〇	一〇一〇	二月二十五日	講二二〇	在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	國際常設經濟委員會第四十回 會議報告轉達ノ件……一三〇四
二〇	一〇一一	二月二十五日	講二二一	在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	國際労働法制委員會勞働國際 機關設置ニ関スル英國案第十 八条、第二十二、第二十三 条審議ノ件……一三六〇
三	一七二	二月二十六日	講二二〇	在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	國際労働法制委員會討議事項 ニ関シ回訓方稟請ノ件……一三六二
三	一七三	二月二十六日	講二二二	在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	膠州灣還附ニ関スル日中交換 公文ニ記載ナキ条件等決定次 第通報方稟請ノ件……一八〇
八	四六六	二月二十六日	講九二	在仏国松井大使ヨリ 在仏国松井大使宛(電報)	中国講和委員ノ行動掣肘ニ関 スル情報ノ出所ハ米國務省ナ ル旨A P社長ストイン内話ノ 件……一八一
一五	八六二	二月二十六日	七一	内田外務大臣ヨリ 右浦潮松平政務部長宛(電 報)	敵国支払能力及其方法ニ関シ 期日迄ニ回電ナキ場合ノ措置……五八六 方訓令ノ件
一五	八六三	二月二十六日	七二	内田外務大臣ヨリ 在浦潮松平政務部長宛(電 報)	鐵道管理聯合國特利委員會ノ 日本側委員任命問題ニ付回訓……一三三 ノ件
二〇	一〇一二	二月二十六日	講二二三	在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	シベリア及東支鐵道沿線ノ守 備隊配置問題ニ付回訓ノ件……一三三 件
					平和条約中ニ社会条項トシテ 採用セラルベキ労働者保護ノ 為ノ國際的規制案ヲ伊國委員……一三六三 國際労働法制委員會ニ提議ノ 件

二 三一 二月二十七日 講 内田外務大臣ヨリ
一〇〇 在仏国松井大使宛（電報） 四七

附記

二月二十四日附伊東已代治子爵ヨリ原總理
大臣宛書翰
外交調査会ニ於テ作成シタル我全權委員ヘ
ノ質疑要項送付ノ件……………四八

二 三二 二月二十七日 七六 在瑞西国本多公使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）……………四九

三 一七四 二月二十七日 講 在仏国松井大使ヨリ
二二六 内田外務大臣宛（電報）……………一八一

一 五九二 二月二十七日 一六八 在米国外務大臣ヨリ
内田外務大臣宛（電報）……………七四五

二 三三 二月二十八日 六一 在巴里奈良陸軍中將ヨリ
田中陸軍大臣宛（電報）……………五一

五 三六六 二月二十八日 七八 在瑞西国本多公使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）……………四五二

八 四六七 二月二十八日 財通 高橋大蔵大臣ヨリ
四一 内田外務大臣宛……………五八六

一 五九三 二月二十八日 一七七 在米国外務大臣ヨリ
内田外務大臣宛（電報）……………七四六

一五 八六四 二月二十八日 七九 内田外務大臣ヨリ
在浦潮松平政務部長宛（電報）……………一一三三

附記

二月五日閣議決定
長尾鐵道院理事ニ関スル件……………一一三四

三 月

四 三二三 三月一日 官房機密 枋内海軍次官ヨリ
二二一ノ 幣原外務次官宛……………三八五

一五 八六五 三月一日 一四〇 在浦潮松平政務部長ヨリ
内田外務大臣宛（電報）……………一一三五

二 一〇一三 三月一日 講 内田外務大臣ヨリ
一〇六 在仏国松井大使宛（電報）……………一三六四

二 一〇一四 三月一日 講 在仏国松井大使ヨリ
二三七 内田外務大臣宛（電報）……………一三六五

五 三六七 三月二日 一八三 在米国外務大臣ヨリ
内田外務大臣宛（電報）……………四五二

五 三六八 三月二日 一八五 在米國石井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

米國上院ニ於テ外交委員長ハ
大統領ガ移民問題ハ内政問題
ナリト断言セリト述ベタル件
……四五三

五 三六九 三月二日 二四六 在仏國松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

人種問題ニ関シ瑞西方面ニ於
テ言論機關利用方ニ付牧野男
ヨリ在瑞西公使ニ回答ノ件
……四五四

八 四六八 三月二日 欠 在仏國松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

第八回財政委員會ニ於テ確認
サレタル五国会議へ提出ノ報
告書内容全文報告ノ件
……五八七

一〇 五一四 三月二日 二三九 在仏國松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

財政委員會第八回會議ニ於テ
五国会議ニ提出セラレヘキ報
告書ノ内容正式ニ確認ノ件
……六五四

二〇 一〇一五 三月二日 二三八 在仏國松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

出稼労働者ニ対スル差別待遇
ノ撤廃ヲ提案ノ時機ニ関スル
件……一三六七

五 三七〇 三月三日 一五五 内田外務大臣ヨリ
在米國石井大使宛(電報)

人種の差別撤廃提案ニ関シ好
意的援助ヲ希望スル旨米國大
統領ニ申入方訓令ノ件
……四五四

八 四六九 三月三日 二五三 在仏國松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

賠償委員會ノ質疑ニ対スル五
国会議ノ回答ニ関スル件
……五八八

一五 八六六 三月三日 八八 内田外務大臣ヨリ
在浦潮松平政務部長宛(電
報)

シベリア鐵道管理ノ聯合國特
別委員會開催ニ同意方回訓ノ
件……一一三六

二〇 一〇一六 三月三日 二五一 在仏國松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

國際労働法制委員會ニ於ケル
英國案ノ第二読会其後ノ審議
事項ニ関シ追報ノ件
……一三六一

二〇 一〇一七 三月三日 二五四 在仏國松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

國際労働法制委員會ニ関シ參
考トナルベキ事項追報ノ件
……一三六九

二〇 一〇一八 三月三日 二五六 在仏國松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

國際労働法制条項ヲ平和条約
中ニ採用セントノ伊國提案ノ
意味ニ付回報ノ件
……一三七二

二〇 一〇一九 三月三日 二五七 在仏國松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

國際労働法制委員會ニ於ケル
英國案第十八条第四項末尾ノ
訂正案文追報ノ件
……一三七二

五 三七一 三月四日 一一四 内田外務大臣ヨリ
在仏國松井大使宛(電報)

人種の差別撤廃ハ主義トシテ
何人モ異議ナカルベキニ付珍
田大使ヨリ英國委員説得方訓
令ノ件
……四五五

五 三七二 三月四日 一二三 在シドニー清水総領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

日本ハ移民問題ヲ國際聯盟ニ
提出スルノ望絶エタリトノ報
道ニ関スル新聞論評報告ノ件
……四五五

一五 八六七 三月四日 一五〇 在浦潮松平政務部長ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

シベリア鐵道管理問題ニ付非
公式委員會ヲ開催ノ件
……一一三六

二〇 一〇二〇 三月四日 二六七 在仏國松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

第二読会ヲ通過シタル常設國
際労働機關設立協約案報告ノ
件(一)
……一三七二

三 一七五 三月五日 一一七 内田外務大臣ヨリ
在仏國松井大使宛(電報)

講和全權ト陸海軍側トノ間ノ
意思疏通方ニ関スル件
……一八一

三 一七六 三月五日 一二六 内田外務大臣ヨリ
在仏國松井大使宛(電報)

膠州灣租借地ハ日本ガ独逸ヨ
リ譲渡ヲ受ケタル上中国ニ還
附スル筈ナル旨指示ノ件
……一八二

附記 二月二十五日奈良陸軍中将発陸軍省宛電報
第五五号 青島還附ノ方式ニ関スル件
……一八二

三 一七七 三月五日 一二八 内田外務大臣ヨリ
在仏國松井大使宛(電報)
膠州灣還附ニ関シ既定条件以
外ハ今ヨリ予定シ難キ旨回訓
ノ件……一八三

三	一七八	三月五日	五四	在広東太田総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	平和會議各国代表ニ対シ日中 密約ノ廃止宣布方ヲ中国参衆 両院連合会ヨリ電請ノ件	一八三
三	一七九	三月五日	講 二八二	在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	中国ノ講和會議提出諸問題ニ 関シシユルナル紙報道ノ件	一八四
三	一八〇	三月五日	講 二八三	在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	中国ノ講和會議提出諸問題ニ 関シ請訓ノ件	一八四
三	一八一	三月五日	講 二八四	在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	膠州灣還附ニ関スル日本ノ希 望ニ付西園寺全権ヨリクレマ ンソノ首相ニ覚書ヲ手交ノ件	一八四
別 電 同日松井大使発内田外務大臣宛電報講第二 八五号 右覚書						
三	一八二	三月五日	講 二九一	在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	中国ノ講和會議提出諸問題ニ 関シ中国側ヨリ公表ノ件	一八七
三	一八三	三月五日	講 二九二	在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	中国全権ハ新聞記者団ニ対シ 日本ノ对中国態度要求ノ不当 ヲ指摘セル宣言ヲ發表シタル 件	一八七
五	三七三	三月五日	講 一二三	内田外務大臣ヨリ 在仏国西園寺全権委員宛 (電報)	講和會議ニ於ケル日本ノ立場 ノ不利ナル情況ニ関スル国民 新聞特派員ノ報道通報ノ件	四五六
一五	八六八	三月五日	一五三	在浦潮松平政務部長ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	シベリア及東支鉄道特別委員 会ニ於テ表決方式及鉄道協定 發表方法ニ関シ協議シタル件	一三七
二〇	一〇二一	三月五日	講 二六八	在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	同前件(二)……………	一三七三
二〇	一〇二二	三月五日	講 二六九	在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	同前件(三)……………	一三七三
二〇	一〇二三	三月五日	講 二七〇	在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	同前件(四)……………	一三七五
二〇	一〇二四	三月五日	講 二七一	在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	同前件(五)……………	一三七六
二〇	一〇二五	三月五日	講 二七二	在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	同前件(六)……………	一三七八
二〇	一〇二六	三月五日	講 二七三	在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	同前件(七)……………	一三七九
二〇	一〇二七	三月五日	講 二七四	在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	同前件(八)……………	一三八〇
二〇	一〇二八	三月五日	講 二七五	在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	同前件(九)……………	一三八一
二〇	一〇二九	三月五日	講 二七六	在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	同前件(一〇)……………	一三八二
二〇	一〇三〇	三月五日	講 二七七	在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	同前件(一一)……………	一三八四
二〇	一〇三一	三月五日	講 二七八	在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	同前件(一二)……………	一三八五
二〇	一〇三二	三月五日	講 二七九	在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	同前件(一三)……………	一三八七
二〇	一〇三四	三月五日	講 二八〇	在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	同前件(一四)……………	一三八九

五 三七四 三月 六日 講 二九七 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

七 四三七 三月 六日 四十九番 在巴里竹下海軍中将ヨリ
加藤海軍大臣及島村軍令部
長宛(電報)

九 五〇二 三月 六日 閣議決定

一〇 五一五 三月 六日 講 三〇一 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

一一 五九四 三月 六日 一九一 在米国石井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

一四 八一四 三月 六日 講 二九三 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

二〇 一〇三三 三月 六日 講 二八〇 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

二〇 一〇三五 三月 六日 講 一三〇 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

別電

同日内田外務大臣宛在仏国松井大使宛電報
講第一三一號
國際労働法制問題ニ関シ日本
政府ノ方針開示ノ件
……一三九〇

附記一

右ニ関スル關係省主任官協議會議事録……一三九二
右ニ関スル高裁案……一四〇一

二 三四 三月 七日 田中陸軍大臣ヨリ
在巴里奈良陸軍中将宛(電報)
國際聯盟規約案ニ対スル陸軍
ノ意見開示ノ件
……五二

三 一八四 三月 七日 講 三〇七 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)
二十一個條問題及中國參戰ノ
遷延事情ニ関シ事實ノ真相等
回示方稟請ノ件
……一八八

別電

三月七日在仏国松井大使宛
電報講第三〇八號
右ニ関スルアーヴァス通信記事
……一八八

六 四一六 三月 七日 五十三番 在巴里竹下海軍中将ヨリ
加藤海軍大臣及島村軍令部
長宛(電報)
最高軍事會議ニ於テ独国海底
電線処分問題ヲ討議ノ件
……五一六

七 四三八 三月 七日 講 三二二 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)
最高軍事會議ニ於テ軍事条項
及海底電線問題等ニ付討議ノ
件
……五五二

一八 九七二 三月 七日 一〇九 幣原次官ヨリ
在仏国松井大使宛(電報)
度量衡統一ノ為ノ特別會議開
催ノ場合ニハ委員トシテ出席
スル様長岡參事官ニ指示ノ件
……一三〇五

三 一八五 三月 八日 一二二 在英国永井臨時代理大使ヨ
リ
内田外務大臣宛(電報)
英國ハ中國ニ於ケル勢力範圍
ニ他國ノ投資ヲ容認スルニ決
シタル旨マックス・ミュラー
内話ノ件
……一九〇

四 三二四 三月 八日 一二六 在シドニー清水總領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)
濠洲首相ノ白濠主義ヲ太平洋
諸島ニ延長セントスル運動ニ
反對スルオーナブルツク氏意
見ノ要点報告ノ件
……三八六

六 四一七 三月 八日 講 三一九 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）
最高軍事會議ニ於テ独逸ノ海
底電線問題、奥国食料補給問
題及独逸軍備制限条項ニ件討
議ノ件 …… 五一七

附記

同日松井大使發内田外務大臣宛電報講第三
一五号
右ニ関スル「コミュニケ」 …… 五一九

七 四三九 三月 八日 五十
番 在巴里竹下海軍中将ヨリ
加藤海軍大臣及島村軍令部
長宛（電報）
潜水艇存否問題ニ関シ無制限
使用ニハ反対ナルモ廢止ニハ
同意シ得ザル旨米英兩國ニ申
入ノ件 …… 五五五

八 四七〇 三月 八日 講 一三七 内田外務大臣ヨリ
在仏国松井大使宛（電報）
本邦ニ於ケル敵国政府及敵国
人財産明細表報告ノ件 …… 五八九

八 四七一 三月 八日 講 三三二 内田外務大臣ヨリ
在仏国松井大使宛（電報）
賠償委員會第一分科会及其散
会后議論ノ模様報告ノ件 …… 五九〇

一三 八一五 三月 八日 講 三二二 内田外務大臣ヨリ
在仏国松井大使宛（電報）
戦責委員會第二分科会ニ於テ
立案委員會報告ヲ審議ノ件 …… 一〇六七

一五 八六九 三月 八日 九九 内田外務大臣ヨリ
在浦潮松平政務部長宛（電
報）
シベリア鉄道特別委員會表決
制ニ関シ回訓ノ件 …… 一一三八

一五 八七〇 三月 八日 一七二 在浦潮松平政務部長ヨリ
内田外務大臣宛（電報）
シベリア鉄道特別委員會第三
回會議ニ於テ協定發表案ヲ審
議ノ件 …… 一一三八

三 一八六 三月 九日 二〇〇 在米国石井大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）
中国ノ対独要求並青島還附及
二十一個条問題等ニ関スル王
正延ノ談話ヲ紐育ワイルド紙
報道ノ件 …… 一九一

九 五〇三 三月 九日 講 一三八 内田外務大臣ヨリ
在仏国松井大使宛（電報）
講和會議經濟委員會ニ於テ我
委員ノ採ルベキ方針ニ関シ訓
令ノ件 …… 六三七

三 一八七 三月 十日 一一九 内田外務大臣ヨリ
在仏国松井大使宛（電報）
發表セラレタル日中間取極ニ
関シ問合ノ件 …… 一九二

別電

同日内田外務大臣發松井大使宛電報第二
〇号
右取極ニ関スル路透報道 …… 一九二

五 三七五 三月 十日 機密 一一五 在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛
巴里講和會議ニ於ケル我人種
差別撤廢ノ提案ニ對スル中国
官民ノ態度ニ関シ報告ノ件 …… 四五七

附屬書

「人種差別撤廢問題ト支那国民」（調書） …… 四五七

一三 八一六 三月 十日 講 三三二 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）
戦責委員會第三分科会ニ提出
セラレタル立案委員會修正報
告ノ内容ニ関スル件 …… 一〇六七

一五 八七一 三月 十日 一七六 在浦潮松平政務部長ヨリ
内田外務大臣宛（電報）
シベリア鉄道特別委員會第四
回會議ニ於テ協定發表案ヲ確
定ノ件 …… 一一三九

附記

右第四回會議ノ決議ニ基キホルワットニ送
付セル宣言書 …… 一一四〇

五 三七六 三月 十一日 三三三 内田外務大臣ヨリ
在中国小幡公使宛（電報）
人種の差別撤廢問題ニ関シ在
米大使ニハ米国大統領ノ援助
ヲ求ムルコト及在英大使ニハ
英國全權ト交渉スルコトヲ訓
令セル旨通報ノ件 …… 四六三

五 三七七 三月 十一日 公九九

在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛

人種の差別待遇撤廃問題等ニ
関スル英国人ノ日本攻撃投書……四六四
新聞切抜送付ノ件

附屬書

三月十一日附北京デリー、ニュース紙掲
載ノ右記事切抜……四六四

八 四七二 三月 十一日 講 三三八

在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

三月七日賠償委員会第一分科
会ニ関スル報告第二ニ基キ提
出ノ本邦要賠償概算書ニ付報
告並要賠償項目及金額回電方
稟請ノ件……五九一

九 五〇四 三月 十一日 講 三三四

在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

講和會議經濟諸問題委員会ニ
於テ分科会設置ヲ決定ノ件……六三八

二 三五 三月 十二日 六〇

在巴里竹下海軍中將ヨリ
柄内海軍次官、竹下軍令部
次長宛（電報）

國際紛争ヲ國際聯盟執行委員
会ニ附議セル場合一定ノ期間
紛争当事国ノ戰闘準備制限ノ
規定ヲ設クル必要ニ関スル件……五四

二 三六 三月 十二日 二〇九

在米國石井大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

ブライヤン氏國際聯盟規約案
中修正ヲ要スル七点ヲ指摘セ
ル声明書發表ノ件……五四

三 一八八 三月 十二日 三五〇

在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

陸徵祥ノ外交総長及講和使節
辭職ノ風説ニ関スル件……一九二

五 三七八 三月 十三日 一一

在シドニー清水総領事ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

聯盟ニ対スル日本ノ態度、人
種差別撤廃、移民及青島ノ諸
問題ニ関スル新聞社説報告ノ
件……四七〇

六 四一八 三月 十三日 二二二

在米國石井大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

英国ノ独逸海底電線獲得ニ対
シ米國側ハ反対ノ意向アル旨
巴里發聯合通信報道ノ件……五一九

一四 八一七 三月 十三日 講 三五〇

在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

最高軍事會議ニ於テ奧國皇帝
国外退去問題ニ付審議ノ件……一〇七一

三 一八九 三月 十四日 講 三五二

在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

對獨逸中國要求ニ関シ中國委
員提出ノ覚書ヲ講和會議書……一九三
記局ヨリ送付越ノ件

五 三七九 三月 十四日 七五

在米國石井大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

人種差別問題ニ関シ紐育ニ於
テ為サントスル演説ノ主旨報
告ノ件……四七一

八 四七三 三月 十四日 講 三五八

在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

第十三回賠償委員会ニ於ケル
敵國連帶責任ノ原則ニ関スル……五九二
議事内容報告ノ件

三 一九〇 三月 十五日 講 一六一

内田外務大臣ヨリ
在仏国松井大使宛（電報）

二十一個條問題及中國參戰ノ
遷延事情ニ関シ回訓並露國大
使ノ本國政府宛電報ニ関シ通
報ノ件……一九六

別電

同日内田外務大臣發在仏国松井大使宛電報
講第一六二号……一九七
中國參戰ニ付露國大使ヨリ本國政府宛電報
ニ関スル國際通信記事

三 一九一 三月 十五日 講 三六三

在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

發表セラレタル日中間取極ノ
公文書ニシテ我方ノ外國通信
社ニ示セルモノ及中國側ヨ……一九八
リ會議ニ提出セル書類ニ付回
報ノ件

三 一九二 三月 十五日 三七七

在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

中國側ヨリ講和會議ニ提出ノ
日中間問題ニ関シ陸宗輿ニ質問……一九八
シタル件

四	三二五	三月十五日	講	三六六	在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	日本ノ赤道以北太平洋諸島ノ 委任統治ニハ異議ナキ旨濠洲ノ 首相言明ノ件	三八六
五	三八〇	三月十五日	講	一五七	内田外務大臣ヨリ 在仏国松井大使宛(電報)	人種の差別撤廃期成同盟会ノ 活動状況等通報ノ件	四七一
五	三八一	三月十五日	講	三六五	在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	人種の差別撤廃問題ニ関シ聯 盟委員会ニ於ケル日本ノ提案 及其理由等ヲ珍田大使ヨリ濠 首相ニ説明ノ件	四七一
四	三二六	三月十六日	講	三七五	在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	講和会議日本全權ト陸海軍隨 員トノ連絡ニ関スル件	三八七
五	三八二	三月十六日	講	一六三	内田外務大臣ヨリ 在仏国松井大使宛(電報)	国際聯盟案ニ関連シ人種の差 別待遇撤廃問題ニ付我目的達 成ノ為尽力方希望ノ件	四七二
五	三八三	三月十六日	二二四		在米国石井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	石井大使ノ人種問題演説ニ対 スル重ナル論評報告ノ件	四七三
二〇	一〇三六	三月十六日	講	三七〇	在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	国際労働法制委員会ニ於ケル 英国案第三読会議事經過報告 ノ件	一四〇二
別電							
三月十六日及十七日松井大使発内田外務大 臣宛講第三七 労働ニ関スル具体的事項ニ付各国委員ヨリ 提出ノ諸案ノ綜合案							
二〇	一〇三七	三月十六日	講	三七四	在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	往電講第三七一号ニ関シ補足 ノ件	一四〇七
二〇	一〇三八	三月十七日	講	一六七	内田外務大臣ヨリ 在仏国松井大使宛(電報)	国際労働法制委員会第二読会 可決ノ条約案中疑問ノ点問合 ノ件	一四〇七
二〇	一〇三九	三月十七日	講	三八〇	在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	国際労働法制委員会ニ於テ米 国委員ヨリ英国案ニ対シ修正 案提出ノ件	一四〇八
別電							
同右電報講第三八一号 米国委員修正案(一)							
同右電報講第三八二号 米国委員修正案(二)							
三	一九三	三月十八日	公信	七四	在ヴァンクーヴァー浮田領 事ヨリ 内田外務大臣宛	国民党支部長陳樹人ノ逮捕ト 日中密約写発見説ニ関スル件	一九九
五	三八四	三月十八日	一九八		内田外務大臣ヨリ 在米国石井大使宛(電報)	三月十四日紐育ニ於ケル演説 電報方ノ件	四七五
八	四七四	三月十八日	官房機密 二〇八ノ 六		加藤海軍大臣ヨリ 内田外務大臣宛	戦争損害賠償要求額ニ関シ回 答ノ件	五九三
附屬書 海軍戦費調査(大正八年三月海軍省調)							
二〇	一〇四〇	三月十八日	講	一七〇	内田外務大臣ヨリ 在仏国松井大使宛(電報)	国際労働法制委員会ニ於ケル 英国案第二読会成案ニ対スル 我方態度ニ関シ回訓ノ件	一四一一
二	三七	三月十九日	二三三		在米国石井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	前大統領タフト等ノ国際聯盟 案ニ対スル修正案ニ関スル件	五五
三	一九四	三月十九日	三九六		在中国小幡公使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	山東問題ヲ講和会議ニ提議セ ルハ中国委員ノ独断ナル旨曹 汝霖談話ノ件	二〇〇
五	三八五	三月十九日	二二二		在米国石井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	人種の差別撤廃ニ関スル紐育 ニ於ケル演説報告ノ件	四七五

八 四七五 三月 十九日 講 一七一 内田外務大臣ヨリ
在仏国松井大使宛（電報）
賠償要求スヘキ損害ノ項目及
金額ノ今日迄ニ判明セル分通……五九五
報ノ件

二〇 一〇四一 三月 十九日 講 三八八 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）
国際労働法制委員会ニ於ケル
英国案第三読会ニ於テ該案ヲ
修正可決シ我方ハ採決ニ加ハ
ラザリシ旨報告ノ件 ……一四一二

別 電

三月二十日在仏国松井大使宛内田外務大臣
宛電報講第三九五号 ……一四一二
英国案第十九条第二十條ニ対スル妥協案

二 三八 三月 二十日 三九六 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）
国際聯盟規約案ノ我憲法トノ
關係其他我方ト直接重大關係
アル点ニ關スル問合ニ対シ回
電ノ件 ……五六

二 三九 三月 二十日 八四 在巴里奈良陸軍中將ヨリ
田中陸軍大臣宛（電報）
国際聯盟規約案ニ關スル陸軍
大臣訓令事項ノ処置ニ付稟報
ノ件 ……五八

五 三八六 三月 二十日 二三四 在米國石井大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）
石井大使ノ人種問題演説ニ關
スル巴里英字各紙報道及牧野
全權ノ声明在仏大使ヨリ通報
アリタルニ付転電ノ件 ……四七八

五 三八七 三月 二十日 三九七 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）
国際聯盟案ニ關シ人種の差別
問題等ノ我方修正案不採用ト
ナリタル場合ノ我方態度ニ付
請訓ノ件 ……四七九

一八 九七三 三月 二十日 機密送 六 内田外務大臣ヨリ
在仏国松井大使宛
国際常設經濟委員會第三十八
回會議決議事項第四關稅品ニ
關スル用語統一ニ付長岡委員
ニ傳達及訓令ノ件 ……一三〇六

附 記

大正七年十二月十日在仏国松井大使ヨリ内
田外務大臣宛通機公第三九号 ……一三〇六
国際常設經濟委員會第三十八回會議報告轉
達ノ件

二〇 一〇四二 三月 二十日 三九八 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）
国際労働機關ニ關スル英国案
ニ対スル米國修正案撤回ノ件
膠州灣還附条件等ニ關シ日本
政府ノ具体的方針回示方稟請
ノ件 ……二〇一

三 一九五 三月 二十一日 四〇八 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）
在留外國人均等待遇ノ我方提
案ガ容レラザル場合ニハ聯
盟加入ヲ差控ヘ然ルベキ旨稟
申ノ件 ……四八〇

五 三八八 三月 二十一日 三八 在ブエノスアイレス中村公
使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）
シベリア及東支鐵道特別委員
会ニ於ケル表決問題其他ニ關
シ通報ノ件 ……一四一

一五 八七二 三月 二十一日 二二一 内田外務大臣ヨリ
在米國石井大使宛（電報）

附 記

大正七年十二月四日内田外務大臣宛在米國
石井大使宛電報第六〇三号 ……一一四二
米國側ノ東支及シベリア鐵道經營取極案ヲ
日本政府諒承ノ旨通報ノ件

二〇 一〇四三 三月 二十一日 四〇七 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）
国際労働法制機關設置協約ニ
關シ英国案ニ賛成スルノ外ナ
キ旨意見上申ノ件 ……一四一四

一〇 五一六 三月 二十二日 四一一 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）
新財政委員會第一分科会ニ於
ケル珍田委員ノ發言等報告ノ
件 ……六五八

五 三八九 三月二十三日 二二六 在米國石井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 一節報告ノ件 四八一

二〇 一〇四四 三月二十三日 講 四二四 在仏國松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 國際労働法制条約案ノ疑問点ニ付回電ノ件 一四一五

二 四〇 三月二十四日 講 一九一 内田外務大臣ヨリ
在仏國松井大使宛(電報) 聯盟草案ハ精神及理想ニ於テ善美ナルモ現実問題ニ付疑義多キ旨東京日日紙論評ノ件 六〇

二 四一 三月二十四日 講 四二六 在仏國松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 三月二十二日國際聯盟委員會ニ於テ聯盟規約案審議ノ模様報告ノ件 六一

別 電 同日松井大使發内田外務大臣宛講第四二七号
三月二十二日國際聯盟委員會ニ於テ規約案ニ加ヘタル修正 六二

五 三九〇 三月二十四日 二四二 在米國石井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 人種問題演説ニ対スル反響報告ノ件 四八二

五 三九一 三月二十四日 講 一九三 内田外務大臣ヨリ
在仏國松井大使宛(電報) 人種差別撤廃講演会及同撤廃期成会第二回大会ノ模様通報ノ件 四八二

二〇 一〇四五 三月二十四日 講 四三五 在仏國松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 國際労働法制委員會ニ於テ労働条件ニ関スル具体的事項ヲ討議議了ノ件 一四一六

別 電 同日在仏國松井大使發内田外務大臣宛電報
講第四三六号 労働者保護ノ為ノ具体的事項ニ関スル条項案ニ付我方ノ態度表明ノ件 一四一八

五 三九二 三月二十五日 講 四四〇 在仏國松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 人種の差別撤廃規定ニ関シ濠洲側及英米側トノ交渉ノ經過報告ノ件 四八三

別 電 三月二十五日在仏國松井大使發内田外務大臣宛電報
講第四四一号甲号及乙号 改訂案 シベリア及東支鉄道監督案実行細部協定ニ関スル閣議請求案送付越ノ件 一四三

一五 八七三 三月二十五日 陸軍省ヨリ
外務省宛 國際聯盟委員會第二回會議ニ於ケル聯盟規約案ノ審議、軍備制限計画ノ十年毎更新、國際紛争平和の処理中ノ戦争準備禁止条項等ニ関シ報告ノ件 六三

二 四二 三月二十六日 八八 在巴里奈良陸軍中将ヨリ
田中陸軍大臣宛(電報) 講和問題有志大会ニ於ケル人種差別撤廃、南洋占領諸島獲得、山東省獨立ノ權利獲得等ノ決議及演説ニ付通報ノ件 四八五

五 三九三 三月二十六日 講 一九五 内田外務大臣ヨリ
在仏國松井大使宛(電報) 在留外國人均等待遇ノ我方提案ガ英米等ノ支持ヲ得ザル場合ニハ聯盟加入ヲ差控フルコトヲ切望スル旨重ネテ稟申ノ件 四八六

五 三九四 三月二十六日 四〇 在ブエノスアイレス中村公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 独逸海底電線処分ニ関スル三月二十四日ノ最高軍事會議討議内容報告ノ件 五二〇

六 四一九 三月二十六日 六十五番電 在巴里竹下海軍中将ヨリ
加藤海軍大臣及島村軍令部長宛(電報) 貸付金ハ賠償金トシテ要求セズ別途權利保全ノ途ヲ講スヘシトノ訓令ニ関シ再ヒ請訓ノ件 五九五

八 四七六 三月二十六日 講 四四六 在仏國松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 件

二 四三 三月二十七日 講 四五九 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 三月二十四日二十六日ノ国際
聯盟委員会ノ審議ニ関シ報告……………六四
ノ件

二〇 一〇四六 三月二十七日 講 四五二 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 國際労働法制委員会ニ於テ決
議セル第一回国際労働法總會
ニ備ヘ考慮ヲ要スベキ事項稟
申ノ件……………一四一八

三 一九六 三月二十八日 講 二〇三 内田外務大臣ヨリ
在仏国松井大使宛(電報) 中国委員提出ノ対独壤要求条
項中事実相違及曲解ノ点ニ付……………二〇一
説示ノ件

三 一九七 三月二十八日 講 二〇四 内田外務大臣ヨリ
在仏国松井大使宛(電報) 中国側ヨリ講和會議ニ提出セ
ラルベキ諸問題ニ関スル我方……………二〇四
態度ニ付指示ノ件

三 一九八 三月二十八日 講 二〇六 内田外務大臣ヨリ
在仏国松井大使宛(電報) 加藤憲政会總裁及原政友会総
裁ノ各議員總會ニ於ケル演説……………二〇五
大要通報ノ件

一五 八七四 三月二十八日 二二〇 在浦潮松平政務部長ヨリ
内田外務大臣宛(電報) シベリア及東支鐵道特別委員
会ノ財政上ノ権限ニ関シ技術
部ハ右委員会ト相異レル解釈
ヲ決議シタルニ付請訓ノ件……………一一四四

二〇 一〇四七 三月二十八日 四 監秘丙 鈴木司法次官ヨリ
幣原外務次官宛 労働条件ニ関スル各国提案ノ
綜合案中ノ囚人ノ作品ニ関ス
ル規定ニ対シ意見回示ノ件……………一四二〇

九 五〇五 三月二十九日 講 四六五 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 經濟委員會經濟条約分科会
議經過報告ノ件……………六三八

五 三九五 三月三十日 講 二〇九 内田外務大臣ヨリ
在仏国松井大使宛(電報) 人種的差別待遇撤廃問題ニ関
シ回訓ノ件……………四八六

別 電 同日内田外務大臣宛
講第二一〇号 人種的差別待遇撤廃ニ関スル日本委員宣言……………四八七
案

五 三九六 三月三十日 講 四七一 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 人種差別撤廃案ヲ濠洲首相拒
否シ、ハウス及スマッツ両氏
等トモ協議セルモ全ク行詰ト
ナレル經過報告ノ件……………四八七

六 四二〇 三月三十日 陸軍省ヨリ
外務省宛 独逸海底電線処分ニ関スル陸
軍省意見申出ノ件……………五二二

一四 八一八 三月三十日 講 四七三 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 戰爭責任委員會總會ニ於テ各
分科会報告ヲ審議ノ件……………一〇七一

三 一九九 三月三十一日 講 四八九 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 日中交換公文中ニ記載セラル
ル膠濟鐵道ノ合併經營ノ意義……………二〇七
問合ノ件

五 三九七 三月三十一日 二六五 在米国石井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 人種問題ニ関スル米國ノ反对
ハ日米國交ヲ阻害スルコトナ
カルベキ旨米紙報道ノ件……………四九〇

四 月

五 三九八 四月一日 講 二一四 内田外務大臣ヨリ
在仏国松井大使宛(電報) 國際聯盟規約前文ニ於テ人種
的差別撤廃ニ言及スル案ニ関
シ右ノ外我全権委員ノ執ルベ
キ措置ニ付訓令ノ件……………四九一

一五 八七五 四月一日

閣議決定

東支鐵道南部支線改訂ニ関シ……一四四
陸軍省提出ノ閣議請求案

五 三九九 四月二日

講 二二七
内田外務大臣ヨリ
在仏国松井大使宛（電報）

人種の差別撤廃期成会及講和
問題有志大会ノ各代表者ヨリ……四九一
決議書提出ノ件

五 四〇〇 四月二日

講 四八八
在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

人種問題ニ関シ牧野珍田スマ
ッツ氏ト協議シ並我國論ノ状……四九二
況ヲ説明シタル件

六 四二一 四月二日

官房機密
四三八
栃内海軍次官ヨリ
幣原外務次官宛

独逸海底電線処分ニ関スル海
軍ノ意見覚書送附ノ件……五二二

附屬書

四月二日付海軍省覚書
独逸海底電線処分ニ関スル件……五二三

二〇 一〇四八 四月二日

機密合送
一三八
内田外務大臣ヨリ
床次内務大臣、
大臣各宛

國際労働法法制統一問題ニ関シ……一四二〇
協議ノ件

附屬書一

國際労働法法制特別委員会決定ノ諸原則案写……一四二一
二 國際労働法法制委員会本会議ニ於ケル日本委
員ノ宣言写……一四二三

三 常設國際労働機関設置協約關連ノ議定書案……一四二三
写

四 講和条約中ニ挿入スヘキ諸原則ニ対スル我
方針案写……一四二四

一五 八七六 四月四日

幣原外務次官ヨリ
在本邦英國大使宛

東支鐵道ニ関スル中国政府ノ
態度並シベリア及東支鐵道特
別委員会ノ表決權ニ付英國政
府ノ照会ニ対シ回答ノ件……一四四五

二〇 一〇四九 四月四日

商 四三八九
山本農商務大臣ヨリ
内田外務大臣宛

國際労働法法制統一問題ニ関シ……一四二四
回答ノ件

五 四〇一 四月五日

講 五〇八
在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

人種の差別撤廃規定問題ニ関
スル訓令ノ三案ニ付所見稟申……四九三
ノ件

一〇 五一七 四月五日

財通 六五
神野大蔵次官ヨリ
幣原外務次官宛

賠償委員会及財政委員会ニ関
スル件……六五九

附屬書

四月一日在巴里森財務官発高橋大蔵大臣宛
電報財四十九号……六五九
財政委員会カ五国会議ニ提出
中ノ諸問題ニ付請訓ノ件

一〇 五一八 四月五日

講 二二六
内田外務大臣ヨリ
在仏国松井大使宛（電報）

財政委員会カ五国会議ニ提出
シタル報告書ニ対スル日本政
府ノ方針回訓ノ件……六六四

別電

四月五日内田外務大臣発松井大使宛電報講
第二二七号……六六五
右政府方針

五 四〇二 四月七日

在巴里珍田大使ヨリ
英國總理大臣宛

人種の差別撤廃案ヲ現段階ニ
於テ提出セバ否決必至ナルベ
キニ付國際聯盟委員会ノ開會
延期ヲ計ハレ度旨依頼ノ件……四九四

二〇 一〇五〇 四月七日

講 二二九
内田外務大臣ヨリ
在仏国松井大使宛（電報）

労働紛争カ國際労働局査問委
員ノ審議ニ付託セラレ当事国
員ノ一方カ該勸告ニ服セザル場
合ノ解決方法ニ付問合ノ件……一四二五

二〇 一〇五一 四月七日

講 二二二
内田外務大臣ヨリ
在仏国松井大使宛（電報）

國際労働委会ニ於ケル日本委
員ノ態度ニ関スル報道ニ付真……一四二五
相査報方ノ件

三 二〇〇 四月 八 日 講 五二三 在仏国松井大使ヨリ
附記 右中国全権ノ排日公表ニ対スル反駁……………二一〇
日本排斥ノコミニケヲ中国全権公表ノ件……………二〇七

三 二〇一 四月 八 日 講 五二九 在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)
北京国会ヨリ四大国首脳宛青島直接還附要求支持方要請ノ件……………二一二

四 三二七 四月 八 日 講 五二六 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)
中野正剛ノ突然帰朝ニ関スル件……………三八七

二〇 一〇五二 四月 八 日 講 五一八 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)
国際労働法制常設機関設置ニ関スル協約案ニ議定書等追加ノ我提議ニ英国委員同意ノ件……………一四二六

五 四〇三 四月 九 日 講 二三八 内田外務大臣ヨリ
在仏国松井大使宛(電報)
人種の差別撤廃ノ主張否決ノ場合ニハ日本ハ聯盟ヲ脱退スベシトノ国民新聞掲載大隈侯談通報ノ件……………四九五

九 五〇六 四月 九 日 講 五二二 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)
経済委員会英国代表ヨリ我委員ニ日本ニ於ケル英国ノ商標及原産地名ノ保護方ニ関スル覚書手交ノ件……………六四〇

別電 同日松井大使宛内田外務大臣宛講第五二三号
右覚書……………六四〇

一一 五二〇 四月 九 日 講 二三五 内田外務大臣ヨリ
在仏国松井大使宛(電報)
四国会議ニ関シ我全権ニ打合アリタルヤ問合ノ件……………六七四

二〇 一〇五三 四月 九 日 講 五二九 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)
国際労働法制委員会ニ於ケル我委員ノ態度ニ関スル報道ニ付真相回電ノ件……………一四二七

三 二〇二 四月 十 日 講 五三二 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)
四国首相会議ニ関シ仏国当局ニ問質竝日本ニ重要関係アル問題ニ付テハ日本全権ニ相談セラレ度旨申入レタル件……………二一二

三 二〇三 四月 十 日 講 一三二 在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛
巴里ニ於ケル中国委員内訌ニ関スル件……………二一四

八 四七七 四月 十 日 講 五三四 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)
賠償本委員会ニ於テ第一分科会報告ヲ承認ノ件……………五九六

八 四七八 四月 十 日 講 二四八 内田外務大臣ヨリ
在仏国松井大使宛(電報)
対聯合國貸付金ヲ賠償金トシテ敵国ニ要求スルニ関シ回訓ノ件……………五九七

九 五〇七 四月 十 日 講 五三〇 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)
経済委員会ニテ決定ノ前敵国内ニ於ケル同盟及聯合國人ノ取扱ニ関スル条約規定案報告ノ件……………六四三

別電 同日松井大使宛内田外務大臣宛講第五三一号
右条約規定案……………六四三

二〇 一〇五四 四月 十 日 講 二四五 内田外務大臣ヨリ
在仏国松井大使宛(電報)
講和条約ニ挿入スベキ国際労働特別委員会議決ノ諸原則ニ対スル我方態度等ニ付訓令ノ件……………一四二七

別電 同日内田外務大臣宛在仏国松井大使宛電報
第二四六号……………一四二八

附記 右ニ関スル関係各省協議会議事要録……………一四二九

五 四〇四 四月 十一日 三八 在シドニー清水総領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 人種の差別撤廃規定案ニ関スル牧野全權ノ談話ニ付濠洲代理首相ノ為シタル陳述報告ノ件 四九六

八 四七九 四月 十一日 五四五 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 賠償第一分科会報告ヲ総会ニ於テ可決ノ上講和会議最高幹部ニ提出ノ件 五九七

九 五〇八 四月 十一日 五四三 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 独逸ノ内国税ノ納付条件及独逸ノ沿岸貿易ニ関スル条約規定案ニ付回報ノ件 六四四

一一 五二一 四月 十一日 五三六 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 米英仏伊四国会議ニ関シ回答ノ件 六七四

一四 八一九 四月 十一日 五三五 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 前独逸皇帝ノ戦責問題ニ関シ米国大統領来談並戦争責任者所罰ニ関シ四国会書ニ我方同意ノ件 一〇七五

別電

四月十日在仏国松井大使宛内田外務大臣宛
電報講第五四一號 戦争責任者所罰ニ関スル覚書 一〇七六

二〇 一〇五五 四月 十一日 五四七 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 国際労働法制常設機関設置ニ関スル協約案ヲ総会議ニ於テ修正可決ノ件 一四四〇

附記

商業會議所連合会代表員ニ対スル国際労働問題ニ関スル外務大臣ヨリノ説明案 一四四〇

二 四四 四月 十二日 五五〇 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 四月十日ノ国際聯盟委員總會ニ於テ起草委員ヨリ回附ノ聯盟規約案ヲ審議ノ件 六五

三 二〇四 四月 十二日 五五一 在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 中国全權発表ノ排日コミニケニ関スル件 二一七

三 二〇五 四月 十二日 五五七 在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 中国委員ノ排日公表ハ中国政府関知セザル旨外交部弁明ノ件 二一七

三 二〇六 四月 十三日 五五五 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 青島及山東鉄道問題ノ交通委員會附議防止ニ関スル件 二一八

五 四〇五 四月 十三日 五五六 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 人種差別撤廃問題ニ関シ濠洲首相ノ反対ニヨル行詰ハ打開絶望的ナル旨報告ノ件 四九六

五 四〇六 四月 十三日 五七八 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 人種差別撤廃ノ原則ヲ聯盟規約前文ニ挿入スル我方提案ガ委員會ニ於テ不成立トナリタル経過報告ノ件 四九七

別電

四月十四日松井大使宛内田外務大臣宛講第五七九號
牧野委員陳述ノ我提案趣旨 五〇〇

九 五〇九 四月 十三日 二五〇 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 經濟委員會決定ノ独逸ノ輸出入禁止及制限並関稅ニ関スル条項案中我方ニ不利ナル箇所是正方ニ付訓令ノ件 六四五

三 二〇七 四月 十四日 一八九 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 中国全權ノ排日公表ニ関シ外交部ハ関知セザル由ナル旨小幡公使来電ニ付通報ノ件 二一八

三 二〇八 四月 十四日 一三八 在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛 巴里講和會議關係中国側宣言ニ関スル新聞切抜送付ノ件 二一九

附屬書一

四月十二日付北京デイリー、ニユース切抜
(一)(二) 二一九

二 同右日付北京リーダー切抜 二二九

二 四五 四月 十五日 講 五八九 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 國際聯盟委員会ノ聯盟規約案……………六六
審議ニ付追報ノ件

一五 八七七 四月 十五日 二五五 在浦潮松平政務部長ヨリ
内田外務大臣宛(電報) イルクーツク以東ノ鉄道守備
問題ニ関シ各国代表武官會議……………一四七
ニ於テ決定ノ件

三 二〇九 四月 十六日 機密 一六七 在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛 巴里ニ於テ公表セラレタル中
国側コミュニケニ関スル件……………二三一

三 二一〇 四月 十六日 公信 一七八 在上海有吉総領事ヨリ
内田外務大臣宛 我講和委員ノ發表セル中国問
題ニ関スル宣言書ニ対スル中
国政府ノコミュニケ及右ニ対
スル北支デイリー、ニュース
社説切抜送付ノ件……………二三一

附記 日本政府宛中国国民外交協會上申書……………二三三

一 五二二 四月 十六日 講 六〇〇 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 四月二十五日迄ニ独逸代表者
ヲヴェルサイユニ招致並講和
総會議開催ニ関シバルフォア
氏談話ノ件……………六七四

二〇 一〇五六 四月 十六日 講 六〇六 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 労働原則及制裁条項ニ関シ討
議ノ件……………一四四二

二 一〇七八 四月 十六日 講 六〇五 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 十月華府開催労働総会ノ準備
委員会六月末倫敦ニ開会ニ付……………一四八六
我方委員派遣方稟請ノ件

三 二一一 四月 十七日 一七九 在上海有吉総領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 巴里講和會議ニ於ケル中国問
題ノ帰趨等ニ関シ孫文談話ノ……………二三八

一〇 五一九 四月 十七日 講 六二二 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 最高會議ニ提出シタル財政委
員会總會報告全文報告ノ件……………六六七

二〇 一〇五七 四月 十七日 講 六〇八 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 労働原則ニ變更ヲ加ヘ得ル様
前文ヲ修正セル経緯ニ関スル……………一四四四
件

三 二二二 四月 十八日 講 六二〇 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 青島還附ニ関スル条件等ヲ「
クレマンソー」氏ニ説明ノ件……………二三九

附記 四月十九日奈良陸軍中将發陸軍省宛電報第……………二四一
一〇〇号

二〇 一〇五八 四月 十八日 講 二六一 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) キューバ等諸国ノ國際労働協
約案第三十七条ニ対スル同意……………一四四四
留保ノ理由等ニ関シ問合ノ件

三 二二三 四月 十九日 講 六三一 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 梁啓超ノ言動ハ親日的ナラザ
ル旨報告ノ件……………二四一

一 五二三 四月 十九日 講 六二四 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 平和条約調印後早急批准ノ必
要アル場合ニ対スル措置ニ付……………六七五
稟申ノ件

一五 八七八 四月 十九日 二五九 在浦潮松平政務部長ヨリ
内田外務大臣宛(電報) デニキンヨリノ軍需品輸送依
頼方其他ニ付鉄道委員会ニ於……………一四八
テ審議ノ件

三 二一四 四月 二十一日 講 二七〇 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 青島還附ニ関スル日本政府ノ
方針ハ變更ノ余地ナキ旨回訓……………二四二
ノ件

九 五一〇 四月 二十一日 講 六五五 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 經濟委員会ガ条約ノ廃棄及復
活並前債務等ニ関スル条項……………六四八
案文ヲ決定ノ件

九 五一 四月二十一日 講 在仏国松井大使ヨリ 独逸ノ輸出入禁止及制限並關
内田外務大臣宛(電報) 稅ニ關スル条項案ニ關スル訓令執行ニ付報告ノ件 ……六四八

三 二一五 四月二十二日 五五九 内田外務大臣ヨリ 山東問題ニ關シ日本ノ確固タル方針通報ノ件 ……二四二
在中國小幡公使宛(電報)

三 二一六 四月二十二日 講 在仏国松井大使ヨリ 國境問題等ノ伊國要求容レラ
内田外務大臣宛(電報) レザルハ講和會議脱退ノ外ナキ旨オルランド首相牧野委員ニ内話ノ件 ……二四三

三 二一七 四月二十二日 講 在仏国松井大使ヨリ 青島還附ニ關スル我主張容レ
内田外務大臣宛(電報) ラレザル場合ニ對スル訓令ノ趣旨ハ講和予備條約自体ニ關キ見合セノ義ト解シ措置スベキ旨回電ノ件 ……二四三

三 二一八 四月二十二日 講 在仏国松井大使ヨリ 牧野珍田両全權米國大統領ト
内田外務大臣宛(電報) ノ支持ヲ要請シタル件 山東問題ヲ討議ノ上我方主張 ……二四四

六 四二二 四月二十二日 講 在仏国松井大使ヨリ ヤップ島ハ万国電信線ノ集注
内田外務大臣宛(電報) 点ナルニ付國際聯盟ノ管理ニ委スルヲ得ル旨米國大統領談話ノ件 ……五二四

二 一〇七九 四月二十二日 閣議決定 常設國際労働機關設置協約ノ
實施準備ニ關スル件 ……一四八六

三 二一九 四月二十三日 五九五 在中國小幡公使ヨリ 國民外交協會ノ決議ヲ中國委
内田外務大臣宛(電報) 員ニ電訓方ヲ熊希齡等ヨリ大統領ニ要請ノ件 ……二四七

三 二二〇 四月二十三日 講 在仏国松井大使ヨリ 山東問題ニ關スル第一回首相
内田外務大臣宛(電報) 會議經過報告ノ件 ……二四八

別 電 一 同日松井大使發内田外務大臣宛電報講第六
九五号 四月二十二日首相會議ニ於テ山東問題ニ關
スル日本要求ノ理由ヲ闡明シタル牧野全權
ノ陳述書 ……二五〇

二 同右講第六九六号 四月二十二日牧野全權ヨリ首相會議ニ提出
ノ對独予備講和條約中ニ包含セラルベキ条
項案 ……二五七

附 記 四月二十二日山東問題第一回首相會議事
錄拔萃 ……二五九

三 二二一 四月二十三日 講 在仏国松井大使ヨリ 山東問題ノ最終決定延期ノ風
内田外務大臣宛(電報) 說ハ訛伝ナル旨報告ノ件 ……二六〇

五 四〇七 四月二十三日 四八 在シドニー清水總領事ヨリ 人種的平等ノ要求ヲ拒マレタ
内田外務大臣宛(電報) ルニ付東亞モンロー主義ヲ創
立スベシト日本新聞ノ主張
ニ關スルシドニー新聞ノ社説
報告ノ件 ……五〇二

二 一〇八〇 四月二十三日 講 在仏国松井大使ヨリ 労働總會準備会及其打合会ニ
内田外務大臣宛(電報) 岡囑託ヲ引續キ出席セシム…一四八八
ル様回訓ノ件

二 一〇五九 四月二十四日 講 在仏国松井大使ヨリ キューバ等諸國ノ國際労働協
内田外務大臣宛(電報) 約案第三十七條ニ對スル同意…一四四五
留保ノ理由等ニ關シ回報ノ件

五 四〇八 四月二十五日 講 内田外務大臣ヨリ 人種差別撤廃期成同盟会第三
在仏国松井大使宛(電報) 回大會ノ人種差別撤廃ヲ認メ
ザル國際聯盟ニ不加盟ノ決議
等通報ノ件 ……五〇四

二 四六 四月二十六日 二四八 在瑞典国日置公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 独逸政府発表ノ国際聯盟案報
告ノ件……………六八

一五 八七九 四月二十六日 在本邦米国大使館ヨリ
日本外務省宛 東支鉄道哈爾濱長春線「ゲ
ジ」改釘方我提議ニ対シ米
国政府反對意見通告ノ件……………一四八

一七 九四七 四月二十六日 陸軍省ヨリ
外務省宛 極東哥薩克ニ夏被服無償交付
ニ関スル閣議請求案送付越
ノ件……………一二八一

三 二二二 四月二十八日 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 膠州灣問題ニ関シ米國務卿
ラ・シンング氏ト意見交換
ノ件……………二六一

三 二二三 四月二十八日 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 山東問題ニ関シ牧野珍田両全
權英国外相ト懇談シテ先
方ノ疑念ヲ冰釈セシメタル
件……………二六三

五 四〇九 四月二十八日 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 四月二十八日第五回總會議
ニ於ケル牧野委員ノ人種の
差別問題ニ関スル演說報告
ノ件……………五〇四

別電 同日松井大使發内田外務大臣宛講第七六七
号 右演說……………五〇五

八 四八〇 四月二十八日 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 賠償委員會ノ模様ニ関スル
件……………六〇六

一七 九四八 四月二十八日 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) リヴォフ公上田ニ対シ日本
滯在中ノ感想ニ付談話並
日本ハコルチャツク政府
ニ物資ヲ供給シ居ルヤ問
合ノ件……………一二八一

二 四七 四月二十九日 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 四月二十八日講和予備會議
第五回總會議ニ於テ國際
聯盟規約案第九條ニ對スル
修正可決ノ件……………六九

別電 同日松井大使發内田外務大臣宛講第七七八
号 聯盟規約案第九條ニ對スル修正案……………七〇

三 二二四 四月二十九日 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 山東問題ニ関スル米英
伊ノ態度及我確固タル方
針ニ付仏國大使ニ談話
ノ件……………二六七

五 四一〇 四月二十九日 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 人種の差別撤廢規定問題
ヲ總會議ノ投票ニ附セザ
リシ理由報告ノ件……………五〇八

七 四四〇 四月二十九日 在巴里竹下海軍中將ヨリ
加藤海軍大臣及島村軍令
部長宛(電報) 潜水艇廢止及軍備制限問題
ニ関シ意見具申並請訓
ノ件……………五五六

二〇 一〇六〇 四月二十九日 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 労働原則九箇条ノ修正
案可決ノ件……………一四四六

別電 同日在仏国松井大使發内田外務大臣宛電報
第七七八号 右修正案……………一四四六

三 二二五 四月三十日 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 山東問題第三回首相會議
ニ於テ我要求通り最終決
定ヲ見タル件……………二六七

別電 同日松井大使發内田外務大臣宛電報講第七
八九号 山東問題ニ関シ講和条約中ニ挿入
ヲ最終決定セラレタル
条文……………二六八

二 同日電報講第七九〇号 同右電報講第七九〇号
日中間条約及取極ノ解
釈ニ関スル日本全權ノ
宣言公表文案……………二六九

五月

三 二二六 五月一日 講 八〇二 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報） 山東問題ニ関スル第二回首相
會議及其前後ノ経緯ニ付報告……………二六九
ノ件

別電一 同日松井大使発内田外務大
臣宛電報講第八〇四号……………二七三
バルフォア英国外相ノ提案

二 同右電報講第八〇五号……………二七三
ウイルソン米国大統領ノ提案

附記 四月二十九日山東問題第二回首相會議議事
録拔萃……………二七三

三 二二七 五月一日 講 八〇三 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報） 日本全権ノ宣言ニ関スル我方
提出ノ修正公表文案及米国大
統領ノ再修正案ニ付報告ノ件……………二七九

別電 同日松井大使発内田外務大臣宛電報講第八
〇六号……………二八〇
日本全権ノ宣言ニ関シ我方提出ノ修正公表
文案

五 四二一 五月一日 政公 四二 在伯国堀口公使ヨリ
内田外務大臣宛 巴里講和會議ニ於ケル人種平
等問題ニ関スル伯国委員ノ態
度ニ関スル件……………五〇九

三 二二八 五月二日 講 八二三 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報） 山東問題ニ関スル第三回首相
會議ノ経過報告ノ件……………二八一

附記 四月三十日山東問題第三回首相會議議事録
拔萃……………二八三

六 四二三 五月二日 七十二番電 在巴里竹下海軍中将ヨリ
加藤海軍大臣及島村軍令部
長宛（電報） 外相會議及首相外相會議ニ於
テ独逸海底電線問題ヲ審議ノ……………五二四
件

六 四二四 五月二日 七十四番電 在巴里竹下海軍中将ヨリ
加藤海軍大臣及島村軍令部
長宛（電報） 米国大統領提出ノ独逸海底電
線処分案ニ関シ英国ト行動ヲ
共ニスルヲ有利ト認ム旨我
全権ニ進言並請訓ノ件……………五二五

一五 八八〇 五月二日 三四九 内田外務大臣ヨリ
在米国石井大使宛（電報） 東支鐵道哈爾賓長春線「ゲ
ー」改訂方我提議ニ関スル米
国政府覚書ニ対シ回答シタル
ニ付通報ノ件……………一一五〇

一六 九三一 五月二日 西比利亞經濟援助委員會
援助委員會會議事録 臨時西比利亞經濟援助委員會
第九回會議議事録……………一二四七

附屬書一 西比利亞ノ一般政情其ノ他ニ関スル松平政
務部長ノ講話要項……………一二五二
在浦潮聯合与国外代表者間ニ意見ノ一致
ヲ見タル西比利亞幣制整理案……………一二五四

二 四八 五月三日 英參 六五 在巴里田中陸軍少将ヨリ
福田參謀次長宛（電報） 追テ開カルベキ國際聯盟第一
回總會ニ於ケル軍備制限問題
ニ関シ我方準備ノ必要ニ付稟
申ノ件……………七一

三 二二九 五月三日 講 八三五 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報） 起草委員會ニ於テ山東問題ニ
関スル条約案文確定ノ件……………二八五

別電 五月三日在仏国松井大使発内田外務大臣宛
電報講第八三六号……………二八五
右ノ確定案文

三 二三〇 五月三日 六五一 在中國小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛（電報） 青島直接還附ノ主張及國際管
理說ニ関スル新聞論調及國民………二八六
外交協會ノ主張報告ノ件

三 二三一 五月三日 六六一 在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 山東問題ハ講和會議ニ提出スベキニ非ズトノ首相會議決定……二八七ヲ晨報報道ノ件

七 四四一 五月三日 七十三 在巴里竹下海軍中将ヨリ
加藤海軍大臣及島村軍令部長宛(電報) 潜水艦処分問題等ニ関シ列国海軍會議ニ於テ討議ノ件 ……五五六

八 四八一 五月三日 八三四 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 新賠償委員會組織決定並締盟國敵國間俘虜收容費要償相互拋棄一般決定ニ関スル件 ……六〇九

八 四八二 五月三日 八三五 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 賠償委員會第三分科會第四回會議ニ於テ「ヒューズ」ノ提議ニ依ル決議要領報告ノ件 ……六一〇

八 四八三 五月三日 三一九 内田外務大臣ヨリ
在仏国松井大使宛(電報) 敵國ニ対スル我賠償要求ノ損害費目及金額決定シタルニ付其措置方訓令ノ件 ……六一一

別電 五月三日内田外務大臣宛
電報第三二〇号乃至第三二六号 敵國ニ対スル我賠償要求ノ損害費目及金額ノ一部 ……六一二

一一 五二四 五月三日 七九二 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 平和条約調印後早急条約文ヲ本邦ヘ送付ノ為米大陸太平洋岸ヘ日本軍艦派遣方稟請ノ件 ……六七五

一七 九四九 五月三日 一九四 内田外務大臣ヨリ
田中陸軍大臣宛 本邦式小銃用藥筒五十万発入手方「オムスク」政府ヨリ申出ノ件 ……一二八二

附屬書 四月二十八日附在本邦露國大使ヨリ外務大臣宛書翰第三二二号写
彈藥入手希望ニ関スル件 ……一二八二

三 二二二 五月四日 六六六 在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 巴里會議ニ於ケル山東問題取扱振ニ対スル國民外交協會等ノ反對運動ニ関スル件 ……二八七

三 二二三 五月四日 八四二 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 山東問題第三回首相會議決定ノ公表文ヲ牧野全權及通信社代表者間會見談トシテ發表ノ件 ……二八八

別電 同日松井大使發内田外務大臣宛電報講第八四三号
右發表文 ……二八八

附記 五月五日在米國石井大使發内田外務大臣宛電報第三四一号
五月四日新聞ニ發表ノ中国全權ノ声明 ……二八九

三 二三四 五月四日 八五三 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 山東問題ニ関スル首相會議ノ協議ガ事ナキヲ得タルハ我断然タル態度ト我對中国政策ヲ米國側ニ充分説明シタル結果ト認メラルル件 ……二九二

六 四二五 五月四日 七十五 在巴里竹下海軍中将ヨリ
加藤海軍大臣及島村軍令部長宛(電報) 五月二日ノ首相會議ニ於テ米國大統領ノ首相會議ニ於テ米國大統領ノ首相會議ニ於テ案ヲ修正ノ件 ……五二六

六 四二六 五月四日 八五一 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 五月一日首相及外相會議ニ於テ独逸海底電線処分問題ヲ審議次テ開催ノ首相會議ニ於テ獨逸側ノ講和會議ニ対スル態度ニ関スル謀報披露等ノ件 ……五二七

六 四二七 五月四日 八五二 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 四月三十日ノ外相會議ニ於テ独逸海底電線問題審議並ランシングヨリヤップ島ノ國際化ヲ提議ノ件 ……五二九

八 四八四 五月 四 日 講 三二七 内田外務大臣ヨリ 在仏国松井大使宛 (電報) 「其他財産上ノ損害」ニ関スル件……………六二六

八 四八五 五月 四 日 講 三二八 内田外務大臣ヨリ 在仏国松井大使宛 (電報) 「人的損害」ニ関スル件……………六二七

八 四八六 五月 四 日 講 三二九 内田外務大臣ヨリ 在仏国松井大使宛 (電報) 「敵船ノ積荷(日本人所有)」ニ関スル件……………六二九

八 四八七 五月 四 日 講 三三〇 内田外務大臣ヨリ 在仏国松井大使宛 (電報) 敵国ニ対スル賠償要求中「国家ノ損害」ニ関スル件……………六一九

八 四八八 五月 四 日 講 三三一 内田外務大臣ヨリ 在仏国松井大使宛 (電報) 「俘虜関係費」ニ関スル件……………六二〇

八 四八九 五月 四 日 講 三三二 内田外務大臣ヨリ 在仏国松井大使宛 (電報) 「戦費」ニ関スル件……………六二一

八 四九〇 五月 四 日 講 三三三 内田外務大臣ヨリ 在仏国松井大使宛 (電報) 俘虜関係費ノ内未定ノ分並陸軍臨時軍事費等ニ関シ通報ノ件……………六二三

三 二三五 五月 五 日 六七四 在中国小幡公使ヨリ 内田外務大臣宛 (電報) 巴里會議ニ於ケル山東問題取扱方ニ関シ欧米同学会決議ノ件……………二九三

三 二三六 五月 五 日 講 八五六 在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛 (電報) 講和条約中ノ山東条項ニ関シ米国上院反対ノ場合ニ対シ予防策考究方意見具申ノ件……………二九三

三 二三七 五月 五 日 講 八五七 在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛 (電報) 山東問題ノ解決ニ関スル各紙論評報告ノ件……………二九四

三 二三八 五月 五 日 六七七 在中国小幡公使ヨリ 内田外務大臣宛 (電報) 山東問題ノ解決ニ関スル各紙論評報告並中國民心ノ動揺防止ノ必要ニ付稟申ノ件……………二九五

附記 山東問題ニ関スル日本全權ノ五月五日声明……………二九六

四 三二八 五月 五 日 五六 在シドニー清水総領事ヨリ 内田外務大臣宛 (電報) 日本ノマーシャル群島取得ヲ憂慮スル旨ニニュージブラント国防相演説ノ件……………三八八

六 四二八 五月 五 日 講 八五九 在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛 (電報) 首相及外相會議ニ於テ独逸海底電線処分問題ヲ審議決定ノ件……………五三一

別電一 五月六日在仏国松井大使宛内田外務大臣宛 講第八六〇号……………五三二

独逸海底電線ニ関スル講和条約案……………五三二

二 同右電報講第八六一号……………五三三
独逸海底電線ニ関スル主タル聯合國間プロトコル案……………五三三

一八 九七四 五月 五 日 通送 三二二 内田外務大臣ヨリ 在仏国松井大使宛 国債利子ノ仕払等ニ関シ短期時効不援用ニ関シ回答ノ件……………一三〇七

附屬書 四月二十三日神野大藏次官ヨリ幣原外務次官宛藏第三九五〇号……………一三〇八

附記 大正七年十一月二十二日松井大使發外務大臣宛公第二九六号 国債利子ノ仕払等ニ関シ短期時効不援用ニ関シ問合ノ件……………一三〇八

三 二三九 五月 六 日 六八四 在中国小幡公使ヨリ 内田外務大臣宛 (電報) 山東問題ニ関スル中國国民外交協會ノ決議文要領報告ノ件……………二九七

三 二四〇 五月 六日 三四三 在米國石井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 山東問題ニ関スル首相會議決
定ニ付米國各紙論評ノ件 ……二九八

三 二四一 五月 六日 八七〇 在仏國松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 山東問題ニ関スル首相會議決
定ニ付中國側再ビ聲明ヲ公表 ……二九八
ノ件

三 二四二 五月 六日 八九三 在仏國松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 山東問題ニ関スル首相會議ノ
決定ニ對シ中國全權ニ於テ修
正方提議並右容レザル場
合ニハ保留スベキ旨宣言ノ件 ……二九九

一 二五五 五月 六日 八六九 在仏國松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 對獨平和條約案中獨逸國ノ義
和團事件賠償金拋棄其他中
獨關係ニ関スル條項報告ノ件 ……六七六

一 五二六 五月 六日 八九二 在仏國松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 對獨講和條件ヲ聯合國代表者
全員ニ通知スル為ノ秘密總會
議ノ模様報告ノ件 ……六七七

一五 八八一 五月 六日 閣議決定 シベリア鐵道財政援助案ニ関
シ閣議請求ノ件 ……二五一

三 二四三 五月 七日 六八九 在中國小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 青島問題ニ関シ國務院ヨリ中
國講和委員宛電報ノ件 ……三〇〇

三 二四四 五月 七日 二二八 在上海有吉總領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 青島問題ニ對スル中國人ノ誤
解一掃方ニ関シ張耀曾ノ林出
ニ對スル談話報告ノ件 ……三〇〇

三 二四五 五月 七日 二二九 在上海有吉總領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 青島問題ニ関シ要求承認サレ
ザレバ調印スベカラザル旨唐
紹儀等ヨリ講和委員ニ電報ノ
件 ……三〇一

一 五二七 五月 七日 九二〇 在仏國松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 聯合國全權ヨリ講和條約案ヲ
獨國委員ニ交付ノ件 ……六七八

別電 五月八日松井大使發内田外務大臣宛講第九
二一號 講和條約案ノ交付ヲ受ケタル獨國委員ノ宣
言 ……六七九

三 二四六 五月 八日 九一七 在仏國松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 中國全權ヨリ「再修正問題」
ト題スル印刷物ヲ講和會議ニ
提出ノ件 ……三〇二

別電 同日松井大使發内田外務大臣宛電報講第九
一八號 右「再修正問題」ノ結論 ……三〇二

四 三二九 五月 八日 九四二 在仏國松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 英米仏三国首相會議ニ於テ獨
領植民地ノ委任統治國ヲ決定
ノ件 ……三八八

四 三三〇 五月 八日 九四三 在仏國松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 英米仏三国首相會議ニ依ル委
任統治國決定ニ際シヤップ島
ハ問題トナラザリシ旨ハンケ
ー氏佐分利ニ談話ノ件 ……三八九

五 四二二 五月 八日 公一七八 在中國小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛 人種的差別撤廢ニ関スル石井
大使ノ演説ガ米國上院ノ討議
ニ及ボセル惡影響ヲ報道セル
新聞記事報告ノ件 ……五一一

附屬書 五月八日發行「ノース、チャイナ、スタ
ー」記事切抜 ……五二二

七 四四二 五月 八日 七十七 在巴里竹下海軍中將ヨリ
加藤海軍大臣及島村軍令部
長宛(電報) 獨國潜水艇ノ破壊及分配ニ関
スル件 ……五五八

一七 九五〇 五月 八日 講 三五二 内田外務大臣ヨリ
在仏国松井大使宛(電報)

日本ノコルチャックニ対スル
物資供給状況回報ノ件 ……一二八三

三 二四七 五月 九日 講 九五五 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

中国全權提出ノ「再修正問
題」中外国軍隊及警察ノ項ニ……三〇四
付注意スベキ点摘報ノ件

三 二四八 五月 九日 講 一四 在巴里日本講和全權委員事
務所ヨリ
外務省宛

山東問題ニ関スル首相會議決
定ニ対シ中国首席全權陸徵祥
ヨリ首相會議議長宛抗議ノ五
月四日附書翰寫講和會議書記
局ヨリ送附越ノ件 ……三〇六

附屬書

五月五日附講和會議書記局ヨリ日本代表部
宛覺書 ……三〇六
五月四日附陸徵祥書翰寫送付ノ件

四 三三一 五月 九日 番電 七十八
在巴里竹下海軍中將ヨリ
加藤海軍大臣、島村軍令部
長宛(電報)

旧独逸植民地ノ処分決定セル
旨講和會議公報發表及ヤップ
島ニ関スル件 ……三八九

三 二四九 五月 十日 公 一八三
在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛

北京政界ノ動搖ノ情況ニ関ス
ル件 ……三〇九

一一 五二八 五月 十日 講 三六七
内田外務大臣ヨリ
在仏国松井大使宛(電報)

対独逸和平和約批准ノ為必要ナ
ル和約文寫及和約文説明資料
送付方等ニ付訓令ノ件 ……六八一

三 二五〇 五月 十一日 七〇七
在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

錢内閣ノ辞表ヲ大總統却下竝
險惡ナル北京政情ニ付報告ノ
件 ……三一

一一 五二九 五月 十一日 講 九六六
在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

聯合國側提出ノ和約成案ニ対
スル独逸全權ノ抗議及講和會
議議長ノ回答報告ノ件 ……六八一

一一 五三〇 五月 十一日 講 九六八
在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

独逸全權ヨリ國際聯盟ニ関シ
第二回書信ヲ聯合國側ニ送付
竝聯合國側ヨリ回答ノ件 ……六八二

一一 一〇八一 五月 十一日 二〇五
在英国永井臨時代理大使ヨ
リ
内田外務大臣宛(電報)

國際労働總會ノ第一回準備委
員會ノ議決事項及岡委員等ノ
總會議題ニ関スル意見報告ノ
件 ……一四八九

一一 一〇八二 五月 十一日 二〇六
在英国永井臨時代理大使ヨ
リ
内田外務大臣宛(電報)

労働總會準備委員會ノ質問書
ハ發電取止ノ件 ……一四九二

二〇 一〇六一 五月 十二日 講 三七四
内田外務大臣ヨリ
在仏国松井大使宛(電報)

労働原則案ニ対スル英国政府
ノ修正案全文電報方ノ件 ……一四四八

三 二五一 五月 十三日 七一三
在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

青島還附問題等ニ関シ中国政
府ノ非公式聲明ヲ新聞ニ發表
ノ件 ……三一二

一三 六三七 五月 十三日 歐發 三六〇
山梨陸軍次官ヨリ
幣原外務次官宛

日中兩國間ノ協定ニ基ク山東
鐵道沿線民政撤廃及軍隊配置
變更ニ関スル件 ……八一

二〇 一〇六二 五月 十三日 九八八
在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

國際労働法制案ト確定條約案
トノ主要相異点報告ノ件 ……一四四八

三 二五二 五月 十四日 七二五
在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

錢内閣ノ辞意表明ト政局ノ見
通シニ関シ曹汝霖談話ノ件 ……三一二

三 二五三 五月 十四日 七二一
在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

膠州灣還附ニ関シ中国官民ノ
疑惑ヲ解ク為日本政府ノ聲明
發表方施履本船津ニ申出デタ
ルニ付右詮議方稟請ノ件 ……三三四

三 二五四 五月 十四日 七二四 在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

山東問題ハ今後日本ト直接商
議スベシトノ段祺瑞ノ意見ニ
大總統賛成セル旨徐樹錚ノ使
者東少將ニ内話ノ件……………三一五

三 二五五 五月 十四日 七二六 在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

總統府特別會議ニ於テ講和条
約調印問題ヲ議シタル件……………三一五

一六 九三二 五月 十五日 西比利亞經濟援助委員會
議事録

臨時西比利亞經濟援助委員會
第十回會議議事録……………一二五六

二〇 一〇六三 五月 十五日 講 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

國際労働法制會議開催方独
國側申出ニ對スル聯合國側ノ回
答要領報告ノ件……………一四五〇

三 二五六 五月 十六日 六七五 内田外務大臣ヨリ
在中国小幡公使宛(電報)

膠州灣租借地還附ニ關スル我
政府ノ方針不變ナル旨ノ声明
ヲ大臣談トシテ發表ノ予定ナ
ルニ付右取扱振指示ノ件……………三一六

別 電 一

同日内田外務大臣發小幡公使宛電報第六七
六号……………三一六
右英文声明

二 同右電報第六七七号……………三一八
右和文声明

三 二五七 五月 十六日 七二九 在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

平和條約調印問題及内閣辭職
問題等ニ關シ財政次長張弧船
津ニ内話ノ件……………三二〇

三 二五八 五月 十六日 講 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

米國議會ノ講和條約ニ對スル
態度ニ付石井大使ノ所見ヲ問
合セタル件……………三二〇

三 二五九 五月 十七日 三七四 内田外務大臣ヨリ
在米國石井大使宛(電報)

山東還附ニ關スル我声明ヲ外
務大臣談トシテ發表シタルニ
付通報ノ件……………三二一

三 二六〇 五月 十七日 三七五 内田外務大臣ヨリ
在米國石井大使宛(電報)

山東問題ニ付米國上院ノ採ル
コトアルベキ態度ニ關スル觀
測提示方ノ件……………三二一

三 二六一 五月 十七日 七三五 在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

講和條約調印ニ關シ山東問題
留保及國會ノ反對意見等徐樹
錚ノ東少將ヘノ情報並施履本
ノ船津ヘノ内話ニ付報告ノ件……………三二一

二〇 一〇六四 五月 十七日 講 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)……………一四五一
二〇 一〇六五 五月 十八日 講 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)……………一四五一

三 二六二 五月 十九日 三九一 内田外務大臣ヨリ
在仏国松井大使宛(電報)……………三二二
三 二六三 五月 十九日 七四五 在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)……………三二三

九 五二二 五月 十九日 講 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)……………六五〇
三 二六三 五月 十九日 七三八 在中國小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)……………三二三

一三 六三八 五月 十九日 政機密 幣原外務次官ヨリ
送八四 山梨陸軍次官宛……………八二二

三 二六四 五月二十日 七四九 在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 英字紙社説ニ付報告ノ件……………三二三

三 二六五 五月二十日 七五一 在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 陸宗輿来訪シテ中国全権ノ言
動ヲ大總統遺徳トシ居ル旨並
山東問題ニ付日中兩國間直接
協議方申出デタル件……………三二四

一一 五三一 五月二十日 講 一〇四二 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) ザール、オイペン、マルメデ
イ、モレスネ、シュレスウイ
ッヒノ独領移転ニ関スル独逸
委員ノ申立及聯合國側ノ回答
案報告ノ件……………六八三

一一 五九五 五月二十日 三七四 在米国石井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 米国上院ノ国際聯盟案ニ対ス
ル態度ニ関シ上院外交委員ロ
ッジ氏公表書発表ノ件……………七四八

三 二六六 五月二十一日 六九九 内田外務大臣ヨリ
在中国小幡公使宛(電報) 膠州灣還付ニ関スル我声明ヲ
在中国各領事ニ転電公表セシ
メラレ度件……………三二五

三 二六七 五月二十一日 七五三 在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 講和条約調印ニ関シ中国政府
ハ国会ニ対シ同意要請ノ件……………三二五

一一 五九六 五月二十一日 三七九 在米国石井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 米国上院外交委員会民主党主
席ヒッチコック氏平和条約ハ
無事批准セララルモノト確信
スト公表ノ件……………七四九

一四 八二〇 五月二十一日 講 一〇五二 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 戦責問題ニ関スル講和會議
長宛独逸全権書信ニ対シ連合
國側ヨリ回答書ヲ送付ノ件……………一〇七六

別 電 同日松井大使宛内田外務大臣宛電報講第一〇
五三号……………一〇七七
右独逸全権書信及右ニ対スル連合國側回答書……………一〇七七

三 二六八 五月二十三日 三七七 在米国石井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 本使帰朝ノ出發延期問題ニ関
シ稟申ノ件……………三二六

三 二六九 五月二十三日 七六五 在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 膠州灣還付ニ関スル外務大臣
声明ニ対シ中国新聞ノ批評振
報告ノ件……………三二七

一一 五三二 五月二十四日 講 一〇七三 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 講和条約案經濟条項ニ関シ此
案ニ調印スルハ幾百万独逸人
ニ死ノ宣告ヲ為スモノナリト
ノ独逸全権提出ノ抗弁書ニ付
報告ノ件……………六八四

二〇 一〇六六 五月二十四日 一〇七五 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 労働ニ関スル新聯盟ヘノ独逸
加入ニ付労働委員会ノ提議ヲ
大國會議採用ノ件……………一四五四

二 四九 五月二十五日 講 一〇八四 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 独逸側提出ノ国際聯盟案ニ関
シクレマンソー議長ヨリ独逸
宛回答ノ件……………七一

一一 五三三 五月二十五日 講 一〇八五 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 講和条約案經濟条項ニ関スル
独逸抗弁書ニ対スル五月二十
二日附聯合國側弁駁書報告ノ
件……………六八六

三 二七〇 五月二十六日 七七九 在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 中国衆議院ハ講和条約調印ニ
同意ノ件……………三二七

三 二七一 五月二十六日 講 一一〇四 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 山東問題ニ関スル講和条約ノ
解決ハ不正ナリトシ此事態
転回方王寵惠ヨリ米國議會ニ
電請セル旨新聞報道ノ件……………三二七

八 四九一 五月二十七日 講 四三〇 内田外務大臣ヨリ
在仏国松井大使宛(電報) 損害補償委員会ノ決定等ニ関
シ問合ノ件……………六二三

二〇 一〇六七 五月二十七日 講 在仏国松井大使ヨリ 側申出ニ関スル聯合側回答ニ……一四五四
内田外務大臣宛(電報)

一一 五三四 五月二十八日 講 在仏国松井大使ヨリ 對奥平和条約案ヲ五月三十日
内田外務大臣宛(電報) 壘国全權ニ提出スベキヲ同全
權ニ通告竝二十九日聯合国秘
密總會ニ於テ該条約案決定
ノ旨報告ノ件……………六八八

一四 八二一 五月二十八日 講 内田外務大臣ヨリ 前独逸皇帝ヲ特別裁判所ノ審
在仏国松井大使宛(電報) 判ニ附スル問題等ニ関シ訓令……一〇七八
ノ件

一七 九五一 五月二十八日 軍事發 奥野軍務局長ヨリ オムスク政府ニ軍需品供給ノ
手続ニ関スル閣議決定通牒ノ……一二八四
増原政務局長宛

附屬書 右閣議決定……………一二八四

二〇 一〇六八 五月二十八日 一一一 在倫敦矢田総領事ヨリ 日本ニ於ケル労働条件ノ日英
内田外務大臣宛(電報) 通商条約ニ及ボス影響等ニ関
シ英國商務大臣議會ニ於テ答
弁ノ件……………一四五六

二〇 一〇六九 五月二十八日 一一一七 在仏国松井大使ヨリ 國際労働大会準備委員会ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 各国政府ニ對シ發シタル質問……一四五六
事項ニ関スル件

三 二七二 五月二十九日 七八九 在中国小幡公使ヨリ 月本ガ山東ニ於テ執ラントス
内田外務大臣宛(電報) ル措置ニ付米国公使ニ説明ノ……三二八
件

三 二七三 五月二十九日 七二八 内田外務大臣ヨリ 陸宗輿ノ山東問題ニ関スル日
在中国小幡公使宛(電報) 中直接協議方申出ガ大總統ノ
真意ト認メラルル場合ニ對ス
ル応酬振ニ付訓令ノ件……………三二八

一四 八二二 五月三十日 講 在仏国松井大使ヨリ 戰爭責任問題ニ関シブロック
内田外務大臣宛(電報) ドルフ、ランツァウ独逸全權……一〇七九
ノ書簡要旨報告ノ件

三 二七四 五月三十一日 講 在仏国松井大使ヨリ 講和条約案文中ノ中国ニ関ス
内田外務大臣宛(電報) ル条項ニ付中国全權ヨリ講和
會議議長ニ對シ意見開陳ノ件……………三二九

八 四九二 五月三十一日 講 在仏国松井大使ヨリ 損害補償委員会ノ決定等ニ関
内田外務大臣宛(電報) シ回電ノ件……………六二四

一一 五三五 五月三十一日 講 在仏国松井大使ヨリ 聯合国側ヨリ提出ノ講和条約
内田外務大臣宛(電報) 案ニ對シ独逸全權ヨリ對案提
出越ノ件……………六八九

一一 五三六 五月三十一日 講 在仏国松井大使ヨリ 聯合国提出ノ講和条約案ニ對
内田外務大臣宛(電報) シ独逸提出ノ對案中山東省ニ……六八九
關スル部分報告ノ件

六 月

三 二七五 六月二日 講 在仏国松井大使ヨリ 中国ノ對独条約調印ハ山東条
内田外務大臣宛(電報) 項留保ノ下ニ行フベキ旨ノ中
国全權ヨリ講和會議議長宛書
翰要領報告ノ件……………三三一

三 二七六 六月二日 八〇一 在中国小幡公使ヨリ 中国ハ山東問題留保下ニ講和
内田外務大臣宛(電報) 条約調印ノコトナレル旨ノ……三三二
新聞報ニ関スル件

二 五〇 六月三日 講 在仏国松井大使ヨリ 報告ノ件 国際聯盟ノ組織ニ関スル情報……………七三

別電 同日松井大使発内田外務大臣宛講第一一八 六号 右情報……………七三

三 二七七 六月三日 八〇九 在中国小幡公使ヨリ 陸宗輿ノ山東問題ニ関スル日 中直接協議方申出ニ付船津ヲ シテ同人ニ対シ大總統ノ真意 ヲ確カメシメタル件……………三三二

一 五三七 六月三日 一七七八 在仏国松井大使ヨリ 六月二日奥国全権委員ニ対奥 講和条件交付ノ件……………六八九

三 二七八 六月四日 八二三 在中国小幡公使ヨリ 山東問題ニ関スル日中兩國直 接協議方申出ニ付船津ヲシテ 大總統ノ真意ヲ訊ネシメタル ニ対シ陸宗輿来訪内話ノ件……………三三四

一 五三八 六月四日 一一〇 在和蘭国松原臨時代理公使 ヲリ 獨逸官報ニ掲載セル独国対案 要領中膠州灣及山東ニ関スル 部分報告ノ件……………六九〇

三 二七九 六月五日 八一 在中国小幡公使ヨリ 膠州灣租借地還附ニ関シ商議 方申入ノ我覚書案ヲ船津ヨリ 陸宗輿ニ内示並中国ノ留保撤 回声明方要請ノ件……………三三五

三 二八〇 六月六日 七六八 内田外務大臣ヨリ 中国ノ對獨逸條約調印及山東省 關係條項留保ノ問題ニ関シ同 国政府ノ真意確メ方訓令ノ件……………三三五

一 五三九 六月六日 一二三七 在仏国松井大使ヨリ 土耳其及勃蘭牙利トノ講和条 約ニモ日本ガ調印シ可然旨稟 申及請訓ノ件……………六九〇

一三 六三九 六月六日 四七二 内田外務大臣ヨリ 膠州灣租借地ニ於ケル獨逸官 公有財産及補償問題ニ関シ問 合及指示ノ件……………八一三

三 二八一 六月七日 八二九 在中国小幡公使ヨリ 山東問題ニ関シ商議申入ノ我 覚書案ニ対シ陸宗輿中國側ノ 意見開陳並中国全権ノ留保附 調印通告ハ中国政府ノ言明ト 矛盾スル旨陸宗輿ニ指摘ノ件……………三三六

一 五四〇 六月七日 一二四〇 在仏国松井大使ヨリ 對獨逸和平條約案ニ対スル独 全権ノ意見開陳ノ書翰報告ノ 件……………六九一

一七 九五二 六月九日 陸送西発 五七九 山梨陸軍次官ヨリ オムスク政府ニ小銃彈供給ノ ……一二八四

一七 九五三 六月九日 在本邦露国大使館宛 オムスク政府ニ小銃彈五十万 発供給方取計ヒタル旨回答ノ ……一二八五

二〇 一〇七〇 六月九日 機密合送 二五一 幣原外務次官ヨリ 國際労働法制協約案ニ関シ獨 逸側再抗弁ニ対スル聯合國側 ……一四五七

附屬書 六月五日在仏国松井大使発内田外務大臣宛 ……一四五七 電報講第一一七二号内容

三 二八二 六月十日 講 在仏国松井大使ヨリ 對獨逸條約案ニ対スル中国全権 ノ抗議及留保附調印ノ申出ニ ……三三六

三 二八三 六月十日 講 在仏国松井大使ヨリ 膠州灣租借地ニ於ケル獨逸官 公有財産補償問題ニ関シ回電 ……三三七

三 二八四 六月 十日 八四五 在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 大總統ハ無留保調印ノ決心ナ
ル旨竝其止ムヲ得ザル所以ヲ
近ク全国ニ通電ノ旨陸宗輿来
談ノ件……………三三八

一 五四一 六月 十日 講 一二八三 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 独逸海外領土ニ関スル独逸対
案ニ対スル回答案ヲ五国委員
会ニテ作成シ膠州灣ニ関スル
回答案モ其ノ内ニ包含セラレ
タル旨報告ノ件……………六九五

別電

同日松井大使發内田外務大臣宛講第一二八
四号 五国委員会ニテ作成ノ対独回答案……………六九六

三 二八五 六月 十一日 公信講 二五 在巴里日本講和全権委員事
務所ヨリ 對独講和条約案ニ対スル中国
側抗議文写送付ノ件……………三三九

附屬書一

五月十五日附中国全権委員ヨリ講和會議議
長宛書翰写……………三三九

二

五月二十六日附同右書翰写……………三四一

三 二八六 六月 十一日 八五一 在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 國務總理ヨリ講和条約無条件
調印方中国全権ニ電訓ヲ決行
ノ旨張志潭青木中将ニ内報ノ
件……………三四三

三 二八七 六月 十一日 四一九 在米国石井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 講和条約中ノ山東条項ニ米国
ノ院ヲ反對ハ予想サレザル旨
ノックス議員内話ノ件……………三四四

一五 八八二 六月 十一日 五五〇 在ハルビン佐藤總領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報) シベリア鐵道管理ヲ歐露迄延
長方技術部ヨリ管理委員會ニ
提議並沿線警備情況ニ関シ若
杉報告ノ件……………一一五二

一一 五四二 六月 十一日 講 一二九九 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 講和条約案ニ対スル独逸ノ弁
明書及對案ニ対スル回答案作
成ノ方針ニ関スル首相會議ノ
決議報告ノ件……………七〇〇

一一 五四三 六月 十二日 講 一三〇五 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 聯合國ノ戦争責任委員會ノ報
告書ヲ弁駁セル一独逸委員會
ノ意見書ノ処置ニ関スル件……………七〇一

二〇 一〇七一 六月 十二日 一三〇一 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 國際労働法制案ニ関シ説明方
英国委員側ニ督促ノ件……………一四六〇

三 二八八 六月 十三日 八六一 在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 中国政府ノ同国全権ニ対スル
講和条約調印方電訓ニ関シ施
履本西田ニ内話ノ件……………三四五

一一 五四四 六月 十三日 講 四九四 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 独逸ガ講和条約調印ヲ拒絶ス
ル場合ニ対スル主要聯合國ノ
意向及列国相互間ノ内情ニ付
報告方訓令ノ件……………七〇一

一一 五四五 六月 十三日 講 一三二三 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 首相會議ニ於テ独逸對案ニ対
スル回答審議及独逸ガ講和条
約調印拒絶ノ場合ノ措置協議
ノ件……………七〇一

一五 八八三 六月 十三日 三二四 在浦潮松平政務部長ヨリ
内田外務大臣宛(電報) セメノフ軍ノ鐵道運行妨害ニ
依リ日米兩軍關係モ悪化ノ件……………一一五三

一七 九五四 六月 十三日 政機密送 一〇二 内田外務大臣ヨリ
田中陸軍大臣宛 「オムスク」政府ニ於テ有阪
式本邦小銃用藥莢千万發入手
方希望ノ件……………一二八五

附屬書

六月十一日附在本邦露国大使ヨリ内田外務
大臣宛書翰第四九〇号写……………一二八五
右小銃用藥莢千万發入手希望ノ件……………一二八五

二 五四六 六月 十四日 講 在仏国松井大使ヨリ 聯合国提出ノ講和条約案ニ対スル独逸ノ態度ニ関スル件……………七〇二

二 五九七 六月 十四日 公 在米国出淵臨時代理大使ヨリ 米国上院外交委員会採択ノ國際聯盟規約ヲ平和条約ヨリ分離セントスルノックス決議案送附ノ件……………七五〇

附屬書 右ノックス決議案……………七五〇

一四 八二三 六月 十四日 講 在仏国松井大使ヨリ 前独逸皇帝ヲ特別裁判所ノ審判ニ付スル問題ニ関スル訓令……………一〇八二

別電 六月十四日在仏国松井大使宛内田外務大臣宛電報講第一三二五号ニ付意見具申並請訓ノ件……………一〇八四

戦責委員会ニ関スル覚書

一五 八八四 六月 十四日 三二五 在浦潮松平政務部長ヨリ 在仏国松井大使宛(電報) セメノフ軍鉄道運行妨害ニ関シ露米両軍衝突回避ノ為日本……………一一五四

別電 同日在浦潮松平政務部長宛内田外務大臣宛……………一一五五

電報第三二六号

二〇 一〇七二 六月 十四日 講一三二二 在仏国松井大使ヨリ 國際労働大会ニ出席スル本邦代表者ノ選任ニ関シ意見具申……………一四六〇

講一三二二

二一 一〇八三 六月 十四日 講 在仏国松井大使ヨリ 國際労働總會準備委員会第二回會議ノ議事日程、各国ガ總會ニ派遣スル委員及顧問ノ方選、總會ノ議題等報告並我方委員顧問ノ人選ニ関シ意見稟申ノ件……………一四九二

講

三 二八九 六月 十七日 講 在仏国松井大使ヨリ 山東問題解決ノ行悩ミニ鑑ミ今後採ルベキ我外交方針ニ関シ意見開陳ノ件……………三四五

講

一 五四七 六月 十七日 講一三六一 在仏国松井大使ヨリ 對独講和条約案ニ関シ聯合國ヨリノ對独回答ヲ独国全權ニ交付ノ件……………七〇三

講一三六一

一五 八八五 六月 十七日 八七九 在中國小幡公使ヨリ シベリア鉄道財政援助案ニ関シ中國側參加希望ノ件……………一一五五

八七九

一五 八八六 六月 十七日 三三七 在浦潮松平政務部長ヨリ 露迄拡張方ノ技術部提議ニ付……………一一五六

三三七

三 二九〇 六月 十八日 八八二 在中國小幡公使ヨリ 中國委員ノ講和會議書記局ニ對スル留保附調印通告ハ取消トナルベキ旨陳外交總長代理談話ノ件……………三四八

八八二

二 五四八 六月 十八日 講一三六四 在仏国松井大使ヨリ 獨逸ガ講和条約調印拒絶ノ場合聯合國側ノ執ルヘキ封鎖手段ニ関スル首相會議決議報告ノ件……………七〇三

講一三六四

二 五四九 六月 十九日 五〇九 在仏国松井大使ヨリ 土耳其及勃爾牙利トノ講和条約ニ日本ノ參加ニ付回訓ノ件……………七〇四

五〇九

二 五五〇 六月 十九日 講一三七六 在仏国松井大使ヨリ 奧国全權ヨリ聯合國提出ノ講和条約案ニ付所見申出ノ件……………七〇四

講一三七六

二 五五一 六月 二十二日 講一四〇四 在仏国松井大使ヨリ 對独講和条件ニ関スル對独回答ヲ獨逸側ニ交付ノ次第ヲ講和會議書記局ヨリ通知越ノ件……………七〇八

講一四〇四

一一 五五二 六月二十二日 講 在仏国松井大使ヨリ 講和条約案ニ関スル聯合國回答ニ對シ独逸側ヨリ再度意見書ヲ提出シ來リ之ニ對スル聯合國側ノ措置報告ノ件……………七〇九

別電

同日在仏国松井大使発内田外務大臣宛電報 講第一四一〇号 聯合國回答ニ對シ独逸側ヨリ再度提出ノ意見書全文……………七二〇

一一 五五三 六月二十二日 講 在仏国松井大使ヨリ 独逸側ヨリ聯合國へ独逸内閣更迭及講和全權ノ變更ヲ通告シ条件附ニテ講和条約ニ調印スベキ旨回答ノ件……………七二三

一一 五五四 六月二十三日 講 在仏国松井大使ヨリ 独逸全權ヨリ講和条約調印諾否ノ回答期限延期方ヲ要請シ聯合國側拒絕ノ件……………七二四

別電一

同日松井大使発内田外務大臣宛電報講第一四一五号 講和条約調印諾否ノ回答期限延期ヲ要請ノ独逸書簡……………七二四

二 同右電報講第一四一六号 右要請ヲ拒絕セル聯合國側回答書簡……………七二五

一一 五五五 六月二十三日 講 在仏国松井大使ヨリ 講和条約案ニ関シ独逸側ヨリ再度提出ノ意見書ニ對スル講和會議議長ヨリノ回答報告ノ件……………七二五

一一 五五六 六月二十三日 講 在仏国松井大使ヨリ 講和条約無条件調印承諾ノ旨独逸全權ヨリ聯合國側ニ通知ノ件……………七二〇

一四 八二四 六月二十三日 機密八 在蘭国松原臨時代理公使ヨリ 前独帝ノ取扱ニ對スル蘭国政府ノ態度ニ関シ報告ノ件……………一〇八七

附屬書

右報告書……………一〇八七

三 二九一 六月二十四日 講 内田外務大臣ヨリ 山東ヨリノ撤兵及我專管居留地ノ範圍等ニ関シ奈良中将ノ電報ハ我了解ト一致セザルニ付査報方訓令ノ件……………三四九

附記

六月十六日奈良陸軍中将発田中陸軍大臣宛電報第四七二号……………三五一

一三 六四〇 六月二十四日 閣議決定 山東省諸問題善後方針ニ関スル件……………八一三

附記一

青島還附ニ伴フ日中交渉案件ニ對スル希望、山東地方ニ於ケル行政組織變更ニ伴フ希望（陸軍省）……………八一四

二 五月二十二日山東諸問題善後方針案（外務省）……………八二〇

三 六月二十五日青島還附ニ伴フ日中交渉案件（陸軍省）……………八二三

一一 五九八 六月二十五日 四六四 在米国出淵臨時代理大使ヨリ 批准スルナラントノシカゴトリビューン代表者ノ談話報告ノ件……………七五三

六 四二九 六月二十六日 講 在仏国松井大使ヨリ 巴里講和会議ニ於ケルヤップ
一四五五 内田外務大臣宛(電報) 島ヨリノ海底電線処分ニ対シ……五三四
和蘭政府抗議ノ件

別電一

同日在仏国松井大使発内田外務大臣宛講第
一四五六号 和蘭政府ヨリノ抗議書 ……五三四

二 同右電報講第一四五七号 ……五三六
和蘭政府ヨリノ抗議書

三 六月二十七日在仏国松井大使発内田外務大
臣宛講第一四五八号 ……五三八
講和會議事務局宛日本側回答

附記一

大正六年十一月十二日木村参事官記
メナド及ヤップ間元独蘭電信会社海底電線 ……五三九
利用ノ為蘭国政府ト交渉ノ件

二 大正七年八月二十日内田通信次官ヨリ幣原
外務次官宛外第四九一三号 ……五四〇
ヤップ及メナド間海底電線等開放ニ関スル
件

三 大正七年八月二十八日矢野事務官調
ヤップ及メナド間並ヤップ及グラム間海底 ……五四一
電線ニ関スル件

シベリア鉄道管理区域ヲ欧露
迄延長問題ニ関シ特別委員会 ……一一五七
審議ノ件

一五 八八七 六月二十七日 三三七 在浦潮松平政務部長ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

三 二九二 六月二十八日 講 在仏国松井大使ヨリ
一四七四 内田外務大臣宛(電報)

首相會議ニ於テ中国委員申出
ノ留保付調印ノ意義ヲ仏外相
ヨリ問質サシムルコトニ決定
ノ件 ……三五二

三 二九三 六月二十八日 講 在仏国松井大使ヨリ
一四七五 内田外務大臣宛(電報)

留保付調印ハ許サレザル旨ノ
首相會議決定ヲ中国委員ニ通
告ノ件 ……三五三

三 二九四 六月二十八日 講 在仏国松井大使ヨリ
一四七八 内田外務大臣宛(電報)

中国ノ講和条約調印拒絶ハ出
先ノ独断ナル旨公表方意見具
申ノ件 ……三五四

一一 五五七 六月二十八日 講 在仏国松井大使ヨリ
一四七六 内田外務大臣宛(電報)

対独平和条約調印式ヴェルサ
イユ宮殿ニ於テ挙行ノ件 ……七二〇

一一 五五八 六月二十八日 講 在仏国松井大使ヨリ
一四七七 内田外務大臣宛(電報)

対独回答審査ニ関スル首相會
議ノ件 ……七二一

一四 八二五 六月二十八日 講 在仏国松井大使ヨリ
五三四 内田外務大臣宛(電報)

前独帝審問ニ関スル調査方ヲ
松原代理公使ニ訓令ノ件 ……一〇九二

一七 九五五 六月二十八日 政機密送 内田外務大臣ヨリ
一一二 田中陸軍大臣宛

オムスク政府ニ於テ小銃五万
挺及藥莖毎月二千万発入手方
希望ノ件 ……一二八六

附屬書

六月二十七日附在本邦露国大使ヨリ内田外
務大臣宛書翰第五六一号写 ……一二八六
右入手方希望ノ件

三 二九五 六月二十九日 講 在仏国松井大使ヨリ
一四七九 内田外務大臣宛(電報)

山東問題ニ関シ中国側緩和ノ
為日本側ニ於テ声明書ヲ発表
セラレ度旨及右声明書ノ要旨
ニ付ランシング提案ノ件 ……三五五

三 二九六 六月二十九日 講 在仏国松井大使ヨリ
一四八〇 内田外務大臣宛(電報)

講和条約調印前ニ於テ中国全
權ヨリ提出ノ書翰ニ対スル首
相會議議長ノ措置振ニ関スル
件 ……三五六

三 二九七 六月二十九日 講 在仏国松井大使ヨリ
一四八二 内田外務大臣宛(電報)

対独平和条約ノ調印拒絶ニ関
シ中国全權宣言書ヲ発表ノ件
……三五七

五 四一三 六月二十九日 講 在仏国松井大使ヨリ 米国大統領ガ人種問題ニ関スル日本ノ提案ニ賛成セザリシ事情ニ付ハウス大佐内話ノ件……………五一三

一一 五九九 六月二十九日 講 在仏国松井大使ヨリ 平和条約調印直後米国大統領同国民ニ対シ宣言公表及スマツツ將軍声明書発表ノ件……………七五三

三 二九八 六月三十日 講 在仏国松井大使ヨリ 条約調印拒絶ニ関スル中国全權ノ公文ヲ書記局ヨリ送附越ノ件……………三五七

別電 六月三十日在仏国松井大使發内田外務大臣宛電報講第一四九四号 宛電報講第一四九四号 六月二十八日附中国全權ヨリ講和会議議長宛公文……………三五七

一一 五五九 六月三十日 講 在仏国松井大使ヨリ 対独平和条約認証謄本作成遅延事情ニ関スル件……………七二一

一一 六〇〇 六月三十日 四七四 在米国出淵臨時代理大使ヨリ 米国大統領ノ平和条約調印ニ関スル公表書上下両院ニ於テ朗読セラレ之ニ対スル米国野党議員ノ反響報告ノ件……………七五四

七月

三 二九九 七月一日 四七六 在米国出淵臨時代理大使ヨリ 中国全權ノ講和条約調印拒絶問題ニ関スル米國議會及言論界ノ態度ニ付報告ノ件……………三五八

一一 六四一 七月一日 一五〇九 在仏国松井大使ヨリ 講和条約不調印後ノ成行ニ関シ中国新聞局公表ノ件……………八二六

一一 六四二 七月一日 一五一〇 在仏国松井大使ヨリ 首相會議ニ於ケル山東問題討議要録ヲ中国側ニ交付ノ件……………八二六

別電 七月二日在仏国松井大使發内田外務大臣宛電報講第一五一一号 山東問題討議ニ関シ中国側ニ交付サレタル覚書……………八二七

三 三〇〇 七月二日 三〇八 在上海有吉總領事ヨリ 中国人国民大会ノ講和条約不承認決議及學生大会ノ対米感謝決議ノ件……………三六〇

三 三〇一 七月二日 一五二四 在仏国松井大使ヨリ 中国全權ノ講和条約不調印ノ事情ニ関シ劉崇傑吉田書記官ニ談話ノ件……………三六〇

四 三三二 七月二日 一五二一 在仏国松井大使ヨリ 六月二十八日委任統治ニ関スル規定作成予備會議ニ於テC式規定ニ付討議ノ件……………三九〇

附記 右予備會議議事録……………三九二

一一 五六〇 七月二日 一五二三 在仏国松井大使ヨリ 六月十六日聯合國ヨリ独逸全權宛覚書ニ掲ゲラレタル約定ヲ最終議定書ニ載スルコトニ異議無キ旨ノ独逸全權ノ書面報告ノ件……………七二二

一四 八二六 七月二日 一五一四 在仏国松井大使ヨリ 前独逸皇帝ノ審問ニ関シ前宰相ベイトマン・ホルウェクヨリ講和會議議長宛覚書提出ノ件……………一〇九三

別電

同日在仏国松井大使發内田外務大臣宛電報講第一五一五号 前独逸宰相ベイトマン・ホルウェクノ覚……………一〇九三

一四	八二七	七月二日	講	在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	前独帝審判ノ場所選定ニ関シ……一〇九四 首相會議ニ於テ討議ノ件
一五	八八八	七月二日	三四二	在浦潮松平政務部長ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	シベリア鉄道財政援助案ニ對 スル各国態度ニ付報告及我執 ルヘキ措置ニ関シ請訓ノ件
一一	五六一	七月三日	講 一五二八	在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	ライン地方占領ニ関スル英米 仏伊ト独逸トノ協約ノ調印ニ 関シ六月二十七日独逸委員ヨ リノ講和會議議長宛書面要領 報告ノ件
一三	六四三	七月三日	四八七	在米国出淵臨時代理大使ヨ リ 内田外務大臣宛(電報)	山東問題ニ對スル米国ノ世論 緩和ノ為還附時期等ニ関スル 我方針公表方意見具申ノ件
一七	九五六	七月三日	浦参 一二二七	浦潮派遣軍参謀長ヨリ 福田参謀次長宛(電報)	日本歩兵銃五万挺彈藥四千万 発ノ交付方露国側ヨリ願出ノ 件……一二八七
一五	八八九	七月四日		陸軍省ヨリ 外務省宛	シベリア鉄道管理範圍擴張ニ 對スル陸軍省ノ意見回示ノ件 ……一一五九
二〇	一〇七三	七月四日	一五三三	在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	國際労働法制案ニ関スル英国 委員側ノ説明ニ付回報ノ件 ……一四六一
三	三〇二	七月五日	四九四	在米国出淵臨時代理大使ヨ リ 内田外務大臣宛(電報)	中国全權調印拒絶事情ニ関シ 紐育タイムスバ里特派員報道 ……三六一
一五	八九〇	七月五日	三四八	在浦潮松平政務部長ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	シベリア鉄道特別委員会ニ於 テ該委員会ヲオムスクヘ移転 スヘキヤ並鐵道監督ヲウラル 以西ニ及ボスヘキヤニ関シ決 議ノ件……一一五九
一七	九五七	七月五日	政機密送 一一五	内田外務大臣ヨリ 田中陸軍大臣宛	露国チミレフ將軍ニ小銃彈藥 讓渡ニ関スル件……一二八八
二一	一〇八四	七月七日	講 一五六四	在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	國際労働總會第二回準備委員 会ノ議事大要報告及稟請ノ件 ……一四九五
一一	五六二	七月九日	講 一五七三	在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	對独平和条約附屬ノ議定書及 占領地ニ關スル協定ノ批准形 式ニ付独逸ノ問合ニ對シ聯合 側ヨリ回答ノ件……七二三
一一	五六三	七月九日	講 一五七七	在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	ワイマール独逸國民議會平和 条約ノ批准可決ノ件……七二四
一五	八九一	七月十日	東秘 一八	富田大藏書記官ヨリ 武者小路外務書記官宛	シベリア鐵道財政援助問題ニ 關スル大藏省ノ見解回答ノ件 ……一一六〇
一七	九五八	七月十日	政二機密 送四五	内田外務大臣ヨリ 在本邦露国大使宛	オムスク政府ヘ小銃彈供給ニ 關シ回答ノ件……一二八八
一一	六〇一	七月十一日	五〇三	在米国出淵臨時代理大使ヨ リ 内田外務大臣宛(電報)	大統領對独平和条約ヲ上院ニ 提出シ条約ノ説明擁護ノ演説 ……七五五
一三	六四四	七月十一日	講 五八二	内田外務大臣ヨリ 在仏国松井大使宛(電報)	山東問題善後措置決定ニ當リ 奈良中將ノ電報ニ關シ回電ア ……八三〇
一四	八二八	七月十一日	二八四	在英国珍田大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	英国皇帝皇后両陛下ニ拝謁ノ 模様ヲ天皇陛下ニ執奏方西園 寺牧野両全權ヨリ依頼ノ件 ……一〇九五
一五	八九二	七月十一日	三五六	在浦潮松平政務部長ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	セメノフノ鐵道運行干涉等ニ 関シモーリス米大使ト会见ノ 件……一一六一

一五	八九三	七月十一日	三五八	在浦潮松平政務部長ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	キセーフスキイ鉄道長官ヨリ……一六二 ホルワット宛電報特別委員會 ニ提示セラレタル件
一三	六四五	七月十二日	五〇六	在米国出淵臨時代理大使ヨ 内田外務大臣宛(電報)	講和条約ニ関シ米国大統領ノ 新聞記者団及与黨議員等ニ対 スル談話ヲ各紙報道ノ件
一四	八二九	七月十二日	一六〇一	在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	前独帝監視ニ関シ聯合國側ヨ リ和蘭政府ノ注意ヲ喚起シタ ル件
一四	八三〇	七月十二日	一六二二	在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	同日在仏国松井大使宛内田外務大臣宛講第 一六〇二号和訳文 右注意喚起ニ対スル和蘭国外務大臣ノ回答 ……一〇九七
一三	六四六	七月十三日	五九一	内田外務大臣ヨリ 在仏国松井大使宛(電報)	前独帝ノ審問ニ関シ前宰相來 翰ニ対スル回答案其他ニ付首 相會議ニ於テ討議ノ件
一三	六四七	七月十四日	九三五	内田外務大臣ヨリ 在中国小幡公使宛(電報)	山東問題ニ関シ講和會議議長 ヨリ中国全權ニ送付セル覚書 中ノ或点ニ付誤解ヲ避クル為 必要措置方訓令ノ件
一六	九三三	七月十四日		西比利亞經濟援助委員會 援助委員會	山東問題ニ関スル实地調査ノ 為芳沢參事官派遣ニ付指示ノ 件……八三二
四	三三三	七月十五日(假)	二九二	在英国珍田大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	臨時西比利亞經濟援助委員會 第十一回會議議事録 ……一二五八
一	六〇二	七月十五日	五四四	在米国出淵臨時代理大使ヨ 内田外務大臣宛(電報)	倫敦ニ於ケル委任統治組織委 員會ニテC式統治委任狀雛形 ニ加ヘタル修正報告ノ件
一三	六四八	七月十五日	五一七	在米国出淵臨時代理大使ヨ 内田外務大臣宛(電報)	民主黨議員 Swanson ノ上院 ニ於ケル國際聯盟弁護演說報 告ノ件
一	六〇三	七月十六日	五二五	在米国出淵臨時代理大使ヨ 内田外務大臣宛(電報)	米上院ニ提出ノ山東条項反対 決議案委員會附託ノ件
一七	九五九	七月十六日		日本外務省ヨリ 在本邦露国大使館宛	共和党全國委員長國國際聯盟ニ 関スル聲明書ニ於テ保留ヲ要 スル諸点指摘ノ件
八	四九三	七月十七日	一六六三	在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	オムスク政府ヘ小銃彈藥供給 ニ関シ其代金支払方法及彈藥 供給期間問合ノ件
一三	六四九	七月十七日	一〇一七	在中国小幡公使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	敵國ニ對スル我賠償要求ノ損 害額等ニ關シ電報方稟請ノ件
三	六五〇	七月十七日	五二一	在米国出淵臨時代理大使ヨ 内田外務大臣宛(電報)	芳沢參事官ノ派遣ハ山東還附 準備ノ為ナル旨共同通信報道 ノ件……八三四
				附記 漢字紙ニ掲載セラレタル芳沢氏ト北京各界 連合會代表トノ會談内容	山東条項ニ關シ上院ニ於ケル 共和黨ノリス議員ノ攻撃演說……八三七 並与野黨議員ノ論議報告ノ件

一三 六五一 七月 十七日 五二二 在米出淵臨時代理大使ヨ
内田外務大臣宛（電報）
表ノ件至急詮議方稟請ノ件
……八三九

一三 六五二 七月 十七日 五二四 在米出淵臨時代理大使ヨ
内田外務大臣宛（電報）
上院ニ於ケル山東問題論議ニ
関シ重ナル新聞論説報告ノ件
……八三九

一三 六五三 七月 十七日 五二七 在米出淵臨時代理大使ヨ
内田外務大臣宛（電報）
米国上院一部ノ反日的論議ト
米国世論トハ区別シテ考慮ス
ルノ要アル旨意見上申ノ件
……八四一

一三 六五四 七月 十七日 一〇二二 在中國小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）
青島專管居留地問題ニ関シ意
見呈示ノ件
……八四二

一三 六五五 七月 十七日 一六五四 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）
山東問題等ニ関シ牧野委員カ
ゾン卿ト意見交換ノ件
……八四四

三 三〇三 七月 十八日 一六八〇 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）
山東ヨリノ撤兵及專管居留地
ノ範圍等ニ関スル奈良中将ノ
電報ニ付事情回申ノ件
……三六一

一一 五六四 七月 十八日 一六八一 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）
對独平和条約ノ批准用正本送
付ニ関シ報告ノ件
……七二四

一三 六五六 七月 十八日 五三〇 在米出淵臨時代理大使ヨ
内田外務大臣宛（電報）
山東問題ニ関スル「キュー
ン」氏トノ会見談新聞紙掲載
ノ件
……八四六

一三 六五七 七月 十八日 一六七四 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）
同日在米出淵臨時代理大使
宛電報第五三一号
右会見談大要
……八四七

一三 六五八 七月 十八日 一六七九 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）
山東問題等ニ関シ國際聯盟第
一回會議ニ於ケル中國側ノ画
策ヲ假想シ西園寺全權ヨリ對
策進言ノ件
……八四八

一三 六五九 七月 十八日 一六七九 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）
合弁事業ニ関シ首相會議ニ於
テ説明ノ件
……八四九

一五 八九四 七月 十八日 三六六 在浦潮松平政務部長ヨリ
内田外務大臣宛（電報）
セメノフ及露國交通省ノ鐵道
妨害ニ関シ鐵道特別委員會ハ
右両者ニ對シ共同抗議ノ件
……一一六二

別電 同日在浦潮松平政務部長宛内田外務大臣宛
電報第三六七号
右共同抗議文
……一一六三

二一 一〇八五 七月 十八日 二〇七 在本邦英國臨時代理大使ヨ
内田外務大臣宛
國際労働會議準備委員會ヨリ
八大産業國選定ニ関シ本邦資
料ノ供給方要請アリタル旨通
知ノ件
……一四九六

一五 八九五 七月 十九日 一九九 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）
シベリア鐵道ノ為ノ財政援助
問題ニ関シ仏國政府回答ノ件
……一一六四

一七 九六〇 七月 十九日 六四二 在本邦露國大使館ヨリ
日本外務省宛
オムスク政府ニ供給スベキ小
銃五万挺及彈藥ノ代金額問合
……一二九〇

一三 六五九 七月 二十日 五三五 在米出淵臨時代理大使ヨ
内田外務大臣宛（電報）
國際聯盟及山東問題ニ関スル
米國大統領ノ上院對策ニ付注
……八四九

一三 六六〇 七月 二十日 一六九四 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）
日中關係ノ緊張緩和ノ為ノ方
策ニ関シ伊集院全權ヨリ劉崇
傑及顧維鈞ニ意見開示ノ件
……八五〇

一三 六六一 七月 二十日 一〇二八 在中國小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）
新民報掲載ノ講和條約追加調
印論及反對説ニ付報告ノ件
……八五四

一五 八九六 七月二十日 三〇三 内田外務大臣ヨリ
在浦潮松平政務部長宛（電報）
鐵道特別委員会ノオムスク移
動決議ニ関シ回訓ノ件 …… 一一六五

一一 五六五 七月二十一日 講 一六九七 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）
對奥講和条件交附洛ノ旨報告
ノ件 …… 七二四

一三 六六二 七月二十一日 五三六 在米国出淵臨時代理大使ヨ
内田外務大臣宛（電報）
山東省ヨリノ撤兵問題ニ関シ
日本政府ノ方針電報方稟請ノ
件 …… 八五五

一三 六六三 七月二十一日 講 一六九五 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）
西園寺全権各種問題ニ付クレ
マンソー氏ト懇談ノ件 …… 八五五

一四 八三一 七月二十一日 講 一七〇〇 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）
前独逸宰相来翰審議ノ為委員
会ニ於テ回答案ヲ作成ノ件 …… 一〇九八

別電 同日在仏国松井大使
前独逸宰相来翰ニ對スル回答案
同日在仏国松井大使
前独逸宰相来翰ニ對スル回答案
…… 一〇九九

一五 八九七 七月二十一日 三七〇 在浦潮松平政務部長ヨリ
内田外務大臣宛（電報）
セメノフノ鐵道運行干涉ニ関
シ特別委員会ヨリオムスク政
府抗議ノ件 …… 一一六五

一七 九六一 七月二十一日 政二機密 送一二四 内田外務大臣ヨリ
田中陸軍大臣宛
オムスク政府ヘノ小銃彈藥供
給ニ関スル件 …… 一二九一

一三 六六四 七月二十二日 五二三 内田外務大臣ヨリ
在米国出淵臨時代理大使宛
（電報）
膠州灣還附時期ニ関スル声明
發表ノ困難ナル理由ヲ第三国
務次官ニ委細説明方訓令ノ件
…… 八五八

一三 六六五 七月二十二日 五三八 在米国出淵臨時代理大使ヨ
内田外務大臣宛（電報）
パリ會議ノ結果無効トナルベ
キ日中間條約及協定ヲ膠州灣
還附交渉ノ基礎トセル理由ニ
付米側ヨリ問合越ノ件 …… 八五九

一三 六六六 七月二十二日 秋山青島守備軍民政長官ヨ
内田外務大臣宛
青島還附ニ関スル日中交渉ノ
開始時期ノ件 …… 八六〇

附屬書 七月二十二日附秋山青島守備軍民政長官ヨ
リ田中陸軍大臣宛書信写
倫敦ニ於ケル委任統治組織委
員会會議經過報告ノ件 …… 八六〇

四 三三四 七月二十三日 二九三 在英國珍田大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）
倫敦ニ於ケル委任統治組織委
員会ニテ修正シタルB式統治
委任ノ雛形報告ノ件 …… 四〇一

四 三三五 七月二十三日 二九四 在英國珍田大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）
五国会議ノ際日米伊ノ對独
平和條約批准ノ時期ヲバルフ
オアヨリ問合ノ件 …… 四〇六

一一 五六六 七月二十三日 講 一七〇七 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）
山東条項決定事情ニ関スル米
国大統領談話ノ誤報ニ付公表
ノ件 …… 七二五

一三 六六七 七月二十三日 五五〇 在米国出淵臨時代理大使ヨ
内田外務大臣宛（電報）
敵国ニ對スル我賠償要求ノ損
害額等ニ関シ回電ノ件 …… 八六三

八 四九四 七月二十四日 講 六六六 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）
對独平和條約ノ批准ヲ容易ナ
ラシムル為タフト氏聯盟ニ関
スル六箇条解案ヲ作成ノ件 …… 六二五

一一 六〇四 七月二十四日 五五三 在米国出淵臨時代理大使ヨ
内田外務大臣宛（電報）
中國問題、朝鮮ニ於ケル騷擾
事件及中國ノ無線電信所問題
等ニ関シカリーソン卿ヨリノ要
望事項報告ノ件 …… 七五七

一三 六六八 七月二十四日 三〇二 在英國珍田大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）
膠州灣還附時期ニ関シ声明ス
ルノ困難ナル理由ヲ第三国務
次官ニ申入済ノ件 …… 八六四

一三 六六九 七月二十四日 五五二 在米国出淵臨時代理大使ヨ
内田外務大臣宛（電報）
次官ニ申入済ノ件 …… 八六七

一三 六七〇 七月二十四日 講 在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報) 議ニ関シ日本側ノ同意ヲ得タキ旨ホワイト米国全権ヨリ牧野全権ニ申出ニ付請訓ノ件 八六八

別電

七月二十四日在仏国松井大使発内田外務大臣宛講第一七八号 ランシング提案原文 ……八七〇

一五 八九八 七月二十四日 三〇七 内田外務大臣ヨリ 在浦潮松平政務部長宛(電報) シベリア鉄道財政援助資金ノ分担方法等ニ付取調方訓令ノ… 一一六六

一三 六七一 七月二十五日 五五五 在米国出淵臨時代理大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報) 山東問題ニ関スル巴里首相會議打合事項ヲ日本政府ノ自発的公表方米国大統領強ク要請ニ付請訓ノ件 ……八七一

一三 六七二 七月二十五日 三〇六 在英國珍田大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報) 山東問題及中国ニ対スル借款問題等ニ関シ後藤男ヨリ原首相ニ進言ノ件 ……八七二

一五 八九九 七月二十五日 陸軍省ヨリ 外務省宛 シベリア鉄道ニ関スル諸問題ニ付陸軍省意見提示ノ件 ……一一六七

一一 五六七 七月二十六日 講 在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報) 奥国全権ニ対奥講和条件ト共ニ交附サレタル講和會議議長ヨリノ公文報告ノ件 ……七二五

一三 六七三 七月二十六日 五五八 在米国出淵臨時代理大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報) 講和条約ノ批准ニ関シ共和党ニ提出ノ件 ……八七四

一三 六七四 七月二十六日 講 在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報) 山東問題ニ関スル首相會議事公表ハ日本ノ承諾ヲ要スル旨米國務卿ニ申出方出淵代理大使ニ指示シタル件 ……八七四

一三 六七五 七月二十六日 講 在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報) 山東問題ニ関シ猶予ナク我立場ヲ明カニスル宣言書公表方… 八七六

一三 六七六 七月二十六日 講 在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報) 米国上院ニ於ケル山東問題論議ニ関シデバ紙論評ノ件 ……八七六

一三 六七七 七月二十七日 五二六 在米国外務大臣ヨリ 在米国出淵臨時代理大使宛(電報) 山東問題ノ顧末公表ヲ米國政府自ラ行ハントスルニ対シ日本ハ直チニ同意シ得ザル旨國務長官ニ回答方訓令ノ件 ……八七七

一三 六七八 七月二十七日 五二七 在米国外務大臣ヨリ 在米国出淵臨時代理大使宛(電報) 協定成立次第我軍隊全部山東撤退ヲ言明シ差支ナキ旨回訓ノ件 ……八七八

一三 八〇四 七月二十七日 公 在中國小幡公使ヨリ 内田外務大臣宛 中国対独戦争状態終了ニ関スル件 ……一〇五六

一五 九〇〇 七月二十七日 六七〇 在ハルビン佐藤総領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報) セメノフノ鉄道妨害行動ニ関スル日米兩軍間ノ見解齟齬ニ… 一一六八

一三 六七九 七月二十八日 五六一 在米国出淵臨時代理大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報) 山東問題ニ関シロビンソン氏上演説ヲ為シタル件 ……八七八

一三 六八〇 七月二十八日 五六三 在米国出淵臨時代理大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報) パリ首相會議ニ於ケル山東問題顧末公表ニ関シ訓令執行ノ… 八七九

一三 六八一 七月二十八日 講 在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報) 中国側ニ交付サレタル山東問題首相會議事要録ニ関スル… 八八〇

一九 九七七 七月二十八日

山二
番電

在巴里山本海軍大佐ヨリ
栃内海軍次官宛（電報）

山本海軍大佐法王庁ト交渉ノ
為羅馬ニ出張ノ旨在東京大司
教ヨリ法王庁ニ電報セシムル
様取計方稟請ノ件……………一三一二

附記

南洋群島布教ニ関スル件……………一三一二

一三 六八二 七月二十九日

在米国出淵臨時代理大使ヨ
リ
内田外務大臣宛（電報）

日本ガ山東問題ノ商議ニ日中
条約ヲ基礎トシタル事由ヲ承
知シ度旨國務長官申出ニ付請
訓ノ件……………八八一

一三 六八三 七月二十九日

在米国出淵臨時代理大使ヨ
リ
内田外務大臣宛（電報）

米国大統領ハ山東問題公表ヲ
日本側ニ迫リタルコトナキ旨
紐育タイムズ報道ノ件……………八八二

一三 六八四 七月二十九日

在米国出淵臨時代理大使ヨ
リ
内田外務大臣宛（電報）

山東撤兵ノ時期ニ関シ本使所
見ヲ聯合通信社ニ発表ノ件……………八八二

一三 六八五 七月二十九日

在米国出淵臨時代理大使ヨ
リ
内田外務大臣宛（電報）

山東問題ニ関シ新聞漏洩及米
側ノ發表意図等ニ付國務省第
三次官ノ注意ヲ喚起ノ件……………八八三

一五 九〇一 七月二十九日

浦参
一四三一

浦潮軍参謀長ヨリ
福田参謀次長宛（電報）

シベリア鉄道ノ守備任務ニ関
スル日米兩軍ノ見解相異ナル……………一一七〇

一一 五六八 七月三十日

講
一七五一

在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

勃爾牙利トノ条約案中ノ領事
裁判權ニ関スル條款ニ関シ報
告ノ件……………七二六

別電

同日松井大使發内田外務大臣宛講第一七五
二号右領事裁判權ニ関スル條款……………七二七

一三 六八六 七月三十日

在米国出淵臨時代理大使ヨ
リ
内田外務大臣宛（電報）

米側ヨリ山東問題發表日取通
報越ノ件……………八八四

一三 六八七 七月三十日

講
一七四八

在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

山東問題ニ関シ最近ノ米國政
情ニ顧ミ此際我方ヨリ進ンデ
公表措置方重ネテ意見稟申ノ
件……………八八四

別電

七月三十日在仏国松井大使發内田外務大臣
宛講第一七五三号
公表案……………八八五

一三 六八八 七月三十日

一〇八五

在中國小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

山東問題ニ関シ米國ガ英仏ト
協同又ハ单独ニテ提出セント
スル調停案ニ付顧維鈞ヨリ請
訓セル旨張志潭ガ西田ニ語リ
タル件……………八八八

一三 六八九 七月三十一日

五七二

在米国出淵臨時代理大使ヨ
リ
内田外務大臣宛（電報）

山東問題ニ関シ米國ニ於ケル
中国側宣傳活動ノ概況報告ノ
件……………八八九

一三 六九〇 七月三十一日

五七三

在米国出淵臨時代理大使ヨ
リ
内田外務大臣宛（電報）

山東問題ニ関スルタフト氏ノ
論說並右ニ対スル紐育タイム
ズノ批評報告ノ件……………八九一

一三 六九一 七月三十一日

講
一七五四

在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

山東問題解決ニハ日中条約ヲ
基礎トセザルベキ旨首相會議
決定セリトノラニング主主張
ハ事実ニ反スル件……………八九二

八 月

一三 六九二 八月一日

五四三

内田外務大臣ヨリ
在米国出淵臨時代理大使宛
（電報）

山東問題ニ関スル声明發表ノ
コトニ閣議決定ニ付指示ノ件……………八九二

一三	六九三	八月一日	一〇九一	在中國小幡公使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	山東問題ニ関シ新任山東省長 ト内議アリタキ旨ノ大總統希 望ニ付施履本来談ノ件	八九三
一三	六九四	八月一日	一〇九八	在中國小幡公使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	段祺瑞ノ推薦セル山東省長 ノ使命等ニ付曲同豊ガ西田ニ 語リタル件	八九三
一三	六九五	八月一日	一〇四	在濟南森總領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	青島居留地問題ニ関シ芳沢參 事官帰京迄決定見合方同官ヨ リ稟請ノ件	八九四
一五	九〇二	八月一日	六九五	在ハルビン佐藤總領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	聯合國代表者會議ニ於テシベ リア鉄道運行及保護ノ方策ニ 関スルオムスク政府作成ノ要 領書其他ニ付論議ノ件	一一七〇
一三	六九六	八月二日	五四四	内田外務大臣ヨリ 在米國出淵臨時代理大使宛 (電報)	山東問題ニ関スル日本ノ政策 ニ付外務大臣談トシテ再度公 表ノ件	八九四
別電 同日内田外務大臣宛 使宛電報第五四五号 右公表書英文全文						八九五
一三	六九七	八月二日	六四二	内田外務大臣ヨリ 在仏國松井大使宛(電報)	山東問題ニ関シ我公表書ヲク レマンソー氏ニ手交方訓令ノ 件	八九七
一三	六九八	八月二日	二四四	内田外務大臣ヨリ 在英國珍田大使宛(電報)	山東問題ニ関スル日本政府ノ 公表書ヲカーゾン卿ニ手交方 訓令ノ件	八九七
一三	六九九	八月二日	一七六八	在仏國松井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	對澳講和条項審査ニ関シ在天 津旧澳匈國租界ノ改善方ヲ最 高會議ヨリ中國側ニ申入ノ件	八九八
一三	八〇五	八月二日	一〇九四	在中國小幡公使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	七月二十八日ヲ以テ中独戦争 状態終了ニ関スル件	一〇五七
四	三三六	八月三日	一七六二	在仏國松井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	C式統治委任状ニ聯盟各国民 平等待遇条項挿入ノ必要性ニ 関シ意見具申ノ件	四一〇
一三	七〇〇	八月三日		青島市民会ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	山東問題ニ関シ青島在留民大 会ノ宣言及決議通報ノ件	八九八
一三	七〇一	八月四日	五五九	内田外務大臣ヨリ 在米國出淵臨時代理大使宛 (電報)	山東問題ト日中条約ニ関シ國 務長官ニ説明方回訓ノ件	八九九
一七	九六二	八月四日	政二機密 送一三一	幣原外務次官ヨリ 山梨陸軍次官宛	在本邦露國大使館ヨリオムス ク政府希望小銃及彈藥ノ種類 及數量ヲ通知並其価額及支払 方法問合ノ件	一二九一
一七	九六三	八月四日	陸送西発 八〇四	山梨陸軍次官ヨリ 幣原外務次官宛	オムスク政府へ供給ノ兵器讓 渡額ニ関スル件	一二九二
一三	七〇二	八月五日	講 一七八九	在仏國松井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	山東問題ニ関スル我公表書ヲ クレマンソー氏ニ手交済ノ件	九〇〇
一三	七〇三	八月五日	一一〇九	在中國小幡公使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	新任山東省長ヨリ山東問題弁 法案ヲ作成ノ上本使ト商議シ タキ希望ヲ申出ノ件	九〇一
一三	七〇四	八月五日		向西青島軍參謀長ヨリ 菅野軍務局長宛(電報)	青島經營ニ関シ專管居留地ノ 代リニ共同居留地ヲ設定スル ハ絶對ニ不可ナル旨意見具申 ノ件	九〇二

一八 九七五 八月五日 通機 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛 …… 一三〇九

附屬書 右報告 …… 一三〇九

一三 七〇五 八月六日 五八一 在米国出淵臨時代理大使ヨリ
内田外務大臣宛 (電報) …… 九〇四

一三 七〇六 八月六日 一一一六 在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛 (電報) …… 九〇四

二一 一〇八六 八月六日 三三二 在英國珍田大使ヨリ
内田外務大臣宛 (電報) …… 一四九七

一三 七〇七 八月七日 五八二 在米国出淵臨時代理大使ヨリ
内田外務大臣宛 (電報) …… 九〇五

別電 同日出淵臨時代理大使發内田外務大臣宛電
報第五八三號 米国大統領ノ新聞紙發表文 …… 九〇六

一三 七〇八 八月八日 五七〇 在米国出淵臨時代理大使宛
(電報) …… 九〇七

一三 七〇九 八月八日 一一二二 在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛 (電報) …… 九〇八

一三 七一〇 八月八日 一一二三 在中國小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛 (電報) …… 九〇九

一九 九七八 八月八日 在羅馬山本海軍大佐ヨリ
柄内海軍次官宛 (電報) …… 一三一六

一九 九七九 八月八日 山五番電 在羅馬山本海軍大佐ヨリ
柄内海軍次官宛 (電報) …… 一三一六

一三 七一一 八月九日 五八八 在米国出淵臨時代理大使ヨリ
内田外務大臣宛 (電報) …… 九一〇

一三 七一二 八月九日 公三二一 在中國小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛 …… 九一四

一九 九八〇 八月九日 山六番電 在羅馬山本海軍大佐ヨリ
柄内海軍次官宛 (電報) …… 一三一七

一九 九八一 八月九日 山七番電 在羅馬山本海軍大佐ヨリ
柄内海軍次官宛 (電報) …… 一三一八

一三 七二三 八月十一日 三三六 在英國珍田大使ヨリ
内田外務大臣宛 (電報) …… 九一六

一九 九八二 八月十二日 講 一八二五 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛 (電報) …… 一三二〇

四 三三七 八月十三日 二六〇 内田外務大臣ヨリ
在英國珍田大使宛 (電報) …… 四一〇

一三 七二四 八月 十三日 五九二
在米出淵臨時代理大使ヨ
内田外務大臣宛（電報）

一三 七二五 八月 十三日 一一四三
在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

一九 九八三 八月 十三日 山八番電
在羅馬山本海軍大佐ヨリ
柄内海軍次官宛（電報）

四 三三八 八月 十四日 条一機密
幣原外務次官ヨリ
柄内海軍次官宛

一三 七二六 八月 十四日 五九八
在米出淵臨時代理大使ヨ
内田外務大臣宛（電報）

一三 七二七 八月 十四日 一一四九
在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

一九 九八四 八月 十四日 山九番電
在羅馬山本海軍大佐ヨリ
柄内海軍次官宛（電報）

一三 七二八 八月 十五日 一一五〇
在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

一七 九六四 八月 十五日 陸送西密
山梨陸軍次官ヨリ
幣原外務次官宛

附屬書 右小銃及実包ノ価格並実包ノ供給期限……………一二九三

二一 一〇八七 八月 十五日 三四八
在英國永井臨時代理大使ヨ
内田外務大臣宛（電報）

一三 七一九 八月 十六日 九二四
内田外務大臣ヨリ
在香港鈴木總領事宛（電報）

一三 七二〇 八月 十六日 六〇四
在米出淵臨時代理大使ヨ
内田外務大臣宛（電報）

一三 七二一 八月 十六日 六〇九
在米出淵臨時代理大使ヨ
内田外務大臣宛（電報）

二一 一〇八八 八月 十六日 三三三
在英國永井臨時代理大使ヨ
内田外務大臣宛（電報）

一三 七二二 八月 十七日 六一〇
在米出淵臨時代理大使ヨ
内田外務大臣宛（電報）

山東問題ト日中条約トノ關係
ニ関スル訓令ニ付意見稟申及……九一八
再請訓ノ件

山東ハ國際の問題トナレルニ
付中国政府トシテハ意見表明
ヲ控エ居ル旨芳沢参事官ヘ陳
外交総長代理來談ノ件……………九二〇

南洋諸島ヘ派遣スベキ宣教師
ノ人選ニ関スル法王庁ノ意向……………一三二一
ニ付請訓ノ件

南洋ノ旧領諸島ニ於テ外國
人ノ享有シタル權利調査依頼……………四一一
ニ関スル件

上院外交委員會ニ於ケル國務
長官ノ石井ランシング協約ニ……九二一
関スル説明要點報告ノ件

中国政府ノ講和条約ニ對スル
態度ハ米國上院ノ決議ヲ見ル
迄決定セザルベシトノ觀察報
告ノ件……………九二二

法王庁國務卿ガ南洋諸島ノ宣
教師ニ関シ法王庁及日本政府
代表者間ニ覺書交換ノ要アル
旨述ベタルコト等報告ノ件……………一三二二

青島居留地問題ニ関シ租借地
全部ヲ共同居留地トスルヲ得
策ト認ムル旨芳沢ヘ米國領事
パツク來談ノ件……………九二三

オムスク政府ヘ小銃及同実包
供給ニ関シ回答ノ件……………一二九三

國際労働總會十月二十九日開
催、準備委員會ノ九月華府移
転、独逸ノ總會参加可否問題
等ニ関シ報告ノ件……………一五〇二

山東問題ニ関スル外相談ニ付
内外ノ反響等ヲ西園寺侯ニ伝
達方ノ件……………九二四

平和条約ニ関シ大統領ノ直接
説明聴取及更ニ五名ノ証人召
喚ヲ上院外交委員會決議ノ件……………九二五

対独平和条約ニ對スル米國ノ
留保乃至修正ニ関シ大統領ノ
反対意向及山東問題ニ関スル
上院ノ態度等ニ付報告ノ件……………九二五

各國ガ労働總會ニ派遣スル勞
働者代表ノ選任方法ニ関シ準
備委員會書記局主任バトラー
氏及岡委員吉坂監督官ノ意見
報告ノ件……………一五〇三

山東問題ニ関スル論議暫ク見
合セ方稟申ノ件……………九二六

一三 七二三 八月 十八日 講 在仏国松井大使ヨリ 山東問題討議ノ際ノ我全權ノ
内田外務大臣宛(電報) 態度及諒解ニ関スル件 ……九二六

別電

八月十八日在仏国松井大使宛内田外務大臣
宛電報講第一八六二号 ……九二八
バルフォア書面

一九 九八五 八月 十八日 山十番電 在羅馬山本海軍大佐ヨリ 旧独領殖民地ニ於ケル独逸人
枋内海軍次官宛(電報) 宣教師問題ニ對スル仏国政府
ノ態度ニ付報告セル松井大使 ……一三二三
電報中ノ誤謬ニ付説明ノ件

一三 七二四 八月 十九日 六〇四 内田外務大臣ヨリ 山東問題ト日中条約トノ關係
在米国出淵臨時代理大使宛 (電報) ニ関シ回示ノ件 ……九二九

一三 七二五 八月 十九日 六〇五 内田外務大臣ヨリ 日中条約ニ関スル我見解ヲ米
在米国出淵臨時代理大使宛 (電報) 側ニ申入方訓令ハ其儘執行セ ……九三〇
ラレ度件

一三 七二六 八月 十九日 機密 在天津船津總領事ヨリ 山東問題ニ関シ天津英國商業
内田外務大臣宛 會議所ガ本国ノ支援ヲ求ムル ……九三一
為電送スベキ決議案ノ件

附屬書

八月十三日附天津英國商業會議所ヨリ各会
員宛通知狀 宛電送スベキ決議案ノ件 ……九三一
山東問題ニ関シ英國外相及主要商業會議所

一一 六〇五 八月 二十日 六一九 在米国出淵臨時代理大使ヨ 米国大統領ガ外交委員ト会谈
内田外務大臣宛(電報) 劈頭ニ於テ為シタル國際聯盟 ……七五八
ノ關係ニ於テ爲シタル國際聯盟
ノ質疑応答ノ狀況報告ノ件

一三 七二七 八月 二十日 幣原外務次官ヨリ 青島專管居留地ノ代リニ共同
在中国小幡公使宛 居留地ヲ考慮中ナル旨ノ外相 ……九三四
聲明發表ノ事情通報ノ件

附記

八月四日小幡公使宛内田外務大臣宛電報第
一一〇六号 ……九三四

一三 七二八 八月 二十日 六一四 在米国出淵臨時代理大使ヨ 山東問題ニ関シ米国上院外交
内田外務大臣宛(電報) 委員會ニ於テミラード氏ノ為 ……九三五
シタル發言内容報告ノ件

一三 七二九 八月 二十日 政機密 在濟南森總領事ヨリ 青島居留地ニ関スル外相聲明
内田外務大臣宛 及請願委員東京向出發ニ付報 ……九三五
告ノ件

附記 朝鮮商業會議所連合会ヨリ拓殖局宛陳情書 ……九三七
写

一三 七三〇 八月 二十一日 六一七 在米国出淵臨時代理大使ヨ 米国上院外交委員ト大統領ト
内田外務大臣宛(電報) ノ質疑応答中山東問題ニ関ス ……九三八
ル部分報告ノ件

二一 一〇八九 八月 二十一日 二二八 在本邦英國臨時代理大使ヨ 労働理事會ヲ構成スル八主要
内田外務大臣宛 産業國ヲ決定ノ方法ニ関スル ……一五〇四
知伝達ノ件

二一 一〇九〇 八月 二十一日 二七八 内田外務大臣ヨリ 労働理事會ヲ構成スベキ八主
在英國珍田大使宛(電報) 要産業國選定ニ関シ本邦ノ産 ……一五〇六
業狀態ヲ示ス統計電報ノ件

四 三三九 八月 二十二日 講 在仏国松井大使ヨリ 八月五日倫敦ニ於テ委任統治
内田外務大臣宛(電報) ニ関スル委員會ニテ旧独領東 ……四一一
部阿弗利加ニ對スル白耳義及
葡萄牙ノ要求等審議ノ件

一三	七三一	八月二十二日	六二〇	在米國出淵臨時代理大使ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	米國上院ニ於テ民主共和兩黨議員ヨリ平和條約ニ關スル解 釈決議案ヲ提出ノ件……………九四三
一三	七三二	八月二十二日	六二三	在米國出淵臨時代理大使ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	國務長官ニ對シ日中條約ニ關 スル日本政府ノ見解申入方ノ………九四四
一三	七三三	八月二十二日	青電 三二二	向西青島軍參謀長ヨリ 福田參謀次長宛（電報）	山東居留民大会ニ於テ同居 留地設置反對等ヲ決議ノ件……………九四四
二一	一〇九一	八月二十二日	二七九	内田外務大臣ヨリ 在英國珍田大使宛（電報）	勞働理事會ヲ構成スベキ主要 産業國選定ニ關シ日本側産業………一五〇七
二	五一	八月二十三日	二八〇	内田外務大臣ヨリ 在英國珍田大使宛（電報）	華盛頓國際聯盟總會ノ開會期 日及議題並同總會及聯盟理事 會ニ任國政府ガ派遣スル代表 者ニ關シ取調方訓令ノ件……………七四
一三	七三四	八月二十三日	六二七	在米國出淵臨時代理大使ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	上院外交委員會ニ於ケル平和 條約ニ對スル各種留保乃至修 正案討議ノ模様ニ付報告ノ件……………九四五
六	四三〇	八月二十五日	講 六九〇	内田外務大臣ヨリ 在米國出淵臨時代理大使ヨリ 在シカゴ姉齒領事館事務代 理ヨリ	獨逸海底電線ニ關スル議定書 案未調印事情問合ノ件……………五四七
一三	七三五	八月二十五日	一七	内田外務大臣宛（電報）	山東問題ニ關スル上院ノ議決 ニ反對スルシカゴノ新聞論評………九四六
一五	九〇三	八月二十五日	七九九	在ハルビン佐藤總領事ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	セモノフノ鐵道妨害問題ニ關 シモーリス米國大使ト會談ノ………一一七一
一九	九八六	八月二十五日	山十三 番電	在羅馬山本海軍大佐ヨリ 栃内海軍次官宛（電報）	南洋諸島ニ於ケル旧教布教師 ノ人選ニ關シ我方ヨリ法王庁 ニ提出スベキ書面案ニ付請訓 ノ件……………一三二五
四	三四〇	八月二十六日	講 一九〇二	在仏國松井大使ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	委任統治常設委員會ノ組織及 國際聯盟組織委員會ノ任務ニ………四一二
四	三四一	八月二十六日	六三〇	在米國出淵臨時代理大使ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	通信基地トシテノヤップ島問 題ニ關スル件……………四一三
一三	七三六	八月二十六日	六二八	在米國出淵臨時代理大使ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	外交委員會ノ山東決議ニ關ス ル新聞論調報告ノ件……………九四六
一三	七三七	八月二十六日	講 一八九八	在仏國松井大使ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	米國上院外交委員會ノ山東問 題決議ニ關シタン紙論評ノ件……………九四七
一三	七三八	八月二十六日	機密 三七〇	在中國小幡公使ヨリ 内田外務大臣宛	青島ニ於テ採用スルヲ適當ト スベキ共同居留地ノ態樣ニ關 シ稟申ノ件……………九四八
一一	五六九	八月二十七日	講 一九〇八	在仏國松井大使ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	日本ノ對獨平和條約批准時期 ニ關シ仏國側ノ問合等報告並 日本ハ速ニ批准スル様稟申ノ 件……………七二七
一二	六三四	八月二十七日		西園寺講和全權委員上奏文 勅語	巴里講和會議ニ關シ西園寺全 權委員復命上奏ノ件……………七七九
一二	六三五	八月二十七日		勅語	巴里講和會議ニ關シ復命上奏 シタル西園寺侯ニ勅語ヲ賜リ………七八二
一三	七三九	八月二十七日	講 一九〇八	在仏國松井大使ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	平和條約ヲ可成速カニ批准ス ルコト有利ナルベキ意見稟………九五一
一三	七四〇	八月二十七日	六三一	在米國出淵臨時代理大使ヨリ 内田外務大臣宛（電報）	山東問題ニ關シ外交委員會ニ 於テウイリアムス教授陳述ノ………九五一

二 五五 九月五日 四〇四 在英國珍田大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

七 四四四 九月五日 講 一九六〇 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

一五 九〇六 九月五日 米七一 在華府井上少将ヨリ
上原参謀總長宛（電報）

一一 五七一 九月六日 講 一九六六 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

一三 七四六 九月六日 講 一九六六 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

一三 七四七 九月七日 六六六 在米国出淵臨時代理大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

一一 五七二 九月十日 講 二〇一四 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

一一 五七三 九月十一日 講 二〇二一 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

一三 七四八 九月十一日 講 二〇二二 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

一三 七四九 九月十一日 六七四 在米国出淵臨時代理大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

一三 七五〇 九月十一日 公信 四一八 在米国出淵臨時代理大使ヨリ
内田外務大臣宛

附屬書一 右決議案

二 右決議案第五項ニ中国ハ不満足ナル旨ノ巴里通信員記事

米国大統領ガ聯盟理事会ヲ召集ストノドラモンド氏ノ所説……………七六ニ関スル件

敵船分配問題ニ関シ敵国所屬船舶数及噸数等報告ノ件……………五六一

米国政府ハシベリアニ於ケル日米間ノ協調困難ナル現状ニ鑑ミ米国軍隊ノ撤退方等考慮ノ件……………一一七六

対壙平和条約中中国条項ニ関シ日中全權間ノ交渉並我措置……………七二九振報告ノ件

対壙条約中ノ中国關係条項ニ関シ日中両国全權間交渉ノ件……………九六二

米国大統領ハ其演説ニ於テ山東問題決定ノ事情等ニ付言及……………九六三ノ件

サン、ゼルマンニ於テ対壙平和条約等調印済ノ旨報告ノ件……………七三〇

対勃爾牙利条約案審議ノ状況報告ノ件……………七三一

中国ヲ聯盟外ニ孤立セシムル画策アリトノ「ヘラルド」記事ニ関シ日本ハ無關係ナル旨各新聞等ニ説明ノ件……………九六三

外交委員会ハ対壙平和条約ニ関スル報告並聯盟留保案及山東条項等ノ修正案ヲ本會議ニ提出シタル件……………九六四

上院議員マクカムバーノ平和条約批准ニ関スル留保決議案等送付ノ件……………九六五

九六六

一五 九〇七 九月十一日 四六一 在浦潮松平政務部長ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

一三 七五一 九月十二日 六七五 在米国出淵臨時代理大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

一九 九九〇 九月十二日 山十八番電 在羅馬山本海軍大佐ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

一一 六〇七 九月十三日 六七七 在米国出淵臨時代理大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

一三 七五二 九月十三日 二一〇 在シカゴ姉齒領事館事務代理ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

山東条項修正案ハ成立セザルベシトノ観測等松岡書記官ヨリ西園寺侯及牧野男ニ報告ノ件……………九七一

一三 七五三 九月 十三日 陸送発 山梨陸軍次官ヨリ 膠州湾日独間引継要綱意見通 九七三
七六〇 埴原外務次官宛 牒ノ件

附属書 日独間引継要綱意見……………九七三

一三 七五四 九月 十三日 一二五〇 在中国小幡公使ヨリ 中国委員ノ対奥条約調印ニ関 九七九
内田外務大臣宛(電報) シ民新報論評ノ件

一五 九〇八 九月 十三日 八八六 在ハルビン佐藤総領事ヨリ セメノフト張作霖ノ会談内容 一一七九
内田外務大臣宛(電報) ニ付セメノフトヨリ報告聴取ノ件

二〇 一〇七四 九月 十三日 二〇三〇 在仏国松井大使ヨリ 独奥側ノ華府労働会議参加問 一四六二
内田外務大臣宛(電報) ルコトニ最高会議議決ノ件

四 三四二 九月 十五日 官房機密 埴内海軍次官ヨリ 旧独領南洋諸島ニ於テ外国人 四一五
埴原外務次官宛 ノ享シタル權利調査依頼ニ 関スル件

附属書 臨時南洋群島防備隊参謀長ヨリ海軍省副官 四一五
宛電報(九月十一日著)写

一一 六〇八 九月 十五日 六七九 在米国出淵臨時代理大使ヨリ 米國識者階級代表二百五十名 七六〇
内田外務大臣宛(電報) ヲリ平和条約無条件批准ノ請願書ヲ上院ニ提出ノ件

一三 七五五 九月 十五日 六七九 在米国出淵臨時代理大使ヨリ 米國識者階級代表者二百五十 九七九
内田外務大臣宛(電報) 名連署ヲ以テ平和条約無条件批准ノ請願書ヲ上院ニ提出ノ件

一三 八〇六 九月 十五日 一二五五 在中国小幡公使ヨリ 対独戦争状態終了ヲ宣セル大 一〇五七
内田外務大臣宛(電報) 總統布告ニ関スル件

一九 九九一 九月 十五日 山十九 在羅馬山本海軍大佐ヨリ 西班牙人宣教師ヲ「グアム」 一三三四
番電 埴内海軍次官宛(電報) 島ヨリ南洋諸島ニ移ス案其他ニ関シ日本政府ノ意向ヲ布教省長官ヨリ問合ノ件

五 四一四 九月 十六日 九〇 在シドニー玉木総領事代理 ヲリ 人種平等問題ニ付濠洲首相ノ 五一四
内田外務大臣宛(電報) ノ交渉ニ関スル演説報告ノ件

五 四一五 九月 十六日 九一 在シドニー玉木総領事代理 ヲリ 人種平等案ニ関スル濠洲首相 五一四
内田外務大臣宛(電報) ノ発表ヲ取消サシムルコトニ 関シ請訓ノ件

一三 八〇七 九月 十六日 三七二 在中国小幡公使ヨリ 対独戦争状態終了ニ関スル大 一〇五七
内田外務大臣宛 總統布告送付ノ件

一六 九三四 九月 十七日 三八一 内田外務大臣ヨリ 古田、神崎両氏ニ交渉上ノ便 一二五九
在浦潮松平政務部長宛 (電報) 宜供与方ノ件

二 五六 九月 十八日 二〇五三 在仏国松井大使ヨリ 國際聯盟参事会召集ノ見込議 七七
内田外務大臣宛(電報) 題開催地等ニ関シハウス大佐 珍田全權ニ談話ノ件

一三 七五六 九月 十八日 一四三 在桑港太田総領事ヨリ ウイルソン大統領ハ山東条項 九八〇
内田外務大臣宛(電報) 不承認ノ中国ヲ益スルコトナ キヲ論述ノ件

一五 九〇九 九月 十八日 東秘 富田大蔵書記官ヨリ シベリア鉄道財政援助費ノ支 一一八二
武者小路外務書記官宛 出ニ関スル件

一一 五七四 九月 十九日 二〇六五 在仏国松井大使ヨリ 九月十九日対勃平和条約案ヲ 七三二
内田外務大臣宛(電報) 勃国全權ニ交付ノ件

一一 六〇九 九月 十九日 一四四 在サンフランシスコ太田總 大統領ノ桑港ニ於ケル平和条 約批准促進演説ノ効果ニ関ス 七六一
領事ヨリ 内田外務大臣宛(電報) ル件

一一二 六三六 九月 二十日

牧野講和全權委員上奏文

巴里講和會議ノ実況ニ関シ牧野全權委員復命上奏ノ件……………七八二

附 記 一

六月二十二日附山川参事官帰朝報告ニ関シ全權ト打合ノ結果重要問題ニ付説明方針決定覚書(木村書記官記)……………七八七

二 牧野全權委員ノ口述ニ基ク山東問題ニ関スル総括的報告……………七九八

三 十月一日附内田外務大臣在仏国松井大使宛政二送第八三号 牧野全權委員帰朝当時ノ状況通報並天皇ヨリ御沙汰ヲ賜リタル件……………八〇七

四 大正九年一月十日平和条約公布ニ当リ渙発ノ詔書……………八〇八

一五 九一〇 九月 二十日

陸軍省ヨリ
外務省宛

シベリア出兵ノ根本主義ニ関スル日米両国ノ見解相違ニ付陸軍省ノ意見申越ノ件……………一一八四

一一 六一〇 九月 二十一日 欠

在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

米国上院外交委員会ニ於ケルButtittノ供述ニ関シ米國講和委員ステートメント発表ノ件……………七六一

一三 八〇八 九月 二十一日 一二七九

在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

対独壊戦争状態終了後ノ対独人民所定各種章程ノ効力ニ関スル大總統令公布ノ件……………一〇六〇

一三 七五七 九月 二十四日 講 二〇八五

在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

米國ニ於ケル講和条約批准問題及膠州灣還附問題ニ関シ「ポーク」氏珍田全權ニ談話ノ件……………九八〇

一五 九一一 九月 二十四日 四三五

在英國珍田大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

東支鐵道守備ニ関スル英國新聞情報及論調ノ件……………一一八四

一五 九一二 九月 二十四日

大井シベリア派遣軍司令官ヨリ
田中陸軍大臣宛

シベリア鐵道管理問題其他ニ関シモリス米國大使ト談話ノ件……………一一八五

一三 七五八 九月 二十五日 六七〇

内田外務大臣ヨリ
在米國出淵臨時代理大使宛(電報)

膠州灣還附問題ニ関スル米國覚書ニ付口頭申入方訓令ノ件……………九八一

一三 七五九 九月 二十七日 六九五

在米國出淵臨時代理大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

膠州灣還附問題ニ関スル米國覚書ニ付我方回答ノ遅延事情國務省當局ニ申入済ノ件……………九八二

一一 五七五 九月 三十日 講 二二二二

在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

伊國議會解散ノ結果同國ノ対独平和条約批准当分不可能ナルベキ旨報告並日本ノ批准詮議振通報方稟請ノ件……………七三二

十 月

一五 九一三 十月 二日 四九五

在浦潮松平政務部長ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

聯合國ノ「インスペクター」ニ対シ日本側ト協調スベキ旨大井司令官ヨリ訓示ノ件……………一一八七

一六 九三五 十月 二日 三九一

内田外務大臣ヨリ
在浦潮松平政務部長宛(電報)

古田、神崎両氏浦潮ニ向ケ敦賀出發ノ件……………一二五九

一一 五七六 十月 三日 講 二二三二

在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

バルトロロー氏ニ対シ日本ノ対独平和条約批准ハ十月初旬頃ト思考シ居ル旨回答シタル件……………七三三

一一 六一一 十月 四日 一四八 在サンフランシスコ太田総領事ヨリ
内田外務大臣宛（電報） 加州選出上院議員ジョンソン桑港ニ於テ講和會議ニ於ケル米国外交ハ失敗ナリトシ大統領演説ヲ反駁ノ件 ……七六二

一九 九九二 十月 四日 山二十三番電 在羅馬山本海軍大佐ヨリ
枋内海軍次官宛（電報） 南洋群島旧教布教師ノ人選ニ関スル日本政府覚書ヲ国務次官ニ手交竝同次官ヨリ教会財産管理ニ関シ申出ノ件 ……一三三四

一九 九九三 十月 六日 山二十四番電 在羅馬山本海軍大佐ヨリ
枋内海軍次官宛（電報） 法王庁国務卿南洋群島布教師ニ関スル我が要求ヲ全部快諾竝教会財産管理ニ付法王庁ノ立場ヲ我方が尊重スル様要請ノ件 ……一三三六

二〇 一〇七五 十月 六日 二二四七 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報） 労働互恵待遇問題決議経緯報告ノ件 ……一四六三

一三 七六〇 十月 七日 三四二 在英国外務大臣ヨリ
内田外務大臣宛（電報） 山東問題ト日中条約トノ関係ニ関シ巴里講和會議ニ於ケル我方了解ヲ提示シテ珍田全権ノ了解ヲ問合セタル件 ……九八二

一三 七六一 十月 七日 七一八 在米国出淵臨時代理大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報） 山東条項弁護演説ノ為ノ資料ヲ所望セルロビンソン上院議員ニ対シ可然説示ノ件 ……九八四

八 四九五 十月 八日 七七一 在仏国外務大臣ヨリ
内田外務大臣宛（電報） 賠償委員会全会一致ノ決議事項タル主権ノ意義ニ関シ問合ノ件 ……六二六

一一 五七七 十月 八日 七七〇
一一二〇 在仏国外務大臣ヨリ
内田外務大臣宛（電報） 日本側ノ対独平和条約批准手續順序ヨク進行シ居ル旨通報ノ件 ……七三四

一九 九九四 十月 八日 在羅馬山本海軍大佐ヨリ
枋内海軍次官宛（電報） 在布教地教会財産ガ法王ニ属スト云フモ治外法権等ノ意味ニ非ザル旨法王庁国務次官説明ノ件 ……一三三六

四 三四三 十月 九日 講二一五 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報） C式委任統治様式ニ平等待遇条項挿入ヲ要求スル我方主張容レラザル場合ノ措置振ニ付請訓ノ件 ……四一六

一三 七六二 十月 九日 一五六 在桑港太田総領事ヨリ
内田外務大臣宛（電報） 山東問題ニ関シラインシュ米国公使談話ノ件 ……九八五

一三 七六三 十月 十日 七二二 在米国出淵臨時代理大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報） 米国上院ニ於ケル山東条項修正案表決日取遅延事情報告ノ件 ……九八五

一五 九一四 十月 十日 七二三 在米国出淵臨時代理大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報） コルチャック政府ニ対スル国務省ノ態度最近ノ変化並シベリアニ於ケル日米提携根本方針ニ関スル件 ……一一八七

別 電 同日在米国出淵臨時代理大使發内田外務大臣宛電報第七二四号
シベリア鉄道運営ニ関シ米国政府ハ不満ヲ…一八八
日本政府へ通告其漏洩経路取調ノ上回電方稟請ノ件

一九 九九五 十月 十日 二七七番電 官房機密
枋内海軍次官ヨリ
在羅馬山本海軍大佐宛（電報） 在布教地教会財産ニ関スル法王庁側ノ申出ニ対スル我方回答電報ノ件 ……一三三七

二〇 一〇七六 十月 十日 講七八〇 内田外務大臣ヨリ
在仏国松井大使宛（電報） 労働法制ニ関スルバーンス氏トノ交渉ニ付報告方ノ件 ……一四六四

二	五七	十月 十一日	講 二一六九	在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	対独平和条約実施後直ニ開催 セラルベキ聯盟理事会ニ関シ 仏国バルトロロー氏及米國ボル ク氏ノ談話報告並請訓ノ件 ……七八
八	四九六	十月 十一日	講 二二七九	在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	対独条約賠償条項ノ主権ノ意 義ニ関シ回電ノ件 ……六二六
一六	九三六	十月 十一日	九三八	在ハルビン佐々木総領事代 理ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	ザバイカル方面ノ窮状ヲ救フ 為外國トノ物々交換ノ要アル コト等セメノフノ加藤大使ヘ ノ談話古沢副領事ヨリ報告ノ 件 ……一二六〇
一九	九九六	十月 十一日	山二十六 番電	在羅馬山本海軍大佐ヨリ 枋内海軍次官宛(電報)	在布教地教会財産管理ニ関ス ル日本側回答ヲ法王庁当局ニ 申入及独逸人宣教師ノ山東省 ヘノ帰任問題ニ関スル件 ……一三三七
一五	九一五	十月 十二日	一二二五 四〇一 五六三	内田外務大臣ヨリ 在中國小幡公使在浦潮松平 政務部長 在ハルビン佐々木総領事代 理各宛(電報)	聯合軍ガチュック軍ニ交代シ テシベリア鉄道ノ保護ノ任ニ 当ルノ件 ……一一八九
八	四九七	十月 十三日	講 二二八五	在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	在独国日本大使館及在漢堡日 本総領事館管理ニ関スル独国 政府ノ從來ノ措置及現状並日 銀正金ノ預金ニ付回電ノ件 ……六二七
一一	五七八	十月 十三日	講 二一八七	在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	対独平和条約ノ英仏伊独ノ批 准寄託ハ十月中旬後半ニ行ハ ルベキ旨報告ノ件 ……七三四
一三	七六四	十月 十三日	四五四	在英國珍田大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	山東問題ト日中条約トノ關係 ニ関スル自己ノ了解報告ノ件 ……九八六
一六	九三七	十月 十三日	九四六	在ハルビン佐々木総領事代 理ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	ザバイカル住民ノ窮状救済至 急措置方任在チタ烏居翻譯官ヨ リ稟請ノ件 ……一二六一
一一	五七九	十月 十六日	講 七九〇	内田外務大臣ヨリ 在仏国松井大使宛(電報)	対独平和条約ノ日本ニ関スル 発効ハ我國ガ批准ノ旨仏國政 府ニ通報ノ日ト解シ可然哉問 合ノ件 ……七三五
一三	七六五	十月 十六日	七三四	在米國出淵臨時代理大使ヨ リ 内田外務大臣宛(電報)	山東条項修正案上院ニ於テ否 決ノ件 ……九八七
二	五八	十月 十七日	講 二二二二	在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	対独平和条約実施後直ニ招集 セラルベキ聯盟理事会ニ珍田 全權又ハ松井大使ニ於テ出席 シ得ル様手續方稟請ノ件 ……七九
一三	七六六	十月 十七日	七三六	在米國出淵臨時代理大使ヨ リ 内田外務大臣宛(電報)	山東条項修正案否決ノ結果或 ル種ノ留案提出ノ可能性ニ 付報告ノ件 ……九八七
一九	九九七	十月 十七日	山二十七 番電	在羅馬山本海軍大佐ヨリ 枋内海軍次官宛(電報)	法王庁トノ交渉円満終了ニ当 リ法王山本海軍大佐叙勲ニ関 スル件 ……一三三八
二	五九	十月 十八日		閣議決定	対独平和条約我國批准前國際 聯盟理事会開催セラレ本邦代 表者ニ参加ヲ求メ来リタル場 合ニ関シ閣議決定ノ件 ……八〇
一三	七六七	十月 十八日	三五九	内田外務大臣ヨリ 在英國珍田大使宛(電報)	巴里首相會議ニ於テ問題トナ レル日本專管居留地ノ範圍ニ 関シ問合ノ件 ……九八八

二 六〇 十月 十九日 講 在仏国松井大使ヨリ 対独平和条約実施準備ニ手間
二二二九 内田外務大臣宛（電報） 取り居ルモ我方ガ速ニ批准ヲ
了セバ好都合ナル旨稟申ノ件 …… 八一

別 電一

十月二十日松井大使発内田外務大臣宛講第 二二二九号別電甲 …… 八二
対独条約実施ニ関スル起草委員会覚書

二

十月二十一日松井大使発内田外務大臣宛講 第二二二九号電乙 …… 八三
対独条約実施後同盟及聯合國ガ取り得ベキ
強制手段ニ関スル条約実施委員会ノ報告

一四 八三二 十月 十九日 講 在仏国松井大使ヨリ 独国政府ニ対シ戦時法規違反
者引渡要求ニ関シ請訓ノ件 …… 一一〇〇
内田外務大臣宛（電報）

一一 六二二 十月 二十日 七四一 在米国出淵臨時代理大使ヨ 対独平和条約ニ対スル留保案
ハ米国上院議員多数ノ支持ヲ …… 七六二
内田外務大臣宛（電報） 得居ル形勢ナル旨報告ノ件

一三 七八八 十月 二十日 田中陸軍大臣ヨリ 膠州湾租借地還附問題ニ関シ
陸軍省立案ノ青島居留地設置 …… 九八八
内田外務大臣宛 要綱送付ノ件

附 属 書

十月十八日附青島居留地設置要綱（陸軍省 立案） …… 九八九

附 記 一

七月二十三日陸軍省作成 青島還附ニ伴フ日中交渉案件（第二回修正 …… 九九一
案）

二

八月十八日陸軍省作成 青島還附ニ関スル意見 …… 九九五

三

青島共同居留地設置ニ関スル研究事項（外 務省政務局作成） …… 一〇一二

一九 九九八 十月 二十日 官房機密 海軍省副官ヨリ 独逸人宣教師ノ山東省帰任問
題ハ事情聴取ニ留メ交渉打切 …… 一三三九
番電 在羅馬石田海軍大佐宛（電報） 方回訓ノ件

一一 六三三 十月 二十一日 七四五 在米国出淵臨時代理大使ヨ 米国ノ批准前ニ対独平和条約
発効セル場合ノ諸委員会ヘノ …… 七六三
内田外務大臣宛（電報） 米国代表者出席問題等ニ関ス
ル件

一五 九一六 十月 二十一日 閣議決定 西比利亜鉄道守備問題ニ関シ
在本邦米国大使ニ対スル回答 …… 一一八九
案

二 六一 十月 二十二日 講 内田外務大臣ヨリ 対独平和条約ニ対スル我国批
准前ニ聯盟理事會ニ日本代表 …… 八四
トシテ参加方ニ関シ回訓ノ件

二 六二 十月 二十二日 講 在仏国松井大使ヨリ 米国大統領ノ聯盟理事會第一
回會議招集案ヲ五国会議承認 …… 八四
内田外務大臣宛（電報） ノ件

七 四四五 十月 二十二日 官房機密 在米国出淵臨時代理大使ヨ 敵艦艇処分問題ニ関スル件 …… 五六三
一四三二 埴原外務次官宛

七 四四六 十月 二十二日 官房機密 在米国出淵臨時代理大使ヨ 敵艦艇処分問題ニ関スル件 …… 五六五
一四三二 埴原外務次官宛

一三 七六九 十月 二十三日 四六五 在英國珍田大使ヨリ 專管居留地ハ砲台ヲ含ムヤト
ノ大統領質問ニ関シ回報ノ件 …… 一〇一八
内田外務大臣宛（電報）

一三 七七〇 十月 二十四日 七五七 在米国出淵臨時代理大使ヨ 米国外交委員会ヲ通過セル留
保決議案中ノ山東事項ニ関ス …… 一〇一九
内田外務大臣宛（電報）

一四 八三三 十月 二十四日 閣議案 戦時法規違反独逸人引渡要求
方ニ関シ閣議請求ノ件 …… 一一〇一

二二 一〇九二 十月二十四日 七五八 在米出淵臨時代理大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報） 労働總會準備委員会十月二十三日ノ會議審議ノ重要事項ニ一五〇八付岡委員ヨリ報告ノ件

二一 六一四 十月二十五日 七五七 在米出淵臨時代理大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報） 米国上院外交委員会対独平和条約ノ批准ノ一部分且条件トシテ十ヶ条ノ留保決議案ヲ通達ノ件……………七六四

二 六一五 十月二十五日 七六〇 在米出淵臨時代理大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報） 米国上院外交委員会対独平和条約ニ關スル留保案ヲ引続キ審議決定ノ件……………七六五

二 六一六 十月二十五日 七六二 在米出淵臨時代理大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報） 米国上院外交委員会対独平和条約ニ關スル留保案十四個条ヲ上院ニ提出ノ件……………七六六

一七 九六五 十月二十五日 日本外務省ヨリ
在米出淵臨時代理大使宛 答ノ件……………一二九五

附屬書 讓渡軍需品一覽表……………一二九五

一三 七七一 十月二十七日 一二五六 内田外務大臣ヨリ
在中国小幡公使宛（電報） 山東問題ニ關スル留保案米国外交委員会否決ノ件……………一〇二〇

一七 九六六 十月二十七日 浦参
山梨陸軍次官宛（電報） オムスク政府ヨリ日本ニ注文セル軍需品代金ノ支払方法ニ一八九六關シ報告ノ件……………一二九六

一七 九六七 十月二十七日 浦参
山梨陸軍次官宛（電報） 米国ヨリ購入輸送中ノ小銃五万挺ノ内一万五千ヲ「セミヨ」ノ「フ」要求シ米軍將校ト紛争ノ件……………一二九六

一一 五八〇 十月二十八日 講八二四
内田外務大臣ヨリ 樞密院本會議ニ於テ対独平和条約批准可決ノ件……………七三五

附記一 十月二十九日外交調査會決定……………七三六

二 対独平和条約ニ對スル帝國批准ノ時期ニ關スル考察……………七三六

一一 五八一 十月二十八日 講二二八五 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報） 對勃条約案中領事裁判權ニ關スル条項ニ付本邦側ノ希望貫徹セザル場合同条約調印ヲ取止ムベキヤ請訓ノ件……………七三七

一一 六一七 十月二十八日 講二二八四 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報） 米国上院ノ対独平和条約留保權ノ觀測報告ノ件……………七六六

一三 七七二 十月二十八日 講二二七六 在仏国松井大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報） 独逸人ノ中国ヘノ帰還希望等處理ノ為メ中国コミッシヨン入独ニ關シ東郷書記官稟申ノ件……………一〇二〇

二一 一〇九三 十月二十八日 七六七 在米出淵臨時代理大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報） 労働總會準備委員会十月二十四、二十五、二十七日ノ會議ニ於テ總會ノ議事日程決定ノ件……………一五一〇

四 三四四 十月二十九日 講八二七 在米出淵臨時代理大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報） C種統治委任狀形式中通商航海ニ關シ各国民均等待遇ノ規定ヲ設クル問題ニ付回訓ノ件……………四一八

別電

同日内田外務大臣宛講第八二八号
旧独領時代ノ南洋群島ニ於ケル本邦人ノ地位ニ關スル件……………四二〇

- 一一 五八二 十月 三十日 講 内田外務大臣ヨリ 在仏国松井大使宛（電報） 対独平和条約及対波蘭条約十月三十日御批准済ノ旨仏国政府ニ通報方ニ関シ訓令ノ件 ……七三八
- 一三 七七三 十月 三十日 一三九八 在中國小幡公使ヨリ 内田外務大臣宛（電報） 米國上院山東修正案否決ノ報道ニ関シ政府内ノ意見及世論等報告ノ件 ……一〇二二

十一月

- 一一 五八三 十一月 一日 講 内田外務大臣ヨリ 在仏国松井大使宛（電報） 対勃平和条約ニ付我主張貫徹シ得ザル場合調印ヲ差控フベキ旨回訓ノ件 ……七三九
- 一五 九一七 十一月 一日 四一四 内田外務大臣ヨリ 在浦潮松平政務部長宛（電報） シベリア鐵道守備問題ニ関スル米國政府ヨリノ抗議ニ対シル米國政府ヨリノ回答ノ件 ……一九三

別電

同日内田外務大臣發在浦潮松平政務部長宛電報第四一五号
シベリア鐵道守備問題ニ関シ在本邦米國代理大使ノ抗議書要領 ……一九四

二 同右電報第四一六号

- 二 六三 十一月 三日 講 在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛（電報） 聯盟理事會開催ノ場所、議題等ニ関シ報告ノ件 ……八四
- 一一 五八四 十一月 三日 講 在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛（電報） 聯合國側ニ於テ対勃条約案ニ對スル勅國意見書審査ノ結果ニ對スル勅國維持ヲ勅國ニ回答スルコトナレル旨報告ノ件 ……七三九

- 一三 八〇九 十一月 三日 公 在広東太田總領事ヨリ 内田外務大臣宛 對独戰爭狀態終了ニ関スル軍政府宣言書ヲ伍延芳ヨリ送付ノ件 ……一〇六〇

- 一一 五八五 十一月 四日 講 在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛（電報） 日本ノ對独平和条約批准ヲ仏國政府ニ通報スル時機ニ関シ最高會議ノ決定報告ノ件 ……七三九

- 二 六四 十一月 五日 講 在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛（電報） 聯盟理事會ヲ巴里ニ開催ザル境界問題ノミヲ議題トスルコトニ五國會議決定ノ件 ……八五

別電

十一月十一日松井大使發内田外務大臣宛講第二三一八号
米國大統領ノ聯盟理事會招集狀ニ関スル件 ……八六

- 一三 七七四 十一月 五日 七九一 在米國幣原大使ヨリ 内田外務大臣宛（電報） 平和条約ヨリ山東条項削除ノ動議上院ニ於テ不成立ノ件 ……一〇二二

- 一六 九三八 十一月 五日 軍政機密送六〇 在浦潮松平政務部長ヨリ 内田外務大臣宛 極東企業団代表者ト「ロザノフ」中將及「セメノフ、メルリン」少將トノ日露合併事業ノ交渉ニ関スル件 ……一二六一

附屬書

右日露合併事業會社設立ニ関スル仮契約書及關係諸書類 ……一二六三

附記

一 十月三十日附古田、神崎兩氏ヨリ目賀田男爵宛書信 ……一二七四

二 大正九年三月十八日附永井繁手控 ……一二七五

- 四 三四五 十一月 八日 講 内田外務大臣ヨリ 在仏国松井大使宛（電報） 差別待遇ヲ規定セル航海條例修正案ヲ濠洲下院可決ノ件 ……四二〇
- 一三 七七五 十一月 八日 六八 内田外務大臣ヨリ 在伊國伊集院大使宛（電報） 中国全權陸徵祥ニ関スル路透電報ニ付問合ノ件 ……一〇二二

一五	九一八	十一月 八 日	哈市特 二二四	在ハルビン石坂少将ヨリ 福田参謀次長宛(電報)	米国ニ依ル東支鉄道買収ニ関 スル「ゴングダッチ」ノ所見報 告ノ件	一一九七
一一	六一八	十一月 十 日	八〇二	在米国外務大臣ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	米国上院ニ於ケル対独講和条 約留保案審議状況及今後ノ見 通シニ関スルヒツチコック氏 ノ発表報告ノ件	七六七
一五	九一九	十一月 十 日	四二〇	内田外務大臣ヨリ 在浦潮松平政務部長宛(電 報)	シベリア鉄道特別委員会及技 術部ノオムスク移転差支ナキ 件	一一九五
一五	九二〇	十一月 十 日	一〇四五	在ハルビン佐々木総領事代 理ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	米国ニ依ル東支鉄道買収問題 ニ関シ「ゴングダッチ」氏来談 ノ件	一一九九
二	六五	十一月 十一 日	講 二三六	在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	聯盟第一回理事会開催地ハ未 定ノ姿ニ逆戻リシ開催期モ遅 延スルコトアルベキ旨報告ノ 件	八六
一一	五八六	十一月 十一 日	講 八六八	内田外務大臣ヨリ 在仏国松井大使宛(電報)	対勃条約調印ニ関シ訓令ノ件	七四〇
一三	七七六	十一月 十一 日	八〇四	在米国外務大臣ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	平和条約留保案ニ関シタフト 氏論評ノ件	一〇二三
				附 記 聯盟規約第十条及山東条項ニ関スル米国留 保案		一〇二四
二〇	一〇七七	十一月 十一 日	機密講 八六	在仏国松井大使ヨリ 内田外務大臣宛	国際労働委員会総括報告追加 報告書送付ノ件	一四六四
				附 属 書 十月二十九日附落合公使ヨリ牧野全権宛書 信		一四六五
				附 記 労働問題ニ関スル八月二十六日附総括報告 書		一四八〇
一三	七七七	十一月 十二 日	講 八七〇	内田外務大臣ヨリ 在仏国松井大使宛(電報)	山東条項ニ基ク各種文書引継 ノ為独逸俘虜使用方ニ関シ聯 合各国ノ思惑及独逸側ノ意向 ヲ確メラレタキ件	一〇二五
一三	七七八	十一月 十二 日	一四四一	在中国小幡公使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	中国政府部内ニ於ケル直接交 渉希望ノ氣運ニ関シ情報報告 ノ件	一〇二六
一六	九三九	十一月 十三 日	五三二	在浦潮松平政務部長ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	日米委員会ヲ組織シ困窮ノ西 比利亜住民救済方ニ付稟請ノ 件	一二七五
一一	六一九	十一月 十四 日	八〇八	在米国外務大臣ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	米国上院ニ於テ対独平和条約 ニ関スル外交委員会ノ留保案 中脱退ニ関スル留保案及聯盟 第十条留保案可決ノ件	七六八
一三	七七九	十一月 十四 日	一四四六	在中国小幡公使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	中国政府部内ニ於ケル直接交 渉希望ノ氣運ハ一ノ情報トシ テ留意方要請ノ件	一〇二七
一三	七八〇	十一月 十五 日	一四五七	在中国小幡公使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)	青島ニ於ケル居留地問題ニ関 シ日本政府ノ方針内示方稟請 ノ件	一〇二八
一五	九二一	十一月 十五 日	三〇一	在本邦米国外務大臣ヨリ 内田外務大臣宛	シベリア鉄道守備問題ニ関ス ル件	一二〇〇

一三 七八一 十一月 十六日 八一 在米國幣原大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

一三 七八二 十一月 十七日 八一三 在米國幣原大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

一三 七八三 十一月 十八日 青島軍參謀長ヨリ
福田參謀次長宛(電報) 一〇二九

一一 六二〇 十一月 十九日 八一七 在米國幣原大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 七六八

一一 六二一 十一月 十九日 八一九 在米國幣原大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 七六九

一一 六二二 十一月 十九日 八二〇 在米國幣原大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 七七〇

一三 七八四 十一月 十九日 八一五 在米國幣原大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 一〇三〇

一三 七八五 十一月 十九日 二二九四 在米國幣原大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 一〇三〇

一一 六二三 十一月 二十日 八二一 在米國幣原大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 七七一

一一 六二四 十一月 二十日 八二四 在米國幣原大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 七七一

一四 八三四 十一月 二十日 二四〇三 在米國幣原大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 一一〇二

附記

敵潜水艇ニ依リ撃沈セラレタル日本船舶……一〇三

一三 七八六 十一月 二十一日 八二一 在米國幣原大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 一〇三一

一三 七八七 十一月 二十一日 一四七六 在中國小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 一〇三二

一三 七八八 十一月 二十二日 一四七九 在中國小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 一〇三四

一三 七八九 十一月 二十二日 一四八二 在中國小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 一〇三四

一三 七九〇 十一月 二十二日 二二一 在伊國伊集院大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 一〇三四

一八 九七六 十一月 二十二日 二四一八 在米國幣原大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 一三二〇

四 三四六 十一月 二十四日 二四二五 在米國幣原大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 四二一

一一 六二五 十一月二十四日 八三四 在米國幣原大使ヨリ
シ各紙ノ論評報告ノ件……………七七二

一三 七九一 十一月二十五日 一八二 在蘭國二見臨時代理公使ヨ
リノ為獨逸俘虜使用問題ニ関ス……………一〇三六

別電

同日二見臨時代理公使宛内田外務大臣宛第
一八三号右ニ関スル獨逸政府覚書……………一〇三七

一三 七九二 十一月二十八日 閣議決定

膠州灣還附協定成立スル迄ノ
間日本政府ノ山東問題ニ対シ……………一〇三八

附記一

十月十九日外務省省議決定……………一〇三九
二 山東撤兵ニ関スル陸軍外務両省間諒解事項……………一〇四〇

一五 九二二 十一月二十八日 一五〇六 在中國小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)……………米國ニ依ル東支鐵道買収ノ風
説ニ関シ仏國公使館員談話ノ……………一二〇一

十二月

七 四四七 十二月一日 講 二四五四 在仏國松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)……………五国会議ニ於ケル敵艦分配問
題審議經過報告ノ件……………五六六

一五 九二三 十二月一日 政二機密 送六二 内田外務大臣ヨリ
在本邦米國大使宛……………シベリア鐵道守備問題ニ関シ
日米兩國政府間ノ解決ニ付書……………一二〇二

一三 七九三 十二月二日 一四七九 内田外務大臣ヨリ
在中國小幡公使宛(電報)……………膠州灣還附協定成立迄ノ間山
東問題ニ対シ探ルベキ態度ニ……………一〇四〇

七 四四八 十二月三日 講 二四六一 在仏國松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)……………五国会議ニ於ケル敵國潛航艇
分配問題討議ニ関スル件……………五六九

一三 七九四 十二月三日 一四九〇 内田外務大臣ヨリ
在中國小幡公使宛(電報)……………居留地問題等ニ関スル方針未
定ナル旨回示ノ件……………一〇四〇

一五 九二四 十二月三日 一〇九三 在ハルビン佐々木總領事代
理ヨリ内田外務大臣宛(電報)……………東支鐵道警備ノ為ホルワット
ノ米國兵呼寄計畫ニ関スル件……………一二〇二

一五 九二五 十二月三日 一〇九七 在ハルビン佐々木總領事代
理ヨリ内田外務大臣宛(電報)……………米國ニ依ルシベリア鐵道買収
ノ風説ニ関シ齋藤大佐談話ノ……………一二〇三

一三 七九五 十二月四日 四三 在白國安達公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)……………山東問題ニ関スル中國側提議
ハ聯盟協會本會議ニ附セザル……………一〇四一

一三 七九六 十二月六日 一五四六 在中國小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)……………中國參衆兩院議長ヨリ米國上
院ニ対シ山東保留案通過ニ感……………一〇四一

一一 六二六 十二月七日 八四八 在米國幣原大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)……………獨逸ノ平和條約議定書調印拒
絶ニ関シ米國各紙ノ論評報告……………七七二

一四 八三五 十二月八日 九二六 在仏國松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)……………戰爭法規違反敵國軍人ノ犯人
表提出ニ関シ回訓ノ件……………一一〇五

四 三四七 十二月九日 講 二四九五 在仏國松井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)……………委任統治形式問題ニ関聯シ英
國全權ヨリ委任統治協約案ヲ……………四二二

別電

同日松井大使宛内田外務大臣宛講第二四九
六号……………四二二
太平洋赤道以南ニ関スル委任統治協約案……………

一一 六二七 十二月 九 日 講 在仏国松井大使ヨリ 米國上院ノ対独平和条約批准
内田外務大臣宛(電報) 討論ニ対スル仏國側ノ態度及
タン紙ノ論說報告ノ件 ……七七三

四 三四八 十二月 十 日 講 在仏国松井大使ヨリ 仏國委任統治地域ノ黒人軍隊
内田外務大臣宛(電報) ヲ仏本國及殖民地防備ノ為使
ニ提議ノ件 ……四二五

七 四四九 十二月 十 日 講 在仏国松井大使ヨリ 平和条約實施ノ為ノ最高軍事
内田外務大臣宛(電報) 會議組織變更案ニ関シ報告並
請訓ノ件 ……五六九

一三 七九七 十二月 十 日 講 在仏国松井大使ヨリ 國際聯盟協會第三回會議討議
内田外務大臣宛(電報) 事項ニ関スル件 ……一〇四一

別 電 同日松井大使發内田外務大臣宛講第二五一
一號 中國側提出ノ山東問題ニ関スル決議案 ……一〇四三

一六 九四〇 十二月 十 日 一〇八 在ハルビン佐々木總領事代 在イルクーツク加藤大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報) 露國側ハ日本ヨリノ財政援助
ヲ希望シ居ル旨外務大臣ヘ報
告ノ件 ……一二七六

四 三四九 十二月 十一 日 二五一七 在仏国松井大使ヨリ 英國側提議ノ委任統治協約案
内田外務大臣宛(電報) テキストニ付報告ノ件 ……四二六

一一 六二八 十二月 十一 日 八五八 在米國幣原大使ヨリ 米國大統領ハ新議會ヘノ教書
内田外務大臣宛(電報) 中ニ平和条約批准問題ニ言及
セズ又年内ニ條約ノ討議ニ入
ルコト無カルベキ旨報告ノ件 ……七七四

四 三五〇 十二月 十二 日 二五二九 在仏国松井大使ヨリ 英國側ヨリ太平洋赤道以北諸
内田外務大臣宛(電報) 島委任統治ニ関スル協約案ヲ
送附越ノ件 ……四二七

四 三五一 十二月 十二 日 二五三二 在仏国松井大使ヨリ 委任統治様式ニ対スル我主張
内田外務大臣宛(電報) 貫徹ニ努力ノ意向ニ付氣附ノ
点回示方在英大使ヘ電報シタ
ル件 ……四二七

七 四五〇 十二月 十二 日 九十九 在仏國渡辺陸軍少將ヨリ 新軍事中央機關ニ日本代表參
陸軍省宛(電報) 加方ニ関シ意見具申ノ件 ……五七〇

一一 六二九 十二月 十二 日 九三五 内田外務大臣ヨリ 米國上院ノ平和条約留保案ヲ
在仏国松井大使宛(電報) 道ニ関シ眞偽調査方訓令ノ件 ……七七五

一三 七九八 十二月 十二 日 五〇〇 在中國小幡公使ヨリ 英仏兩國ノ平和条約ニ対スル
内田外務大臣宛 新聞報道ノ件 ……一〇四四

附屬書一 十二月十二日附北支スタンダード記事切抜…一〇四五
二 同日附順天時報記事切抜…一〇四六

一一 六三〇 十二月 十三 日 八七五 在米國幣原大使ヨリ 平和条約留保ニ関スル妥協ノ
内田外務大臣宛(電報) 基礎六箇条ヲ挙ゲ民主黨首領ノ
ヒツチコック氏演說ノ件 ……七七五

一三 七九九 十二月 十五 日 機密 在中國小幡公使ヨリ 山東問題留保ニ関シ米國務次
内田外務大臣宛 官ノ在米中國代理公使ニ対ス…一〇四六
ル談話内容報告ノ件

一六 九四一 十二月 十五 日 二六三 在イルクーツク加藤大使ヨリ 露國外務大臣代理ヨリ、セメ
内田外務大臣宛(電報) ノフノ実業会社設立計畫ニハ
異議無キモ円ヲ通貨ト為サン
トスル說ニハ反対ノ旨申出ア
リタル件 ……一二七七

一六 九四二 十二月 十五日 六二二 在浦潮松平政務部長ヨリ 自治團聯合会ヲ介スル物々交
内田外務大臣宛(電報) 換ニ依リ西比利亞住民ノ窮狀
ヲ救済セントスル案審議ノ模
樣報告ノ件 ……一二七七

一一 六三一 十二月 十六日 八八三 在米國幣原大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）
米國上院ニ於テ対独平和克復
ニ関スル討議アリ大統領局面
打開ノ為ノ讓歩ハ何等考慮シ
居ラザル旨ノ公表書ヲ諸新聞
ニ發表ノ件 ……七七六

一五 九二六 十二月 十六日 一一二七 在ハルビン佐々木総領事代
理ヨリ
内田外務大臣宛（電報）
中国ノ東支鉄道回收企図阻止
方ニ付コルチャク政権ヨリ日…一二〇三
本政府ニ依頼ノ件 ……七七七

一一 六三二 十二月 十七日 二五四八 在仏國松井大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）
米國上院ノ平和条約留案ヲ
仏國ガ承諾セリトノ新聞報道
ニ関シ回報ノ件 ……七七七

一三 八〇〇 十二月 十七日 四六二 在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛
英仏兩政府ガ対独平和条約ニ
対スル米國上院ノ修正ヲ承認
スルノ意アリトノ新聞報道…一〇四七
關スル北京仏文週刊誌ノ論說
報告ノ件 ……一〇四七

七 四五一 十二月 十九日 二五五八 在仏國松井大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）
十二月十七日五国会議事概
要就中敵國艦船処分ニ関スル
件 ……五七〇

別 電 同日在仏國松井大使
内田外務大臣宛電報
講第二五五九号
敵國艦船処分ニ関スル件 ……五七一

八 四九八 十二月 十九日 二五五九 在仏國松井大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）
獨國カ賠償スヘキ艦船ニ関シ
聯合國側ト獨國側ト交渉ノ件
……六二九

一六 九四三 十二月 十九日 一三三 内田外務大臣ヨリ
在イルクーツク加藤大使宛
（電報）
セメノフノ実業会社設立案ニ
付問合ノ件 ……一二七九

一一 六三三 十二月 二十一日 九〇〇 在米國幣原大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）
対独平和克復ニ関スルノック
ス共同決議案上院外交委員會
通過上院ニ回附ノ件 ……七七七

別 電 同日幣原大使
内田外務大臣宛第九〇一
号
右決議案要領 ……七七八

四 三五二 十二月 二十二日 五五五 在英國珍田大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）
C式委任統治ニ於ケル通商貿
易上ノ各國民均等待遇ノ我主
張貫徹ノ為ノ一策ヲ在仏大使
ニ回示シタル件 ……四二八

一三 八〇一 十二月 二十三日 五五四 在英國珍田大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）
青島ニ於ケル施政ニ関シ日本
政府保障ノ実行ヲ求ムルカ
ゾン卿ノ覚書要訳電送ノ件
……一〇五〇

一六 九四四 十二月 二十三日 一一五一 在ハルビン佐々木総領事代
理ヨリ
内田外務大臣宛（電報）
セメノフノ実業会社設立計
画ノ内容ニ関シ在チタ古沢副
領事ヨリ報告ノ件 ……一二七九

一五 九二七 十二月 二十四日 六三五 在浦潮松平政務部長ヨリ
内田外務大臣宛（電報）
浦潮停車場ニ於ケル露國軍
干涉ノ排除問題ニ関スル件
……一二〇四

四 三三三 十二月 二十六日 二五八六 在仏國松井大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）
十二月二十四日最高會議ニ於
テ我方ヨリ通商上ノ機會均等
ノ條項ヲC式協約ニ挿入ヲ主張
ノ件 ……四二八

別 電 同日松井大使
内田外務大臣宛講第二五八
七号
我方主張覺書 ……四三二

四 三五四 十二月 二十六日 二五八八 在仏國松井大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）
委任統治協約案審議ニ関シ我
方対策ニ付意見具申及請訓ノ
件 ……四三四

一三 八〇二 十二月二十六日 六五 内田外務大臣ヨリ
在蘭国二見臨時代理公使宛
(電報)

山東条項ニ基ク各種文書引繼
ノ為ノ俘虜残留申入撤回方訓…一〇五四
令ノ件

一三 八〇三 十二月二十六日 外務省ヨリ
在本邦瑞西公使館宛

山東条項ニ基ク各種文書引繼
ノ為ノ俘虜残留申入撤回ノ件…一〇五四

一五 九二八 十二月二十九日 六四四 内田外務大臣ヨリ
在ハルビン佐々木総領事代
理宛(電報)

中国政府ノ東支鉄道回收企図
ニ関シ日本政府ノ採ルヘキ態…一二〇五
度ニ付回訓ノ件

日本外交文書
大正八年第三冊下卷
(大正期第二十一冊ノ二)
不許複製

Documents on
Japanese Foreign Policy
1919 Volume III
Part 2

昭和四十六年八月一日印刷
昭和四十六年八月十日發行

外務省 編纂

外務省 發行

東京都港区東麻布一―二七―一二
印刷所 白木印刷株式会社